



海外留学ロードマップ

STUDY ABROAD ROADMAP 2023

STUDY ABROAD ROADMAP

海外留学
ロードマップ
2023



はじめに

新入生の皆さん、同志社大学への入学おめでとうございます！

この冊子では、同志社大学在学中に留学を目指している皆さんに向けて、さまざまな情報をお届けします。新入生の方、在學生の方、また同志社大学への入学希望者の方など幅広い方を対象にしていますので、以下を参照のうえ、ご自身の関心に合わせて積極的に情報収集を進めてください。

この冊子の内容は、基礎編と応用編に分かれます。

基礎編

「留学について初めて調べる」という方は、まず目次ページの「留学の全体像を知ろう」、「留学の情報収集」を中心に読み進めてみましょう。これらのページで、基本的な情報をおさえた後に、それ以外の項目に進むと具体的な情報や応用的な内容も分かりやすくなるでしょう。

応用編

「すでに留学に関して情報収集を行っている」という方は、目次ページから、ご自身の知りたい項目を中心に読み進めましょう。「留学プログラム」では各プログラムの詳細情報を調べられますし、「奨学金」や「語学力向上・国際関係科目・留学生との交流」では、留学前に活用できるさまざまな制度を紹介しています。また「留学と就職活動」で、留学後のイメージをもっておくとよいでしょう。

在学中の留学を実りあるものにするためには、早めの準備と計画が大切です。

ご自身の現在のステージや目標に応じて、ぜひ「海外留学ロードマップ 2023」を活用してください！

STUDY ABROAD ROADMAP CONTENTS

1

留学の全体像を知ろう

- 2 同志社大学のグローバル人材育成の特徴
- 4 大学生活と留学プラン・留学の選び方
- 6 留学制度概要
- 8 国際課が管理する語学研修プログラム／派遣留学先大学・機関一覧
- 10 学部・研究科／センターによる留学プログラム

2

留学の情報収集

- 12 留学スケジュール
- 14 各種相談窓口
- 16 留学お役立ち情報
("Go Global" ポートフォリオ：GGP など)

3

留学プログラム

- 18 サマープログラム
- 20 スプリングプログラム
- 22 セメスタープログラム
- 24 EUキャンパスプログラム
- 26 派遣留学（大学間協定）プログラム
- 28 留学体験記

4

留学準備

- 34 奨学金
- 38 語学力向上・国際関係科目・留学生との交流

5

留学中

- 43 留学先での生活

6

留学後

- 46 留学と就職活動
- 47 Study Abroad × Career Design Sheet
- 48 Doshisha "Go Global" Passport

7

資料・データ編

- 49 短期プログラム・EUキャンパスプログラム 統計
- 50 派遣留学（大学間協定）プログラム 統計
- 54 関係規程

同志社大学のグローバル人材育成の特徴

1 留学する、しないを問わず、自分に合ったプログラムを通してグローバル人材に成長できる!

2 目標を「見える化」する本学独自のシステムを用いてモチベーションを高めながら学べる!

3 「グローバル人材」の条件を満たす学生には、その証明を授与!

同志社大学が育成するグローバル人材とは?

同志社大学が育成するグローバル人材は、異なる文化や価値観を理解・寛容する心を持ち、優れた外国語運用能力や専門知識を「良心に手腕に運用する」ことのできる人物です。在学中の様々な経験や出会いを通じて、広い視野と多様性を尊重する心を培っていくとともに、自身の専攻に関する専門的な知識や、コミュニケーションツールとしての優れた外国語運用能力を習得し、「良心」をもってグローバル化した社会における多様な舞台で活躍してほしいと考えています。大学を卒業して進む道は、皆さん一人ひとりが決めることです。自分が進むべき道を決める上で必要となる知識や経験を、同志社大学で提供される科目やプログラム、交流、サポートを通じて体得してください。

留学型

留学「前」と「後」の徹底サポートを通して、より一層留学経験の成果を上げる

国内型

国内にいながら、グローバルな視野と外国語運用能力を養う

"Go Global" ポートフォリオ

ここでチェック!
https://international.doshisha.ac.jp/goglobal_portfolio/goglobal_portfolio.html

Doshisha "Go Global" Passport

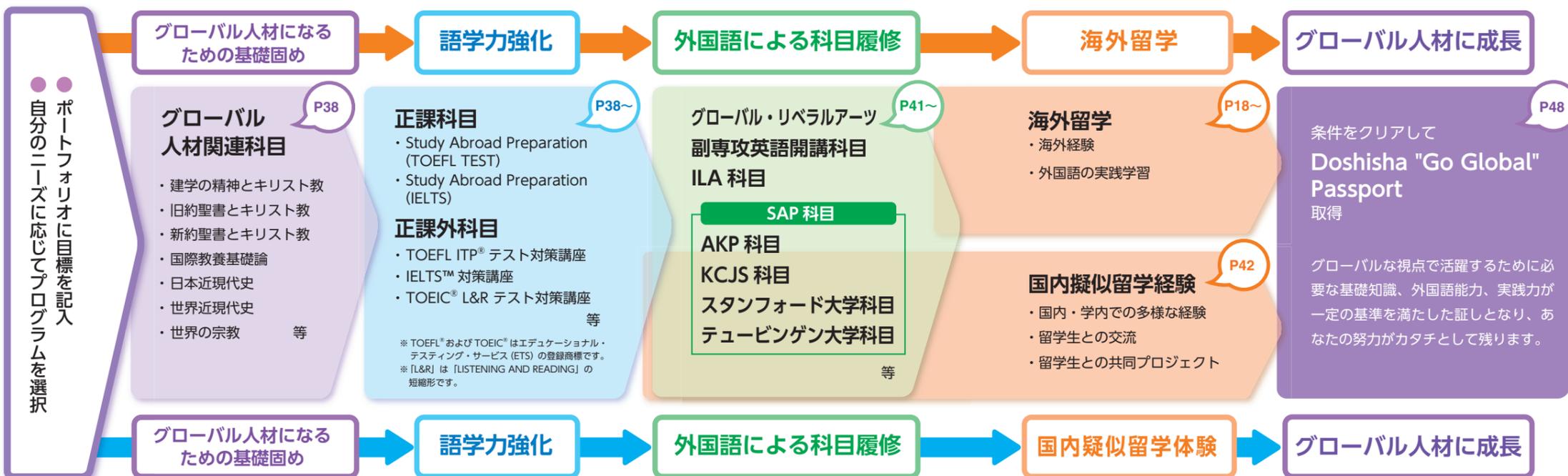
ここでチェック!
https://international.doshisha.ac.jp/goglobal_passport/goglobal_passport.html

実践力を加速させる

留学型



留学「前」と「後」を徹底的にサポートし、留学経験の成果をさらに高めます。



国内外を問わずグローバルに活躍!

就職 進学

例えば...

- ・ 商社に就職して海外とのビジネスに携わる
- ・ グローバルに展開するメーカーに就職して活躍する
- ・ 国際的な金融機関に就職して国を越えた投資案件に携わる
- ・ 途上国で人権保護活動に携わる
- ・ 海外をフィールドに研究活動を行う
- ・ 国際感覚豊かな教育者になる

着実に実力を養う

国内型



国内にいながら、グローバルな視野と外国語運用能力を養います。

留学生とともに学び、グローバル感覚を養う

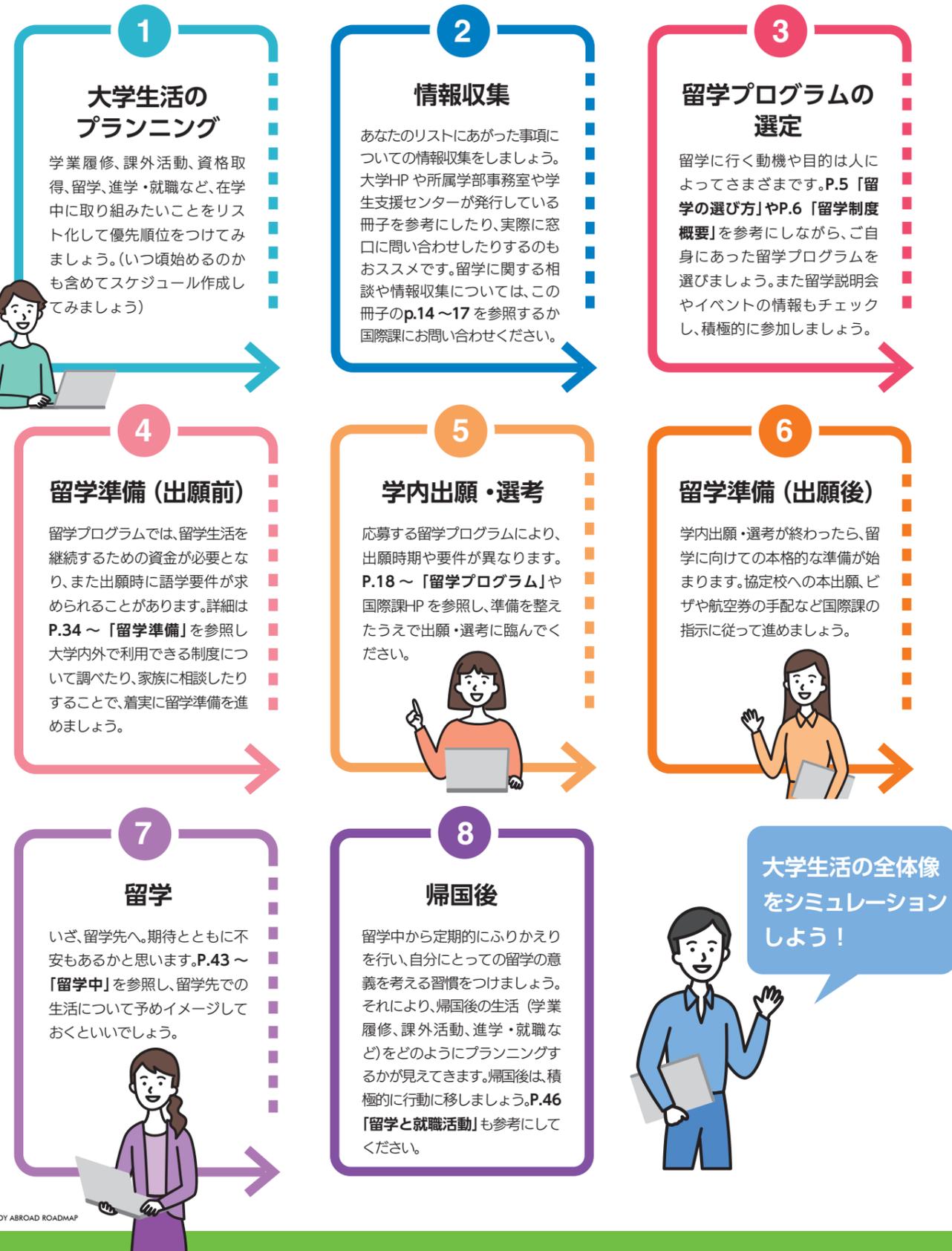
ILA科目やSAP科目など、同志社大学では外国語で行なわれるさまざまな科目を提供しています。これらの科目履修を通じて、日本にいながら擬似的に留学経験を積むことができ、グローバルに活躍できる能力を養います。

留学の全体像を知ろう
留学の情報収集
留学プログラム
留学準備
留学中
留学後
資料・データ編

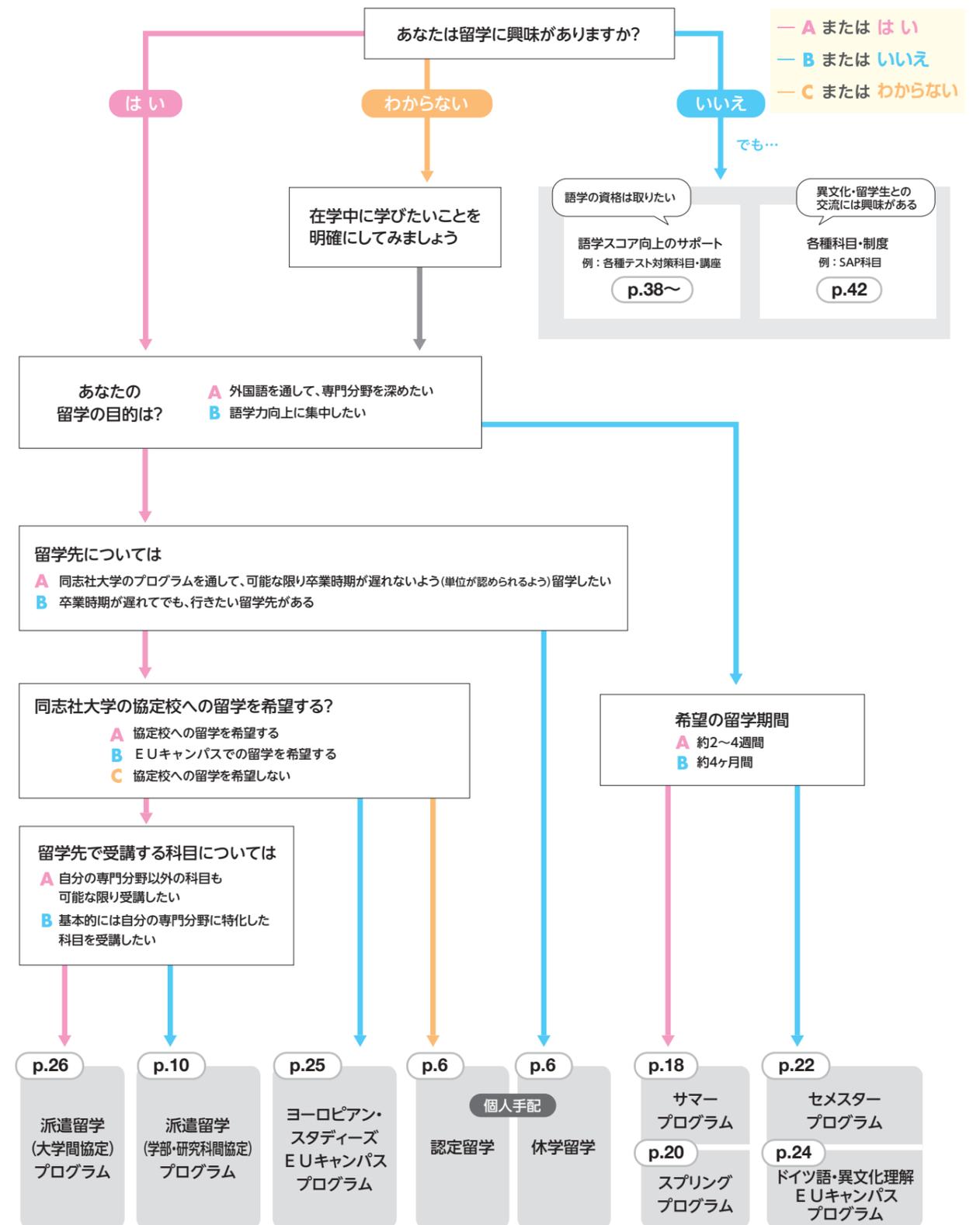
留学の全体像を知ろう
留学の情報収集
留学プログラム
留学準備
留学中
留学後
資料・データ編

大学生生活と留学プラン

大学生生活を有意義なものにするためには、「留学に行くこと」だけでなく留学準備はもちろんのこと、留学後の大学生生活をシミュレーションすることがとても大切です。このページを参考にしながら、P.47「Study Abroad × Career Design Sheet」を作成してみましょう。



留学の選び方



留学の全体像を知ろう
留学の情報収集
留学プログラム
留学準備
留学中
留学後
資料・データ編

留学の全体像を知ろう
留学の情報収集
留学プログラム
留学準備
留学中
留学後
資料・データ編

留学制度概要

「語学力向上」または「専門科目学習・研究」を目的とした留学プログラム

留学種別	期間	概要	詳細
サマープログラム	2~4週間	同志社大学の夏期または春期休暇中に実施する「語学力向上」が主目的のプログラムです。研修先の生活・文化体験と集中的な語学研修を通じて、高度な外国語運用能力を養成するとともに、その国の文化・社会に対する理解を深め、国際感覚豊かな人材を養成することを目指します。	p.18
スプリングプログラム			
セメスタープログラム	1セメスター	同志社大学の秋学期期間中に実施する「語学力向上」が主目的のプログラムで、英語を集中的に海外の大学附属語学学校で学びます。4カ月に渡って現地で学ぶことにより、高度な外国語運用能力を養成するとともに、その国の文化・社会に対する理解を深め、国際感覚豊かな人材を養成することを目指します。	p.22
EUキャンパスプログラム	1セメスター	同志社大学の春学期または秋学期期間中に、ドイツ・チュービンゲン大学内にある「同志社大学チュービンゲンEUキャンパス」にて実施するプログラムです。春学期にはドイツ語の運用能力向上や、ドイツ・EUの異文化や価値観への理解を深めることを目的とした「ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム」を、秋学期には英語または日本語でドイツやヨーロッパについての学びを深めることを目的とした「ヨーロッパ・スタディーズEUキャンパスプログラム」を開講しています。	p.24
派遣留学	1セメスター/ 1年間	同志社大学が学生交換協定を締結している海外の大学（海外協定校）で「留学先の言語で専門分野の学習や研究をおこなうこと」が主目的のプログラムです。原則として、現地の大学で学部・大学院レベルの科目を履修します。「大学間協定」（担当部署：国際課）と「学部間協定」（担当部署：各学部・研究科事務室）の2種類があります。	p.26
認定留学	個人による	学生個人で手配し、本人からの申請に基づき、本学の審査・了承を得て、海外の大学またはこれに相当する高等教育機関に「在学留学」として留学する制度です。大学実施のプログラムではないため、基本的に本学のサポートは受けられませんが、留学期間は在学と見なされる他、留学先で取得した単位を単位認定申請できる可能性があります。	—
休学留学	個人による	学生個人で手配し、本学を休学して自主的に行う留学です。大学実施のプログラムではないため、基本的に本学のサポートは受けられませんが、留学先機関（大学や語学学校など）や留学期間を柔軟に選択することができます。	—

アーモスト大学への留学生派遣制度

https://international.doshisha.ac.jp/study_abroad_program/other/amherst.html

同志社の創立者である新島襄が卒業したアメリカ屈指のリベラルアーツカレッジであるアーモスト大学に編入する制度です。本制度で派遣される留学生は、アーモスト大学の3年生に正規学生として編入し、正規の課程を修了すれば2年後にはアーモスト大学の卒業生となることができます。「新島スカラー」と「同志社新島スカラー」の2種のいずれか（両スカラーともに、授業料および寮費・食費相当額を2年間にわたって支給する奨学金のもと、同志社から毎年1名がアーモスト大学へ派遣されます。

詳しくは、学校法人同志社ホームページをご参照ください。

<http://www.doshisha.ed.jp/works/scholar.html>



留学と卒業／費用の関係

	履修科目 による留学	卒業要件		留学に掛かる費用			本学を通して 申請可能な 奨学金制度
		留学期間の 修業年限への 算入	留学中に修得した 単位の認定	学費		その他	
				本学の学費	留学先の学費	諸費用 (例:住居費、往復渡航費等)	
	サマープログラム スプリングプログラム セメスタープログラム ドイツ語・異文化理解 EUキャンパスプログラム 学部・研究科の科目 等	○	— <small>科目として登録するため、 合格時に科目の単位を修得</small>	○	○ <small>(プログラム費用に含まれる) ※</small>	○ <small>(プログラム費用に含まれる)</small>	○
	派遣留学	○	○	○	×	○	○
	ヨーロッパ・スタディーズ EUキャンパスプログラム	○	△ <small>一部は科目として登録する ため、合格時に科目の単 位を修得</small>	○	×	△ <small>(往復渡航費はプログラム 費用に含まれない)</small>	○
	認定留学	○	○	○	○	○	○
	休学留学	×	×	— <small>休学在籍料</small>	○	○	×

※ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラムは、留学先の学費が免除される。

国際課が管理する語学研修プログラム／派遣留学先大学・機関一覧

(2023年3月現在)

- サマープログラム(16プログラム)
- ▲ スプリングプログラム(12プログラム)
- ◆ EUキャンパスプログラム(2プログラム)
- ★ 派遣留学プログラム(世界37ヶ国・地域、176大学)
- セメスタープログラム(3プログラム)

ヨーロッパ

- アイルランド**
● コーク・カレッジ大学
★ ダブリン・シティ大学人文社会科学部
- アゼルバイジャン**
★ ハザール大学
- イギリス**
★ ウォーリック大学
★ エディンバラ大学
● ★ ケンブリッジ大学
セントキャサリンズコレッジ
★ シェフィールド大学
★ マンチェスター大学
● ▲ ヨーク大学
★ リーズ大学
★ ロンドン大学(SOAS)
- イタリア**
★ ヴェネツィア大学
★ トリノ大学
★ ボローニャ大学
★ ミラノ大学
★ ローマ大学
- オランダ**
★ ハーグ応用科学大学
★ ライデン大学
- スイス**
★ チューリッヒ大学
★ ルツェルン大学
- スウェーデン**
★ ヨーテボリ大学経済商法学部
- スペイン**
▲ ★ サラマンカ大学
★ サン・アントニオ・ムルシア・カトリック大学
★ バルセロナ自治大学
★ ボンペウファブラ大学
- チェコ**
★ カレル大学
★ 西ボヘミア大学
★ マサリク大学
- デンマーク**
★ オーフス大学
- ドイツ**
◆ ★ デューピンゲン大学
★ デュッセルドルフ大学
▲ フライブルク大学
★ フランクフルト大学
★ マインツ大学
● マルティン・ルター大学
★ ミュンヘン大学文化学部
- ノルウェー**
★ オスロ大学
★ ベルゲン大学
- ハンガリー**
★ エトヴェシュ・ロラード大学
★ ペーチ大学
- フィンランド**
★ イースタン・フィンランド大学
★ タンペレ大学
★ ヘルシンキ大学
- フランス**
★ エクス・マルセイユ大学
★ エクセリア・グループ
▲ CAVILAM
(クルルモン・フェラン大学監修)
★ 国立東洋言語文化大学
★ サンジェルマン・アン・レー
政治学院
★ ストラスブル大学
★ ソルボンヌ大学文系学部
★ パリ政治学院
★ パリ大学-ナンテール
● フランシュ=コンテ大学
★ リヨン政治学院
★ レンヌ政治学院
- ベルギー**
★ トマスモア応用科学大学
★ ブリュッセル自由大学
- ポーランド**
★ ヤギェウォ大学
★ ワルシャワ大学
- リトアニア**
★ ヴィータウタス・マグヌス大学
- ルーマニア**
★ ブカレスト大学
- ロシア**
● ★ ロシア国立サンクトペテルブルク経済大学
- 中近東**
- イスラエル**
★ ハブライ大学
- トルコ**
★ サバンチ大学
★ 中東工科大学

アジア

- 中国**
▲ 華東師範大学
★ 吉林大学
★ 四川大学
★ 暨南大学
★ 重慶郵電大学
★ 西安交通大学
★ 清華大学
★ 西北大学
★ 浙江農林大学
★ 中国人民大學
★ 天津外国語大学
★ 東北師範大学
★ 武漢大学
★ 復旦大学
★ 北京師範大学
● 北京大学
★ 北京大学歴史学部
- 中国・香港**
★ 香港教育大学
★ 香港城市大学
★ 香港中文大学
★ 嶺南大学
- 韓国**
★ 仁川大学
★ 韓国外語大学
▲ 慶熙大学
★ 高麗大学
★ ソウル市立大学
★ ソウル女子大学
★ ソウル大学
★ 全南大学
● ★ 延世大学
★ 梨花女子大学
★ 嶺南大学
- 台湾**
★ 国立政治大学
★ 国立台湾師範大学
★ 国立台湾大学
★ 静宜大学
★ 淡江大学
★ 中国文化大学
★ 東呉大学
★ 輔仁大学
- フィリピン**
★ アテネオ・デ・マニラ大学
● ▲ セブ医科大学提携
Campus Language Center
★ デラサール大学
★ フィリピン大学ディリマン校
- マレーシア**
★ マラヤ大学
★ マレーシア科学大学
★ マレーシア国際イスラーム大学
- タイ**
★ タマサート大学
★ チュロンコン大学
★ パヤップ大学
- ベトナム**
★ ハノイ工科大学
- インドネシア**
★ ガジャマダ大学
- オセアニア**
- オーストラリア**
★ ウーロンゴン大学
★ サンシャイン・コースト大学
★ シドニー大学
★ チャールズ・ダーウィン大学
● ★ ■ ディーキン大学
★ ニューイングランド大学
★ ニュー・サウス・ウェールズ大学
▲ ホーソン・メルボルン英語学校
★ マドック大学
★ マッコリー大学
★ メルボルン大学
- ニュージーランド**
★ ウェリントン・ピクトリア大学
▲ オークランド大学
▲ オタゴ大学

北中南米

- カナダ**
■ ウィネペグ大学
● ガルフ大学
▲ セント・メアリーズ大学
● トンプソン・リバーズ大学
★ ビクトリア大学
★ ピショップス大学
★ プリティッシュ・コロンビア大学
★ モントリオール大学文理学部
★ レイクヘッド大学
★ ロイヤルローズ大学
- アメリカ**
★ アーモスト大学 [AKP]
★ ウィットマン大学 [AKP]
★ ウィリアムズ大学 [AKP]
★ ウェズリアン大学 [AKP]
★ オーパリン大学 [AKP]
★ カールトン大学 [AKP]
★ コネチカット大学 [AKP]
★ コルビー大学 [AKP]
★ スミス大学 [AKP]
★ バックネル大学 [AKP]
★ ベイツ大学 [AKP]
★ ボモナ大学 [AKP]
★ マウントホリヨーク大学 [AKP]
★ イェール大学 [KCJS]
★ エモリー大学 [KCJS]
★ コーネル大学 [KCJS]
★ コロンビア大学 [KCJS]
★ シカゴ大学 [KCJS]
★ スタンフォード大学 [KCJS]
★ バージニア大学 [KCJS]
★ ハーバード大学 [KCJS]
★ ブラウン大学 [KCJS]
★ プリンストン大学 [KCJS]
★ ペンシルベニア大学 [KCJS]
★ ボストン大学 [KCJS]
★ ワシントン大学セントルイス [KCJS]
★ アーカンソー工科大学
● アリゾナ大学
★ ウェスタンミシガン大学
★ エンブリーリドル航空大学
★ カラマズ大学
★ カリフォルニア大学パークレー校
● ★ カリフォルニア大学デービス校
▲ ★ カリフォルニア大学アーバイン校
★ カリフォルニア大学ロサンゼルス校
- ★ カリフォルニア大学メルセド校
★ カリフォルニア大学リバーサイド校
● ★ カリフォルニア大学サンディエゴ校
★ カリフォルニア大学サンフランシスコ校
★ カリフォルニア大学サンタバーバラ校
★ カリフォルニア大学サンタクルーズ校
★ コロラド大学ボルダー校
★ サルベ・レジーナ大学
★ サンディエゴ州立大学
★ ジョージ・メイソン大学
★ セント・メアリーズ大学
★ デンバー大学
★ ニューオーリンズ大学
★ ネブラスカ大学カーニー校
★ ノースカロライナ大学シャーロット校
★ ハワイ大学ヒロ校
★ ■ ハワイ大学マノア校
★ ポートランド州立大学
★ マレー州立大学
★ ミズーリ大学
★ ミリキン大学
★ モンタナ大学
★ コタ大学
★ リンフィールド大学
★ ロチェスター工科大学
- アルゼンチン**
★ トルキユアト・ディ・テラ大学
- チリ**
★ チリ・カトリカ大学
- メキシコ**
● ★ ラス・アメリカス大学

[AKP] Associated Kyoto Program (AKP) 加盟校
[KCJS] Kyoto Consortium for Japanese Studies (KCJS) 加盟校

留学の全体像を知ろう

留学の情報収集

留学プログラム

留学準備

留学中

留学後

資料・データ編

留学の全体像を知ろう

留学の情報収集

留学プログラム

留学準備

留学中

留学後

資料・データ編

学部・研究科／センターによる留学プログラム

派遣留学(学部・研究科間協定)プログラム

学部・研究科が独自に海外大学と学生交換協定を締結しているプログラムです。学部・研究科の研究分野に合致した協定先であることが多く、学業上の相関関係が高いことが特徴です。このプログラムには、所属している学部・研究科の学生のみが参加できます。派遣留学(学部・研究科間協定)プログラムは、原則として大学間協定と同様、留学期間中も本学に在学し、留学期間は卒業に必要な在学期間である修業年限(学部生は4年)に算入されます。また、留学中に修得した単位の認定を申請することもでき、留学先大学の学費は免除されます。ただし、プログラムによっては取り扱いが異なる場合がありますので、詳しくは、所属学部・研究科にご確認ください。

学部・研究科間協定校一覧

学部・研究科	大学名	国名	備考
神学部・神学研究科	ハイファ大学人文学部	イスラエル	
	メソヂスト神学大学院	韓国	
	チューリヒ大学神学部	スイス	
文学部・文学研究科	国立政治大学文學院	台湾	
社会学部	ケルン大学人文学部	ドイツ	
社会学部・社会学研究科	復旦大学社会発展・公共政策学院	中国	
	華東理工大学社会・公共管理学院	中国	
法学部	中央大学校社会科学部社会福祉学科	韓国	
	アリゾナ大学ロースクール	アメリカ	ダブルディグリープログラム
法学部・法学研究科	モントリオール大学法学部	カナダ	
	チューリヒ大学法学部	スイス	
	東呉大学法学院	台湾	
	トゥールーズ第1大学法政治学部	フランス	
	シエナ大学	イタリア	
	雲南大学法学院	中国	
	中国政法大学	中国	
	チューリヒ大学法学部	スイス	ダブルディグリープログラム
	タマサート大学法学部	タイ	ダブルディグリープログラム
法学研究科	中国人民大学法学院	中国	ダブルディグリープログラム
	中国人民大学国際関係学院	中国	
	ベトナム国家大学ハノイ校法学部	ベトナム	
	東呉大学法学院	台湾	ダブルディグリープログラム
	リーズ大学教育学・社会科学・法学部	イギリス	ダブルディグリープログラム
	中国政法大学	中国	ダブルディグリープログラム
	ミラノ大学社会政治学部	イタリア	
	デュースブルク＝エッセン大学メルカトール経営学院	ドイツ	
	慶星大学商経学部	韓国	
商学部	延世大学校経営学部	韓国	
	マレーシア科学大学経営学部	マレーシア	
	国立高雄大学管理学部	台湾	
	チュラロンコン大学経済学部	タイ	
文化情報学部	ベルリン自由大学経営・経済学部	ドイツ	
	中国人民大学統計学院	中国	
	デュッセルドルフ大学芸術人文学部	ドイツ	
	高麗大学政治経済学部	韓国	
	淡江大学外国語文學院	台湾	
	国立高雄大学人文社会科学部	台湾	
文化情報学研究科	国立中山大学文学部	台湾	
	湖南大学	中国	
理工学部・理工学研究科	国立高等職業学校アルビ・カルモー校	フランス	ダブルディグリープログラム
	ザールラント大学第8学部	ドイツ	
	アテネオ・デ・マニラ大学理工学科	フィリピン	
	キングモンクット工科大学ラートクラバン校	タイ	
	ノルウェー科学技術大学	ノルウェー	
	西ボヘミア大学 機械工学部	チェコ	
	モントリオール理工科大学	カナダ	
	マレーシア科学大学	マレーシア	
理工学研究科	汕頭大学 工学院・理学院	中国	
	ハノイ工科大学電気工学部	ベトナム	
	西安交通大学 大学院	中国	ダブルディグリープログラム
	大連理工大学 物理学院	中国	
	西安電子科技大学	中国	ダブルディグリープログラム
コルドス工科大学理工学研究科	トルコ		

学部・研究科	大学名	国名	備考
理工学部・理工学研究科 / 生命医科学部・生命医科学研究科	ウィーン工科大学	オーストリア	ダブルディグリープログラム
	モンス大学	ベルギー	ダブルディグリープログラム
	エコール・セントラル リール	フランス	ダブルディグリープログラム
	エコール・セントラル リヨン	フランス	ダブルディグリープログラム
	エコール・セントラル マルセイユ	フランス	ダブルディグリープログラム
	エコール・セントラル ナント	フランス	ダブルディグリープログラム
	エコール・セントラル パリ セントラルスピレック	フランス	ダブルディグリープログラム
	リール国立化学高等専門学校	フランス	ダブルディグリープログラム
	ミラノ工科大学	イタリア	ダブルディグリープログラム
	チェコ工科大学	チェコ	
	パリ国立高等職業学校	フランス	
	ソルボンヌ大学理工学部	フランス	
	パリ・シテ大学基礎生物医工学部	フランス	
	エクス・マルセイユ大学理学部およびポリテック・マルセイユ	フランス	
パリ市立工業物理化学高等専門学校	フランス	ダブルディグリープログラム	
マドリッド工科大学生産工学部・通信工学部・情報工学部	スペイン	ダブルディグリープログラム	
リスボン大学高等工科学院	ポルトガル		
生命医科学部・生命医科学研究科	オットー・フォン・ゲーリケ大学マクデブルク コンピュータサイエンス学部	ドイツ	
	カーディフ大学視覚光学部	イギリス	
スポーツ健康科学部	オスナブルック大学教育文化学部スポーツ運動学科	ドイツ	
	テュービンゲン大学経済学・社会学部スポーツ科学研究所	ドイツ	
	ミュンスター大学心理学・スポーツ科学部スポーツ運動科学研究所	ドイツ	
	マドリッド工科大学 身体活動・スポーツ科学部	スペイン	
グローバル・コミュニケーション学部	アケイディア大学	カナダ	
	サウサンプトン大学	イギリス	
	サセックス大学	イギリス	
	パリ・シテ大学	フランス	
グローバル地域文化学部	東海大学文學院	台湾	
	延世大学校人文芸術大学国語国文学科	韓国	
グローバル・スタディーズ研究科	社会科学高等研究院	フランス	
	オールボー大学	デンマーク	
ビジネス研究科	中国人民大学商学院	中国	ダブルディグリープログラム
	テュービンゲン大学経済社会学研究科	ドイツ	
	ヨーテボリ大学大学院経済商法学研究科	スウェーデン	
	国立台湾師範大学管理學院	台湾	
	ガジャ・マダ大学経済ビジネス学部	インドネシア	
	スタヴァンゲル大学 ビジネススクール	ノルウェー	
	IE大学	スペイン	
国際教育インスティテュート(ILA)	ユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドン社会・歴史科学部人類学科	イギリス	
	マストリヒト大学 マストリヒトカレッジ	オランダ	

正課科目での海外渡航プログラム

学部／センターにおいて、正課科目で海外に渡航するプログラムがあり、学部／センターの専門分野に関係した内容になっています。詳しくは、所属学部／センターにご確認ください。

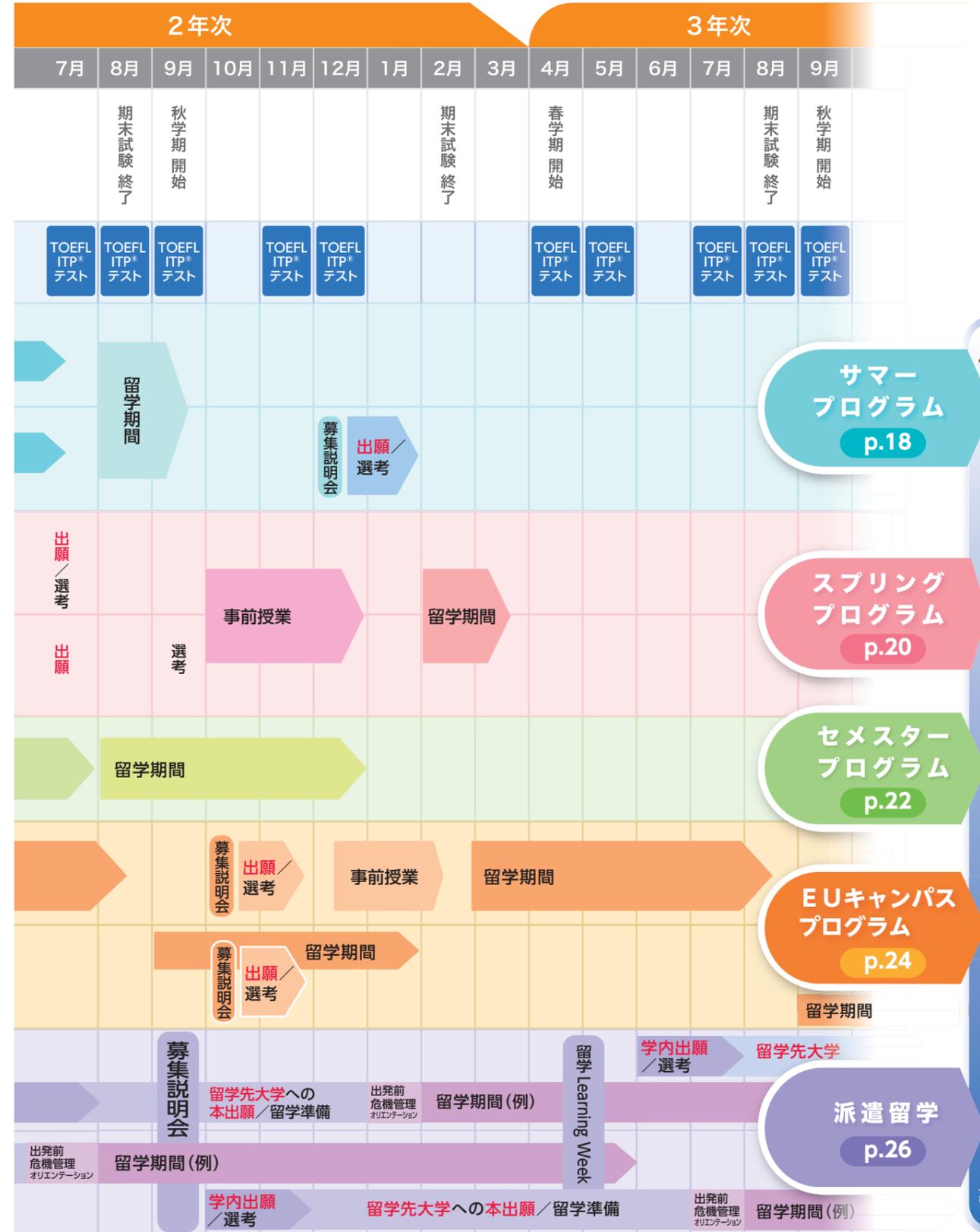
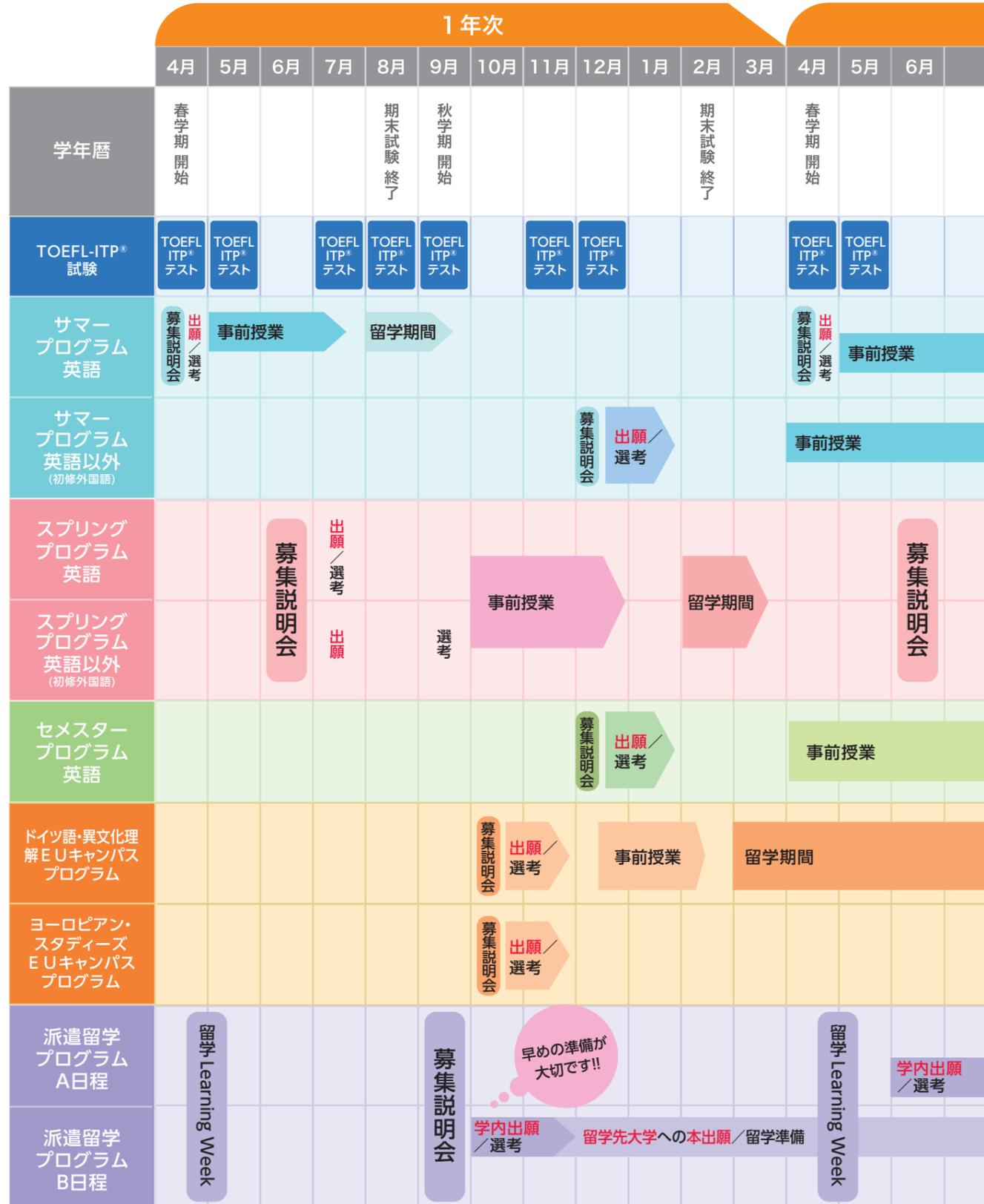
プログラム一覧

学部・研究科／センター	科目名	渡航国・地域	渡航先機関・概要	渡航期間
神学部	宗教と国際社会 -バングラデシュで学ぶ国際社会の課題-	バングラデシュ	ゴバルガンジ 児童養護施設や小学校、 シュンドルボン マングローブ林 他	8月(約1週間)
社会学部	国際社会福祉実習	アメリカ	ハワイ大学 他	9月(約2週間)
社会学部	異文化体験実習	カナダ	ビクトリア大学、Steveston地域訪問 他	9月(約1週間)
法学部	特殊講義A	台湾	国立中正大学	8月(約2週間)
商学部	海外ビジネスII	アメリカ	ロサンゼルスでの日系企業訪問 他	9月(約1週間)
文化情報学部	体験型教養科目 -Open Doors Program:Exploring New Orleans-	アメリカ	ニューオリンズ大学	3月(約2週間)
	体験型教養科目 -Short Program in Heinrich Heine University-	ドイツ	デュッセルドルフ大学	7月～8月(約1ヶ月)
理工学部	学外実習I	フィリピン	セブでの語学研修、日系企業訪問	2月～3月(約2週間)
生命医科学部	特別講義-海外企業体験-	ドイツ又はイギリス	現地日系企業訪問 他	9月(約2週間)
	海外キャリアリサーチ	アメリカ	ロサンゼルスでの語学研修、カリフォルニア大学アーバイン校 他	8月～9月(約3週間)
スポーツ健康科学部	インターンシップ演習	韓国	現地日系企業訪問	8月～9月(約2週間)
	スポーツ健康科学特殊講義S	カナダ	トロント、バンクーバー	3月(約1週間)
グローバル地域文化学部	スポーツ健康科学特殊講義S	ドイツ	ドイツのスポーツ施設他	8月～9月(約1週間)
	海外インターンシップ	オーストラリア	メルボルンの現地企業訪問 他	8月～9月(約2週間)
グローバル教育センター	海外語学プログラム(英語)I・II・III	アメリカ	ウェスタン・ミシガン大学	8月～12月(約4ヶ月)
	Freshman "Go Global" Program	ベトナム	ホーチミン訪問	2月～3月(約1週間)
	Freshman "Go Global" Program	ドイツ 他	同志社大学テュービンゲンEUキャンパス 他	2月～3月(約1週間)
	Mid-college "Be Strong" Program	アメリカ	ワシントンDC訪問	8月(10日間)

※科目の開講や渡航先・期間は年度によって異なります。詳しくは、各学部・研究科／センターにご確認ください。
※上記以外に学部・研究科独自の海外渡航プログラムがある場合があります。詳細は、各学部・研究科にご確認ください。

留学スケジュール

- 下記スケジュールは変更になる可能性があるため、国際課HP/掲示板にて最新の情報をご確認ください。
 - 下記派遣留学の「本出願(=大学の候補者となった後に、留学先大学へ出願書類を準備すること)」の時期は、留学先により異なります。
- ※新型コロナウイルス感染症の影響により変更が生じる可能性があります。



※TOEFL®はエデュケーション・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。

各種相談窓口

相談内容	相談窓口	今出川校地	京田辺校地
派遣留学(大学間) サマープログラム スプリングプログラム セメスタープログラム EUキャンパスプログラム 留学に関する奨学金	国際課 ■留学コーディネーター ■Go Global Assistant ■アームストフェロー	扶桑館1階	嗣業館1階
単位認定の方法 派遣留学(学部・研究科間) 認定留学	所属学部・研究科	—	—
外国語教育科目の登録方法 語学カウンセリングの予約	教務センター 外国語教育科目 担当窓口	良心館1階	成心館1階
就職活動	キャリアセンター	寒梅館2階	嗣業館1階

P7

P38

P46

■ 留学コーディネーター

本学では、グローバルに活躍することを目指す皆さんに快適な学習環境を提供するため、多文化交流の拠点となる「Global Village」や「国際交流ラウンジ」があり、留学相談に応じる留学コーディネーターを配置しています。留学コーディネーターは、一人ひとりの皆さんと留学プランについて話し合い、プログラムの選択、準備方法、留学中の活動や注意点、さらに留学後の取り組みを具体化することでグローバル社会で活躍するための能力を最大限に高めることを支援しています。また、在学中には特に留学を予定していない皆さんにも、グローバル人材として求められる語学力向上、異文化適応能力、海外の人たちとのコミュニケーション能力等の向上に活用できる学内の活動やプログラムの紹介等もワンストップサービスで提供しています。事前予約は不要ですが、予約がある場合は予約を優先とします。海外経験豊富なスタッフにお気軽にご相談ください。

相談場所・時間

<https://international.doshisha.ac.jp/consultation/coordinator.html>

今出川校地

良心館2階ラーニング・commons (Global Village)
月・火・木・金 9:00~17:00

京田辺校地

嗣業館1階国際課
水曜日 9:00~17:00



留学のことなら
なんでも相談下さい



■ Go Global Assistant

<https://international.doshisha.ac.jp/consultation/assistant.html>

今出川キャンパスのGlobal Village(ラーニング・commons内)では、Go Global Assistant(留学アシスタント)が、皆さんの疑問や相談にお答えします。留学アシスタントは、同志社大学で学ぶ世界各国からの外国人留学生です。同年代のさまざまなバックグラウンドを持つ世界の優秀な学生たちと意見を交換し合う良い機会となりますので、語学力を気にすることなく、お気軽にお越しください。



留学コーディネーターからのメッセージ

日本の外に出て学ぶという経験は、視野を広げ、その後の人生に影響を与えてくれるものです。国内にいても、世界の情報を得ることはできますが、留学との決定的な違いは、留学先では自分がマイノリティになるという経験だと思います。その経験が、視点を変えて世界を見ること、異文化への深い理解や、自己理解へとつながるのです。思考の柔軟な学生時代にこそ、今いる環境から出てみる機会を見つけて、多様性あふれる世界を肌で感じてみてください！進路に迷ったときはいつでも気軽に相談してください。みなさんとの出会いを楽しみにしています。
"Go Global" ポートフォリオ内に設定しているコミュニティ、「留学コーディネーターに聞いてみよう」に、留学や語学に関連したテーマで記事を投稿しています。是非一度覗いてみてください。



留学コーディネーター 後藤道代

FAQ: よくある相談

- 留学してみたいけど、何から始めたらいいの？ 留学に向けてどんな準備をすればいいの？
- 大学の選び方は？ 利用できる奨学金はありますか？
- 卒業後の進路や大学院留学について悩んでいます…

■ アームストフェロー

アームスト大学は、アメリカを代表する名門リベラルアーツ・カレッジの1つです。また同志社の創立者・新島襄が学んだことでも知られており、帰国後の新島が京都で設立した同志社は、アームスト大学がモデルとなっています。両大学の間には深い交流が今なお続いており、アームスト大学から、毎年「Amherst Doshisha Fellow (通称：アームストフェロー)」が客員研究員として来校し、両大学の交流促進に務めています。その交流の一環として、今出川キャンパスの良心館 2階ラーニングcommons Global Village および京田辺キャンパス嗣業館1階の国際交流ラウンジで、アームストフェローと自由に交流できるオフィスアワーを週1回、各校地で開催しています。ただし、新型コロナウイルスの感染状況により、オンラインでの開催等に変更する可能性もありますので、詳細については右記 URL または QR コードにてご確認ください。アメリカの大学や留学に興味がある方や英語での会話を楽しみたい方等、アームストフェローとの交流を希望する方は、是非ご参加ください。

2022-2023年度 オフィスアワー

https://international.doshisha.ac.jp/consultation/amherst_fellow.html

今出川校地

毎週水曜日 13:10~14:40(3講時)
良心館2階ラーニングcommons Global Village



京田辺校地

毎週火曜日 13:10~14:40(3講時)
嗣業館1階国際交流ラウンジ

AMHERST FELLOW

~アームストフェローと交流してみませんか~

同志社大学の外国協定大学のひとつであり、新島襄も学んだ全米有数のリベラルアーツカレッジであるアームスト大学から、「Amherst Doshisha Fellow (通称：アームストフェロー)」が本学に来校し、両大学の交流促進に務めています。



みなさんこんにちは！私はオリビア・ドイルです。第62代アームストフェローです。初めまして！ノースカロライナ州出身ですが、マサチューセッツ州にある学校に行きました。アームスト大学では歴史とアジア言語・文明を専攻して、2022年に卒業しました。何でも気軽に声をかけて下さいね！



留学お役立ち情報 ("Go Global" ポートフォリオ: GGPなど)

Q 留学についての情報はどこで調べたらいいの？

A 相談窓口 (p.14参照) を利用する他、以下の冊子やシステムをご活用ください！

冊子/システム	特長	配付・掲載場所
海外留学ロードマップ2023 (本冊子)	留学全般に関してまとめた冊子。派遣留学/サマー/スプリング/セメスター/EUキャンパスプログラムの他、大学外のプログラム(認定留学、休学留学など)についても扱うため、留学の全体像を把握するためにも便利。	新入生に配布 両校地 国際課 国際課HP
募集要項	正式名称は同志社大学外国協定大学派遣留学生制度募集要項。派遣留学(大学間)の募集や選考に関して、スケジュールや留意点等を記載。年度ごとに異なるため最新版を入手すること。	両校地 国際課 国際課HP
	サマー/スプリング/セメスター/EUキャンパスプログラムの募集・選考に関する内容や、各プログラムの研修内容等の詳細を記載。年度ごとに異なる内容のため、最新版を入手すること。	募集説明会で配布 両校地 国際課 国際課HP
プログラムリスト	派遣留学(大学間)の募集大学や出願要件等のリストを掲載。募集時期の前に更新されるため、最新情報のチェックが必須。	国際課HP GGP
協定校info	大学間協定を締結している各大学の基本情報、履修情報、出願に関する情報を掲載。過去の派遣学生の報告書も参照可。	GGP
留学体験記・アンケート	サマー/スプリング/セメスター/EUキャンパスプログラムに参加した学生の留学体験記とアンケートを掲載。	GGP
同志社大学ポータル	留学関連の情報を国際課から定期的に発信。	ポータル

Q GGP("Go Global" ポートフォリオ)って何？

A GGPは同志社大学生限定の留学支援ウェブシステムです(大学から付与されたユーザーIDとパスワードが必要)。留学に関する情報収集ができる他、派遣留学、サマー/スプリング/セメスター/EUキャンパスプログラムのWEB出願時に利用します。これらのプログラムに関心のある方は、必ず以下を熟読のうえ、設定をしてください！

Step 1 GGPへログインしよう！

同志社大学 Web シングルサインオンサービスにログインし、サービス一覧から「Go Global」ポートフォリオを選択。IDとパスワードは入学時に受け取る「ユーザーID通知書」を参照。

<https://sso.doshisha.ac.jp>



Step 2 初期設定をしよう！

設定をしよう！

【プロフィールの設定】

①「設定」をクリック→②「プロフィールの編集」をクリック
アイコンを設定したうえで、詳細プロフィールを入力し、「保存」をクリック(設定完了)

【リマインダ設定】※設定により大学からの通知がメールで届きますので必ず設定を！

①「設定」をクリック→③「リマインダ設定」をクリック
まず、一番上の項目の『リマインダ』を『受信する』を必ず選択すること
その他、以下の6つの項目を『受信する』として、最後に「保存してテストメールを送信」をクリック(設定完了)

- お知らせ ●コースニュース ●レポート開催通知
- コース・コミュニティの掲示板への新着書き込みのお知らせ ●レポート提出のお知らせ ●自分のポートフォリオのコレクションについてのコメントのお知らせ



Step 3 マイページ (トップページ) から情報検索してみよう！

④ マイコース

参加予定(参加中)のプログラムに応じて、国際課でコースを設定します(●年度派遣留学、奨学金、語学試験検定料補助など)。コースにアクセスのうえ、各種申請や提出をすることができます。

⑤ プロフィール

語学スコア、留学・海外学習歴の登録ができます。留学前後に積極的に語学試験を受験し、ご自身の成長を記録していきましょう。

⑥ 留学関連情報

派遣留学プログラムからは、「プログラムリスト」「協定校info」「WEB出願」へのアクセスができます。
短期留学プログラムからは「募集要項」「留学体験記・アンケート」「WEB出願」にアクセスができます。



サマープログラム



https://international.doshisha.ac.jp/study_abroad_program/summer.html

プログラムの特徴	こんな人におすすめ!
<ul style="list-style-type: none"> ● 夏期休暇中の約3~4週間 ● 団体(人数はプログラムによって異なる)での留学 ● 大学附属の語学学校等で学ぶ ● 語学要件なし 	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外生活を体験してみたい方 ● 部活動等で長期間の留学が難しい方 ● 集中して語学を学びたい方 ● 長期留学出願に向けて語学力を伸ばしたい方

プログラム概要

- 海外における短期集中の語学学習を外国語教育の一環として行う研修制度で、大学の夏期休暇中に実施されます。
- 事前授業に加え、研修先での生活・文化体験と集中的な語学研修を通じて高度な外国語運用能力を養成するとともに、その国の文化・社会に対する理解を深め、国際感覚豊かな人材を養成することを目指します。
- 渡航前の春学期に研修先の国の言語・文化・社会への理解、留学の準備のための事前授業を行います。
- 研修先のプレシメントテスト結果等をもとに、能力に適切なコースとレベルにクラス分けされ、研修を受講します。
- 帰国後は事後授業やプログラム終了後のレポートがあります。

科目登録・単位・成績評価

- 「全学共通教養教育科目」に該当し、科目登録は留学実施年度の春学期に行います。
- 修得可能単位数はプログラムによって異なり、2~4単位が修得可能です。単位の取扱いについては、所属学部窓口へご確認ください。
- 成績は、事前授業、現地研修、事後授業、プログラム終了後のレポートの評価等を総合して評価し、留学実施年度の秋学期末に通知されます(プログラムごとのシラバス参照)。

履修の制限

- 再修生(5年次生以上)で留学実施年度の春学期卒業見込みの学生は出願不可。再修生で出願を希望する場合、所属学部窓口または今出川/京田辺キャンパス教務センター(外国語教育科目窓口)に相談すること。
- グローバル・コミュニケーション学部日本語コース生は、母語で実施されるプログラムへは出願不可。
- 国際教育インスティテュート国際教養コース生は、英語で実施されるプログラムへは出願不可。ただし、初修外国語(母語を除く)で実施されるプログラムへは出願可能。

科目登録以外に必要な手続き(渡航・査証申請、保険の加入等)・その他注意事項

- 航空券の手配、査証申請の手続き等は、本学指定の旅行会社が代行します。出発日・帰国日等の日程を個人の都合に合わせて変更することはできません。また、留学中のけがや病気、盗難に備え、本学指定の海外旅行保険への加入が義務付けられています。
- 募集要項を必ず確認してください。最新の募集要項は、国際課HPに掲載し、国際課・教務センター等にも配置予定です。また、参加者は事前授業への出席と、出発前に行われる危機管理オリエンテーションへの出席が必須です。

研修先 以下は、2019年度実績です。2020・2021・2022年度は新型コロナウイルス感染症の影響で渡航での実施は中止となりました。2023年度のプログラム詳細は、国際課HPをご確認ください。

【渡航】

科目名	研修先	国名	単位数	研修期間	費用	滞在方法	募集人数	最少催行人数
サマープログラム・英語A	ヨーク大学	イギリス	4	2019年8月10日~9月 8日	約 50 万円	寮/ホームステイ	約 24 名	12 名
	ディーキン大学	オーストラリア	4	2019年8月10日~9月15日	約 54 万円	ホームステイ	約 20 名	10 名
	アリゾナ大学	アメリカ	4	2019年8月16日~9月15日	約 73 万円	寮	約 20 名	12 名
	ゲルフ大学	カナダ	4	2019年8月10日~9月 8日	約 64 万円	ホームステイ	約 40 名	20 名
	セブ医科大学	フィリピン	4	2019年8月11日~9月 1日	約 38 万円	寮	約 30 名	15 名
	トンソン・リバーズ大学	カナダ	4	2019年8月16日~9月15日	約 61 万円	ホームステイ	約 30 名	11 名
サマープログラム・英語B	スタンフォード大学	アメリカ	3	2019年8月 4日~9月 1日	約109万円	寮	約 10 名	1 名
	カリフォルニア大学デービス校	アメリカ	3	2019年8月10日~9月 8日	約 68 万円	ホームステイ	約 25 名	10 名
	コーク・カレッジ大学	アイルランド	3	2019年8月10日~9月 8日	約 61 万円	ホームステイ	約 15 名	1 名
	ロンドン芸術大学	イギリス	3	2019年8月10日~9月 1日	約 54 万円	寮	約 28 名	10 名
サマープログラム・英語C	ケンブリッジ大学	イギリス	2	2019年8月10日~9月 1日	約 68 万円	寮	約 40 名	32 名
	カリフォルニア大学サンディエゴ校	アメリカ	2	2019年8月17日~9月 8日	約 77 万円	ホームステイ	約 30 名	15 名
サマープログラム・ドイツ語B	マルティン・ルター大学	ドイツ	3	2019年8月 9日~8月30日	約 49 万円	ホームステイ	約 20 名	1 名
サマープログラム・フランス語	フランシュ=コンテ大学	フランス	4	2019年8月 9日~9月10日	約 63 万円	寮/ホームステイ	約 20 名	4 名
サマープログラム・中国語	北京大学	中国	4	2019年8月 9日~9月 1日	約 37 万円	寮	約 20 名	6 名
サマープログラム・スペイン語	ラス・アメリカス大学	メキシコ	4	2019年8月10日~9月 9日	約 69 万円	ホームステイ	約 20 名	10 名
サマープログラム・ロシア語*	ロシア国立サンクトペテルブルク経済大学	ロシア	4	2018年8月19日~9月10日	約 42 万円	寮	約 20 名	6 名
サマープログラム・コリア語	延世大学	韓国	3	2019年8月22日~9月17日	約 30 万円	寮	約 20 名	1 名

*ロシア語:本プログラムは隔年で実施しています。2023年度は中止となりました。

費用:学費・住居費・食費の一部・往復航空券等を含む

研修先

以下は、2022年度実施をしたプログラムです。(新型コロナウイルス感染症の影響でプログラム数を絞りオンラインで実施しました)

【オンライン】

科目名	研修先	国名	単位数	研修期間	費用	募集人数	最少催行人数
サマープログラム・英語A	セブ医科大学提携 Campus Language Center	フィリピン	4	2022年8月15日~9月 9日	約 11 万円	約 30 名	5 名
サマープログラム・英語B	カリフォルニア大学デービス校	アメリカ	3	2022年8月13日~9月10日	約 20 万円	約 25 名	5 名
サマープログラム・英語C	カリフォルニア大学サンディエゴ校	アメリカ	2	2022年8月30日~9月24日	約 20 万円	約 20 名	5 名
サマープログラム・ドイツ語B	マルティン・ルター大学	ドイツ	3	2022年8月 8日~8月31日	約 8 万円	約 20 名	1 名
サマープログラム・中国語B	北京大学	中国	3	2022年8月 1日~8月26日	約 15 万円	約 20 名	1 名

研修先紹介



カリフォルニア大学 デービス校



アメリカ

都市:デービス

特徴:州都サクラメントから西に18kmの場所に位置し、大都市へのアクセスの良いデービス市。カリフォルニア大学デービス校はアメリカ最高水準の高等教育を提供するカリフォルニア大学のキャンパスのうちの1つであり、U.S.News 誌の大学ランキングでも毎年全米上位にランキングされる。大学が提供する英語教育プログラムでは、英語力の向上のみならず、アメリカ文化、環境・社会問題、SDGsなど様々な分野のトピックを通し、グローバル社会の一員として必要な知識を学ぶことができる。



カリフォルニア大学 サンディエゴ校



アメリカ

都市:サンディエゴ

特徴:カリフォルニア大学サンディエゴ校は、サンディエゴの郊外の太平洋沿岸で美しい街路ホヤに位置する、高い教育水準と世界的にも最大規模を誇るカリフォルニア大学のキャンパスの1つ。アメリカ社会・文化を学ぶとともに、現地企業の訪問や企業人・技術者の講演を通して、理系関連の技術動向とキャリアの広がりを肌で感じることができる。授業では現地学生の会話パートナーのサポートもあり、会話を主とした英語能力の向上を目的としている。



ヨーク大学



イギリス

都市:ヨーク

特徴:首都ロンドンから電車で2時間程の所にある歴史文化に溢れる街ヨーク。ヨーク大学は自然に囲まれた美しい大学として知られ、24時間開室の図書館やヘルスケアセンターの完備など、学生サポートが充実している。授業は同志社大学生のためにアレンジされた特別授業で、ヨークの文化や歴史などを主なテーマに、コミュニケーション能力の向上を図りながら英国の生活や文化に触れることで国際的な感覚を磨くことができる。



マルティン・ルター大学



ドイツ

都市:ハレ・ヴィッテンベルク

特徴:純粋なドイツの姿が残された、自然豊かなヴィッテンベルクにある大学。ドイツ史の重要な舞台となった都市も近隣にあるため、ドイツ文化を多層的に経験できる。また、ドイツの主要都市を訪れたり、ヴィッテンベルクの散策など文化体験することもでき、ドイツ語での授業とアクティビティをバランス良く経験できることが特徴である。

スプリングプログラム



https://international.doshisha.ac.jp/study_abroad_program/spring.html

プログラムの特徴

- 春期休暇中の約2~4週間
- 団体(人数はプログラムによって異なる)での留学
- 大学附属の語学学校等で学ぶ
- **語学要件なし**

こんな人におすすめ!

- 海外生活を体験してみたい方
- 部活動等で長期間の留学が難しい方
- 集中して語学を学びたい方
- 長期留学出願に向けて語学力を伸ばしたい方

プログラム概要

- 海外における短期集中の語学学習を外国語教育の一環として行う研修制度で、大学の春期休暇中に実施されます。
- 事前授業に加え、研修先での生活・文化体験と集中的な語学研修を通じて高度な外国語運用能力を養成するとともに、その国の文化・社会に対する理解を深め、国際感覚豊かな人材を養成することを目指します。
- 渡航前の秋学期に研修先の国の言語・文化・社会への理解、留学の準備のための事前授業を行います。
- 研修先のプレACEMENTテスト結果等をもとに、能力に適したコースとレベルにクラス分けされ、研修を受講します。
- 帰国後は事後授業やプログラム終了後のレポートがあります。

科目登録・単位・成績評価

- 「全学共通教養教育科目」に該当し、科目登録は留学実施年度の秋学期に行います。
- 修得可能単位数はプログラムによって異なり、1~4単位が修得可能です。単位の取扱いについては、所属学部窓口へご確認ください。
- 成績は、事前授業、現地研修、事後授業、プログラム終了後のレポートの評価等を総合して評価し、留学実施翌年度の春学期末に通知されます(プログラムごとのシラバス参照)。

履修の制限

- 実施年度の3月に卒業予定の学生は出願不可。
- グローバル・コミュニケーション学部日本語コース生は、母語で実施されるプログラムへは出願不可。
- 国際教育インスティテュート国際教養コース生は、英語で実施されるプログラムへは出願不可。ただし、初修外国語(母語を除く)で実施されるプログラムへは出願可能。

科目登録以外に必要な手続き(渡航・査証申請、保険の加入等)・その他注意事項

- 航空券の手配、査証申請の手続き等は、本学指定の旅行会社が代行します。出発日・帰国日等の日程を個人の都合に合わせて変更することはできません。また、留学中のけがや病気、盗難に備え、本学指定の海外旅行保険への加入が義務付けられています。
- 募集要項を必ず確認してください。最新の募集要項は、国際課HPに掲載し、国際課・教務センター等にも配置予定です。また、参加者は事前授業への出席と、出発前に行われる危機管理オリエンテーションへの出席が必須です。

研修先 以下は、2019年度実績です。2020・2021・2022年度は新型コロナウイルス感染症の影響で一部のプログラムは渡航での実施が中止となりました。2023年度のプログラム詳細は、6月頃(予定)に発表します。

【渡航】

科目名	研修先	国名	単位数	研修期間	費用	滞在方法	募集人数	最少催行人数
スプリングプログラム・英語A	ホーンズ・メルボルン英語学校	オーストラリア	4	2020年2月21日~3月22日	約45万円	ホームステイ	約25名	15名
	ヨーク大学	イギリス	4	2020年2月17日~3月21日	約52万円	ホームステイ	約24名	10名
	セブ医科大学提携 Campus Language Center	フィリピン	4	2020年2月16日~3月8日	約35万円	寮	約30名	15名
スプリングプログラム・英語B	セント・メアリーズ大学	カナダ	3	2020年2月22日~3月15日	約51万円	ホームステイ	約30名	15名
	オークランド大学	ニュージーランド	3	2020年2月14日~3月15日	約52万円	ホームステイ	約20名	12名
スプリングプログラム・英語C	カリフォルニア大学アーバイン校	アメリカ	2	2020年2月18日~3月11日	約57万円	ホームステイ	約25名	15名
	オタゴ大学	ニュージーランド	2	2020年2月18日~3月22日	約54万円	ホームステイ	約25名	10名
スプリングプログラム・ドイツ語	フライブルク大学 ※	ドイツ	3	2020年3月2日~3月23日	約38万円	寮	約16名	1名
スプリングプログラム・フランス語	CAVILAM(クレルモン・フェラン大学監修)	フランス	3	2020年2月19日~3月23日	約64万円	寮/ホームステイ	約20名	5名
スプリングプログラム・中国語	華東師範大学 ※	中国	1	2020年2月29日~3月14日	約25万円	寮	約20名	1名
スプリングプログラム・スペイン語C	サラマンカ大学	スペイン	2	2020年2月28日~3月18日	約28万円	ホームステイ	約20名	10名
スプリングプログラム・ロシア語	慶熙大学 ※	韓国	3	2020年3月3日~3月24日	約23万円	寮	約20名	1名

※フライブルク大学、華東師範大学、慶熙大学は新型コロナウイルスの影響により2019年度は渡航中止となりました。

費用：学費・住居費・食費の一部・往復航空券等を含む

研修先

以下は、2022年度実施をしたプログラムです。(新型コロナウイルス感染症の影響でプログラム数を絞り渡航・オンラインで実施しました)

【渡航】

科目名	研修先	国名	単位数	研修期間	費用	募集人数	最少催行人数
スプリングプログラム・英語A	ヨーク大学	イギリス	4	2023年2月18日~3月22日	約80万円	約24名	10名
スプリングプログラム・英語C	カリフォルニア大学アーバイン校	アメリカ	2	2023年2月20日~3月14日	約93万円	約25名	13名
スプリングプログラム・ドイツ語	フライブルク大学	ドイツ	3	2023年3月1日~3月22日	約60万円	約20名	1名
スプリングプログラム・フランス語	CAVILAM(クレルモン・フェラン大学監修)	フランス	3	2023年2月17日~3月20日	約94万円	約20名	5名
スプリングプログラム・スペイン語	サラマンカ大学	スペイン	2	2023年2月19日~3月17日	約52万円	約20名	10名

【オンライン】

科目名	研修先	国名	単位数	研修期間	費用	募集人数	最少催行人数
スプリングプログラム・英語A	セブ医科大学提携 Campus Language Center	フィリピン	4	2023年2月20日~3月17日	約11万円	約30名	5名
スプリングプログラム・英語B	オタゴ大学	ニュージーランド	3	2023年2月20日~3月17日	約15万円	約25名	6名

研修先紹介(一例)



オタゴ大学



ニュージーランド

都市：ダニーデン

特徴：観光も文化も自然も満喫できる学生の街、南島に位置するダニーデン。オタゴ大学はニュージーランドで最初に創立され、ニュージーランドのトップ大学として知られている。世界100ヶ国以上から留学生が集まっており、留学生に温かい安全な都市である。学術都市としても有名な街で、レストランやカフェ、美術館やスポーツ施設も充実している。



セント・メアリーズ大学



カナダ

都市：ハリファックス

特徴：創立1802年、カナダで最も歴史ある州立大学の1つに数えられ、留学生の出身国籍が90ヶ国以上とあり「ミニ国連」という愛称を持つカナダ有数のグローバル大学。授業ではビジネス英語運用能力の向上を図ると共に、国際ビジネスの基礎知識やマナーなど、キャリア構築について集中的に学ぶ。またプログラム期間中の滞在形態は参加者全員がホームステイとなり、カナダの人々との交流や文化、習慣を学ぶ貴重な経験ができる。



サラマンカ大学



スペイン

都市：サラマンカ

特徴：サラマンカ大学は現存するスペイン最古の大学。サラマンカは他の都市が参考にするような、スペイン語語学留学先モデル都市であり、学生が多く国際色豊かである。また、旧市街地は世界遺産に認定されており、スペインの文化、習慣、環境から多岐にわたる学習ができる。コースは入門、中級、上級がある。

セメスタープログラム



https://international.doshisha.ac.jp/study_abroad_program/semester.html

プログラムの特徴

- 秋学期(約4ヶ月間)実施
- 団体(人数はプログラムによって異なる)での留学
- 大学附属の語学学校で学ぶ
- **語学要件あり**



こんな人におすすめ!

- 集中して語学力を伸ばしたい方
- 長期留学に興味があり、語学を集中して学びたい方

プログラム概要

- 秋学期(約4ヶ月間)、海外の研修校で集中的に英語研修を受けることによって、英語の運用能力を総合的に高めることを目的としています。
- 渡航前の春学期に研修先の国の言語・文化・社会への理解、留学の準備のための事前授業を行います。
- 研修先のプレACEMENTテスト結果をもとに、能力に適したコースとレベルにクラス分けされ、研修を受講します。研修先での学習と生活を通して語学力を向上させるとともに、豊かな国際感覚を養います。
- 帰国後は事後授業やプログラム終了後のレポートがあります。
- **同志社大学へ学費の納入が必要です。**

出願要件・科目登録・単位・成績評価

- **出願時に、TOEFL ITP® テスト450以上、TOEFL iBT® テスト45以上、TOEFL iBT® Home Edition テスト45以上、IELTS™ overall band score 4.5以上のいずれかが必要です。(TOEFL iBT® テストは「Test Date スコア」のみ可。「My Best™ Scores」は認めない。)**
- 「全学共通教養教育科目」に該当し、修得可能単位は、「セメスタープログラム・英語Ⅰ」「セメスタープログラム・英語Ⅱ」の計8単位です。単位の取扱いについては、所属学部窓口へご確認ください。
- 秋学期の履修登録科目は、上記科目のみとなり、他の科目の履修登録はできません。詳細は、所属学部窓口または今出川/京田辺キャンパス教務センター(外国語教育科目窓口)にご確認ください。
- 成績は、事前授業、現地研修、事後授業、プログラム終了後のレポートの評価等を総合して評価されます(プログラムごとのシラバス参照)。

履修の制限

- グローバル・コミュニケーション学部日本語コース生は、母語が英語の場合は出願不可。
- 国際教育インスティテュート国際教養コース生は出願不可。

科目登録以外に必要な手続き(渡航・査証申請、保険の加入等)・その他注意事項

- 航空券の手配、査証申請の手続き等は、本学指定の旅行会社が代行します。出発日・帰国日等の日程を個人の都合に合わせて変更することはできません。また、研修中のけがや病気、盗難に備え、本学指定の海外旅行保険への加入が義務付けられています。
- 募集要項を必ず確認してください。最新の募集要項は、国際課HPに掲載し、国際課・教務センター等にも配置予定です。また、参加者は事前授業への出席と、出発前に行われる危機管理オリエンテーションへの出席が必須です。

研修先

以下は、2023年度の実施予定内容です。(内容は変更になる可能性があります。)
2024年度のプログラム詳細は、12月頃に発表します。

科目名	研修先	国名	単位数	研修期間	費用	滞在方法	募集人数	最少催行人数
セメスタープログラム・英語Ⅰ、Ⅱ	ウィニペグ大学	カナダ	8	2023年9月 2日～12月19日	約170万円	ホームステイ	約 30 名	10 名
	ディーキン大学	オーストラリア	8	2023年8月12日～12月11日	約180万円	ホームステイ	約 30 名	10 名
	ハワイ大学マノア校	アメリカ	8	2023年8月19日～12月19日	約208万円	ホームステイ	約 30 名	7 名

※セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ、ⅡはP24のEUキャンパスプログラムのドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラムをご確認ください。 費用：学費・住居費・食費の一部・往復航空券等を含む

※TOEFL®はエデュケーション・テストング・サービス(ETS)の登録商標です。

研修先紹介



ウィニペグ大学



カナダ

都市：ウィニペグ

特徴：1871年創立のウィニペグ大学は、将来のキャリア開発を念頭にリベラルアーツ教育を掲げ、少人数のクラスサイズで手厚い指導が特徴の大学。また学部教育にも定評がある中規模大学で、留学生に対する英語教育プログラムは30年以上の歴史があり、世界中から意識の高い留学生が集まる。ウィニペグという街は、比較的日本人が少ないながらも、他都市以上に住む人々がフレンドリーで話しやすい環境であるため、落ち着いた環境で集中して英語力を伸ばしたい方にお勧めのプログラム。



ディーキン大学



オーストラリア

都市：メルボルン

特徴：ディーキン大学はヨーロッパ文化をもつ美しい街並みと近代的な建造物とが見事に融合し、非常に住みやすいビクトリア州メルボルンにキャンパスを構えている。大学では現地の学生だけでなく、世界各国の留学生が学んでいるため、さまざまな国籍の人と交流できる機会も多い。また授業のレベルは初級から上級まで細かく分かれ、学生それぞれの目的に応じた英語力が身に付くよう工夫されており、カリキュラムに沿った課外授業を多く取り入れているのも魅力の一つである。



ハワイ大学 マノア校



アメリカ

都市：ホノルル

特徴：太平洋に浮かぶハワイ諸島の中心地であるオアフ島は、美しい自然に恵まれ、気候は温暖で一年中過ごしやすく、ハワイ大学マノア校は、オアフ島南部のホノルル市に所在し、生活にとても便利。ハワイ大学進学を目指す留学生を対象とするプログラムを他国からの学生に混ざり英語を集中的に学び、授業の他にも特別講義、フィールド・トリップ、ボランティアなどの課外活動があり、英語力を伸ばす環境が揃っている。

EUキャンパスプログラム



https://international.doshisha.ac.jp/study_abroad_program/eucampusprogram/eucampusprogram.html

プログラムの特徴

- 春学期または秋学期(約5ヶ月間)実施
- 団体での留学
- EUキャンパスで学ぶ
- 現地に同志社大学のスタッフが滞在
- **語学要件あり**
- **GPA要件あり(秋学期プログラムのみ)**

こんな人におすすめ!

- 集中してドイツ語を伸ばしたい方(春学期)
- 英語でEUについて学びたい方(秋学期)
- テュービンゲン大学の授業を受講したい方
- テュービンゲン大学の学生と交流したい方
- 長期留学に興味がある方

[春学期]

ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム

ドイツ語とEUを学ぶ

プログラム概要

- ドイツのテュービンゲン大学にある本学の海外キャンパスであるEUキャンパスで春学期(約5ヶ月間)に実施するプログラムです。ドイツ語の研修プログラムである「セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ、Ⅱ」に加えて、テュービンゲン大学日本語学科の学生との共修科目である「Intercultural Studies」、ドイツ、ヨーロッパの先進的な取り組みや諸課題を題材とした「EUキャンパス特別講義」でプログラムを構成しています。
- 渡航前の秋学期に研修先の言語・文化・社会への理解、留学の準備のための事前授業を行います。
- 研修先のプレシメントテスト結果等をもとに、能力に適したレベルのコースにクラス分けされ、研修を受講します。研修先での学習と生活を通して語学力を向上させるとともに、豊かな国際感覚を養います。
- **同志社大学へ学費の納入が必要です。**
- **テュービンゲン大学の学費は免除されます。**

出願要件・科目登録・単位・成績評価

- **出願時に語学能力証明書は必要としません。ただし、1年次対象科目、2年次対象科目のいずれかを履修済み(登録中可)のレベルを目安とします。**
(1年次対象科目はドイツ語入門Ⅰ、Ⅱ、ドイツ語インテンシヴⅠ、Ⅱ。2年次対象科目はドイツ語応用Ⅰ、Ⅱ、3、4、ドイツ語インテンシヴⅢ、Ⅳ)
なお、初修外国語としてドイツ語を選択していないドイツ語既習者の場合も、選考試験の結果次第で登録が認められることがあります。
また、テュービンゲン大学到着後、ドイツ語の集中講義で、CEFR A2レベル以上に達する必要があります。
- 「全学共通教養教育科目」として設置している「セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ、Ⅱ(計8単位)」、「Intercultural Studies(2単位)」、「EUキャンパス特別講義(計4単位)」の4科目で構成されます。単位の取扱いについては、所属学部窓口にご確認ください。
- 春学期の履修登録科目は、上記科目のみとなり、他の科目の履修登録はできません。詳細は、所属学部窓口または今出川/京田辺キャンパス教務センター(外国語教育科目窓口)にご確認ください。
- 成績は、事前授業、現地研修の評価等を総合して評価されます。

プログラム内容 以下は、2023年度の実施予定内容です。(内容は変更になる可能性があります。)

科目名	単位数	研修期間	費用	滞在方法	募集人数	最小催行人数
セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ、Ⅱ	8	2023年2月28日～8月5日	約85万円	寮	約15名	10名
Intercultural Studies	2					
EUキャンパス特別講義	4					

費用：住居費・往復航空券等を含む

履修の制限

- グローバル・コミュニケーション学部日本語コース生は、母語がドイツ語の場合は出願不可。
- 国際教育インスティテュート国際教養コース生は、母語がドイツ語の場合は出願不可。

科目登録以外に必要な手続き(渡航・査証申請、保険の加入等)・その他注意事項

- 航空券の手配は、本学指定の旅行会社が代行します。出発日・帰国日等の日程を個人の都合に合わせて変更することはできません。また、留学中のけがや病気、盗難に備えて、本学指定の海外旅行保険およびドイツの医療保険への加入が義務付けられています。ドイツの医療保険への加入、大学寮への申請手続きは、大学の指示に従い学生自身で行います。
- 募集要項を必ず確認してください。最新の募集要項は、国際課HPに掲載するほか、国際課・教務センター等にも配架予定です。
- 参加者は事前授業への出席と出発前に行われる危機管理オリエンテーション等、国際課が指定する説明会への参加が求められます。

[秋学期]

ヨーロッパ・スタディーズEUキャンパスプログラム

英語でEUを学ぶ

プログラム概要

- EUキャンパスで秋学期(約5ヶ月間)に実施するプログラムです。テュービンゲン大学が提供するInternational and European Studies(IES)科目(すべて英語)と本学が提供する科目(英語または日本語)で構成しており、プログラムを通してドイツ、ヨーロッパへの理解を深めることを目的としています。
- **同志社大学へ学費の納入が必要です。**
- **テュービンゲン大学の学費は免除されます。**

出願要件・科目登録・単位・成績評価

- **英語のCEFR B1～B2レベルを目安とします。**
- テュービンゲン大学が提供するIES科目は単位認定科目、本学が提供する科目は履修登録科目となります。
- テュービンゲン大学が提供するIES科目は6科目すべて履修する必要があり、最大12単位が認定されます。本学が提供する科目は1科目以上の登録を必須とし、最大6～7科目(12～14単位)まで登録することができます。科目登録・単位の取扱い等の詳細は、所属学部窓口にご確認ください。
- 出願の最低要件として、少なくともGPA2.0以上が必要です。

プログラム内容 以下は、2023年度の実施予定内容です(内容は変更になる可能性があります)。

科目名	単位数	研修期間	費用	滞在方法	募集人数	最小催行人数
テュービンゲン大学提供IES科目	12	2023年9月1日～2024年1月下旬	約45万円 ※往復航空券を含まない	寮	約15名	10名
同志社大学提供科目	2～14					

科目登録以外に必要な手続き(渡航・査証申請、保険の加入等)・その他注意事項

- テュービンゲン大学への入学手続き・科目登録、ドイツの医療保険への加入、大学寮への申請手続きは、大学の指示に従い学生自身で行います。
- 航空券の手配、本学指定の海外旅行保険は、大学からの案内後、各自の責任で行う必要があります(留学中のけがや病気、盗難に備えて、本学指定の海外旅行保険およびドイツの医療保険への加入が義務付けられています)。
- 募集要項を必ず確認してください。最新の募集要項は、国際課HPに掲載するほか、出願受付前の募集説明会にて配布予定です。また、参加者は留学前準備講座、出発前危機管理オリエンテーション等、国際課が指定する説明会への参加が求められます。

研修先紹介



テュービンゲン大学



都市：テュービンゲン

特徴：本学は2017年度にドイツのテュービンゲン大学にEUキャンパスを開設し、2019年度から初の教養プログラムとしてEUキャンパスプログラムをスタートした。テュービンゲン大学は1477年に設立され、同志社創立者の新島襄もこの大学の水準の高さを認識していた。町の各所に大学の施設が点在し、大学と町が共存した学問の地として世界的に知られている。

その他プログラム紹介

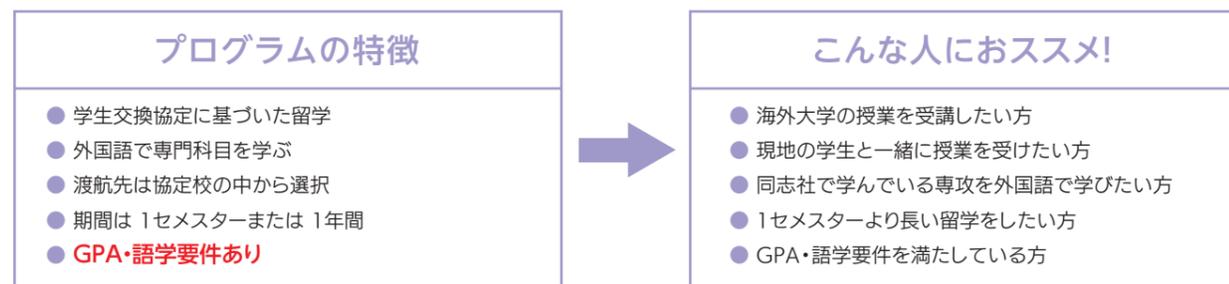
- その他、テュービンゲン大学を研修先とする科目として、**海外フィールドワーク科目**を設置しています。詳細は以下URLを参照してください。
<https://www.doshisha.ac.jp/international/organization/fieldwork.html>



派遣留学(大学間協定)プログラム



https://international.doshisha.ac.jp/study_abroad_program/exchange_program/exchange_program.html



プログラム概要

- 本学は、37ヶ国(地域)176大学(2023年3月現在)と学生交換協定を締結しています。本プログラムは、外国協定大学派遣留学生制度のもと、これらの協定校に1セメスター/1年間留学するプログラムです。留学先大学では、原則として現地の学生と同様に学部レベル(大学院生は大学院レベル)の専門分野を勉強するため、出願時点で一定レベルの語学力が求められます。
- 派遣留学生は留学期間中も本学に在学し、留学期間は卒業に必要な修業年限に算入されます。また、留学中に修得した単位の認定を申請することもでき、留学先大学の学費は免除されます(【学費負担型】・ブリッジプログラムを除く)。

実施期間	1セメスターまたは1年間	
募集日程/対象大学	P.8~P.9(対象大学)、P.12~P.13(スケジュール)参照 選考スケジュールの詳細は、国際課HPに掲載の募集要項をご確認ください。	
	A日程	留学期間が翌年2~3月開始する大学(オセアニア・南米・韓国等)
	B日程	留学期間が翌年8~11月に開始する大学(北米・南米・ヨーロッパ・アジア等)
協定校	協定校 info参照 “Go Global”ポータル() 派遣留学プログラム)協定校info	
募集大学/出願要件	プログラムリスト参照 “Go Global”ポータル()派遣留学プログラム)プログラムリスト	
費用	[1年間の場合] 約150~350万円(住居費・生活費・往復渡航費等、学費以外の費用) <ul style="list-style-type: none"> ● 同志社大学への学費の納入が必要です。 ● 留学先大学の学費は免除されます(【学費負担型】・ブリッジプログラムを除く)。 	

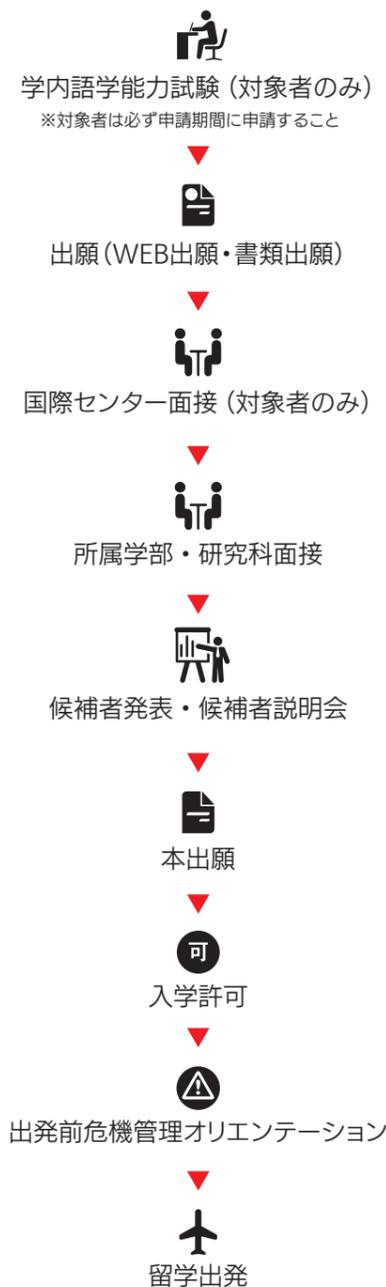
出願要件・履修計画

- **留学先大学ごとに、GPA(同志社大学での累積の学業成績)、語学能力をはじめ、出願の条件が定められています。** 出願の最低条件として、少なくともGPA2.0以上、英語での出願の場合、TOEFL ITP®500点以上、TOEFL iBT®60以上、IELTS™5.5以上のいずれか、英語以外の言語で出願する場合、CEFR A2以上が必要です。
- 留学先大学によっては、学年・取得済単位数等の条件が設けられている場合もあります。詳細は、プログラムリストを参照してください。出願資格・要件は、学内出願の時点で満たしていることが必要です。プログラムリストの公開は募集時期の約2週間前となるため過去の情報を参考に準備をすすめてください。なお、出願前に必ず最新のプログラムリストを確認してください。
- 候補者に選出されても、出願資格・要件が満たされなくなった場合、留学先大学より入学許可が得られなくなる可能性があります。
- 下記を総合的に評価の上、最終的に学長が派遣留学候補者を決定します。
 - **累積GPA(学業成績)**
 - **語学能力**
 - **所属学部・研究科による面接**
- 留学中の目標、志望理由、留学前・留学後の履修計画、進路(就職活動)等は、出願前に十分ご検討ください。派遣留学生が履修可能な科目、履修の制限等の情報は、協定校infoをご参照ください。

*TOEFL®はエデュケーション・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。

GPA	語学	面接
[学部生] 2.00 / 4.00	[英語] TOEFL ITP® 500 または TOEFL iBT® 60	60 / 100
[大学院生] 2.50 / 4.50	IELTS™ 5.5 [英語以外] CEFR A2	

派遣留学スケジュール



出願を考えている方へ

- 派遣留学募集説明会で配布される「同志社大学外国協定大学派遣留学生制度募集要項」を必ずご確認ください。
- 募集開始前に行われる募集説明会に参加し、情報収集に励んでください。
- 候補者に選出された場合、「候補者説明会」や「出発前危機管理オリエンテーション」等、本学が指定する説明会やオリエンテーション等へ必ず参加してください(欠席は不可)。
- 候補者に選出されても、学業不振等により留学先大学から入学許可が得られない場合、留学できません。

その他注意事項

出願について

- 派遣留学出願にあたっては、**WEB出願と書類出願の両方が出願期間内**に必要です。
- 学内語学能力試験/国際センター面接は対象者のみ受験が必要です。**英語以外の言語での出願の場合、出願前に学内語学能力試験の受験が必要な語学があります。** 詳細は同志社大学外国協定大学派遣留学生制度募集要項をご確認ください。
- 所属学部・研究科面接は出願者全員が対象です(所属学部・研究科から対象者に面接案内がきます)。
- 候補者発表は“Go Global”ポータルフォリオにて通知します。
- **学内出願後に留学期間の延長・短縮・キャンセルはできません。**

本出願について

- 学内選考の結果発表の段階では、あくまで「派遣留学候補者」です。候補者発表後、留学先大学への正式な出願(「本出願」)を経て、留学先大学より「入学許可」を得ることで、派遣留学生として認められます。

出発までの必要手続き(渡航・査証申請、保険の加入等)

- 航空券の手配、ビザの取得、海外旅行保険への加入、寮の申請等、入学許可後の手続きは、学生自身で自己責任のもと進める必要があります。
- 留学中のけがや病気、盗難に備え、本学指定の海外旅行保険への加入が義務付けられています。**【最低限カバーすべき補償内容】治療・救済費用：無制限、個人賠償責任：1億円**

派遣留学生の義務・責任

- 本プログラム(制度)で留学する派遣留学生は、本学の代表として留学するため、さまざまな恩恵が得られる一方、義務や責任も生じます。海外旅行保険への加入をはじめ、定期的に安全を確認する安否確認メールへの応答、後輩への貴重な情報提供となる報告書の作成、帰国後の語学スコア(学外の語学能力試験のスコア)の提出は必須です。また、各種留学説明会への協力等、本学の派遣留学・国際交流の活性化への積極的な協力が求められます。

帰国前・帰国後の科目登録・単位認定

- 派遣留学はプログラムへの参加だけでは単位になりません。留学先大学で修得した単位は、所属学部・研究科へ単位認定を申請する必要があり、留学中の修得単位がすべて認定されるとは限りません。帰国後の単位認定を見据えて、留学前に留学先大学のカリキュラムを調べ、履修予定科目を決定の上、所属学部・研究科窓口にご相談することが推奨されます。

継続履修

- 本学では、一部の科目で春学期・秋学期の通年科目や、学期をまたぐ集中科目が設置されています。8月~10月に新学期が始まる大学に留学する場合、継続履修制度の適用を受けることで、留学前に春学期分を履修し、帰国後に秋学期分を履修することが認められる場合があります。継続履修の取扱いについては、所属学部・研究科窓口にご確認ください。

留学体験記

“Go Global” ポートフォリオ 短期留学プログラム 留学体験記・アンケート p.16 参照

※下記の体験記は2019年度参加学生によるものです。

スプリングプログラム・英語B

オークランド大学

ニュージーランド



1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

アメリカ英語にしかなじみがなかったこともあって、ホストファミリーのニュージーランド英語が最初はほとんど聞き取れませんでした。初日にホストマザーが親切に案内などをしてくれたのですが、本当に言葉が分からず、申し訳なくて本当に困りました。しかし私が何度聞き返すことがあっても容赦せずハイスピードで話し続けてくれました。そのおかげで3日目くらいに急に聞こえるようになりました。自分でもびっくりしました(笑)。



2. 一番自分が成長したと思う点 (語学力・精神面等)

もちろん語学力は上がりましたが、自分の立場や意見を押し通す強さが身についたと思います。文化が違うのは当然なので、その文化の中で礼儀正しくしなければいけないけれど、空気を読んでいてもしょうがないことに気づきました。そして自分の意思を決めてそれを言葉で伝えるようになったことがよかったです。

3. 今後卒業後 (就職/大学院進学等) どのように今回留学した経験を活かしたいか

留学中に、何もわからないところで周りを理解してさらにアイデンティティをもって自分らしく動くことができました。空気を読むのは誰にでもできるかもしれませんが、自分の意思をひとつまとめて伝えられるようになったことは、いろんな場面で活かせると思います。また新しい環境に飛び込む度胸もついたと思います。

4. その他 (本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等)

絶対に楽しいです!最初はつらくて研修先のクラスメイトに相談することもありましたが、周りの留学生も皆同じ立場で的確なアドバイスをもらったこともあり、つらいだけで終わらなかったことが成長につながりました。また、観光にもたくさん行きました。最高の思い出です。



留学体験記

“Go Global” ポートフォリオ 短期留学プログラム 留学体験記・アンケート p.16 参照

※下記の体験記は2019年度参加学生によるものです。

サマープログラム・英語C

カリフォルニア大学 サンディエゴ校

アメリカ



1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

やはり、コミュニケーションです。自分は今回が初海外で、これほど長時間、多言語を話す人々と生活を共にした経験がなかったため、最初は会話が盛り上がりづらく自分の意志や気持ちを伝えることも困難でした。そこで、完璧を求め過ぎず、感謝の気持ちや相手の話へのリアクションといった会話の基本となる部分を大切に、そういった会話をするためのフレーズをどんどん吸収していきました。そうすることで、現地の方とも少しずつ信頼関係を築いていくことができるようになりました。



2. 一番自分が成長したと思う点 (語学力・精神面等)

度胸とコミュニケーション力です。サンディエゴはアメリカの中でも様々な国々から人々が集まっている地域であり、休日にはロサンゼルスに行ってアメリカの都会を味わうこともできます。その中で、英語を完璧に話すことができないからこそ話しかける勇気や、表情や身振り手振りを最大限活用したコミュニケーション等が必要になります。そういったことが習慣になったことで、誰と話すときも物怖じせず、感情表現豊かなコミュニケーションをより取るできるようになりました。

3. 今後卒業後 (就職/大学院進学等) どのように今回留学した経験を活かしたいか

元々、このプログラムに参加させて頂いた理由が、進路を決める前に海外経験をしておきたかったからです。実際、このプログラムを通して海外での生活を体験したり、現地で働く日本人の方のお話を聴くことができた、日本企業を見学できたりと進路を考える上で大きな糧となるような経験が沢山できました。留学を終えた今、将来は海外赴任をして働いてみたいと考えています。

4. その他 (本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等)

このプログラムは語学習得だけでなく、異文化理解に繋がる環境も整っており、進路選択を考える上で糧となるような経験をすることもできます。この短期留学で語学だけでなく様々な体験をして一皮むけたいなと考えている方にはおすすめです。

サマープログラム・コリア語

延世大学

韓国



1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

はじめは現地の人々が何を言っているのかがはっきり聞き取れなかったり、文化の違いから、3週間やっていけるのか不安になったこともありましたが、分からないことは現地の友人に聞いたり、日本人の友達と情報交換をしたりすることでその不安も日に日に薄れていきました。この経験から、一人で抱え込むのではなく、周りの人と支えあうことも大切だということを知りました。特に文化の違いを感じた経験などの共有はとても有意義なものでした。



2. 一番自分が成長したと思う点 (語学力・精神面等)

語学面で成長したと感じたのは、買い物をしたりご飯を食べに行ったときです。旅行で訪れた時のような片言の韓国語ではなく、ちゃんとした韓国語で注文できたり、店員さんが何を言っているかが分かった時に成長したな、と感じました。これは今回の留学で約3週間滞在したからこそではないかと思っています。日常的に店でのコミュニケーションを経験することで、どういった言葉が使われ、どう返すべきなのかを教科書からではなく実践で学んだな、と実感できました。

3. 今後卒業後 (就職/大学院進学等) どのように今回留学した経験を活かしたいか

今回の留学を通して、卒業後も何らかの形で韓国に関わっていきたいという思いが強くなりました。そのために常に色々な可能性を探し求め、多方面にアンテナを張っていきたくて考えています。また、留学経験は自分の1つの魅力になりますが、留学した事実だけでなく、そこで学んだ異文化理解や協力の大切さも自分の魅力としてこれからも磨き続けていきたいです。

4. その他 (本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等)

サマープログラムは約3週間という他のプログラムと比べて比較的短い留学期間です。しかし、その国の文化への関心を深めたり、自分の言語能力を確かめ、さらに高めるには決して短い期間ではないな、と感じました。現地の言葉に自信のない方も、ちょっと挑戦してみよう、という気持ちがあれば是非参加することをお勧めします!

スプリングプログラム・スペイン語

サラマンカ大学

スペイン



1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

知らない単語が多く、相手の話を理解したり、自分の言いたいことを伝えることができなかったため、ホストファミリーとコミュニケーションを取ることに最も苦労した。しかし、知らない単語がある度にホストファミリーに尋ねることで、徐々に会話内容を理解することができた。またホストファミリーは、私が間違えた文法や単語を使うと、それを修正してくれた。そのため、スペイン語の表現法を習得できたと感じた。



2. 一番自分が成長したと思う点 (語学力・精神面等)

留学前は、スペインについて少ししか勉強していなかったため、スペインの歴史や文化についての知識が浅かったが、この留学中、ホストファミリーと会話したり、学校の授業を受けたりすることで、そのことに関してより深く興味を持つことができ、さらに知識も身に付いたと感じている。また、他国の生徒と共に授業を受けることで、積極的に発言することの重要性に気が付かれたため、実際に授業で積極的に発言することを実践した。



3. 今後卒業後 (就職/大学院進学等) どのように今回留学した経験を活かしたいか

この留学を通して、スペインの歴史や文化を体験しながら学ぶことができ、より興味を持つことができた。そのため、卒業後もスペイン語や文化について学び続け、サラマンカ以外の都市も訪れたいと考えている。また、積極的に発言することの大切さをこの留学中に実感したため、就職したときに、積極的な発言ができるようになりたい。



4. その他 (本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等)

このプログラムは約2週間という短期間ではあるが、様々な経験を通して、スペインの歴史や文化を学ぶことができ、スペインの魅力を感じることができた。スペイン語での生活ということに対して、不安を持っている人がいるかもしれないが、現地で生活をしていく中で、分からないことは聞いたり積極的に発言したりすることで身に着くので心配はない。また、この留学を通して様々なことを経験し、新たな発見をすることができるため、この留学に参加するか迷っている人は、是非参加してほしい。

留学体験記

“Go Global”ポर्टフォリオ（派遣留学プログラム）協定校info p.16参照
※下記の体験記は2022年度参加学生によるものです。

ドイツ語・異文化理解
EUキャンパスプログラム

テュービンゲン大学

ドイツ



1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

留学中に一番苦労したのは様々な国の人と寮で共生することです。私の寮の方々は片付けを本当にしない人たちが、キッチンが荒れていることがほとんどでした。そこで私は張り紙をしたり、ワッツアップで連絡したりして、彼らに使用後は片付けをするように促しました。幸いにも彼らは柔軟で理解力のある方々ばかりだったので、大方は改善され、行き届いていない部分は私が折折とめて片付けることでキッチンの清潔さは保たれるようになりました。この問題を解決する時に私が気を付けていたことは「完璧」を求めすぎないということです。私が彼らの生活文化に疑問を抱くように、相手もまた自分の生活文化に疑問を持っているであろうことを念頭において、互いに譲歩しつつ、気づいた部分は補うという形をとったことで、良好な関係のまま快適に暮らすことができたのだと思います。



2. 今回の留学で自分が成長したと思う点（語学力・精神面等）

まず語学面で成長したのは対話力です。現地にいると授業だけではなく、日常的にドイツ語をアウトプットする機会が多く、自然とドイツ語が出来るようになりました。またその際、日本にいた時のように文法を気にして話すのではなく、ジェスチャーや表情、声のトーンを変えるなど、どう相手に伝えるかを意識していました。精神面においては、自分の考えをはっきり言えるようになりました。他の留学生との合同のドイツ語授業において、最初は自分のドイツ語能力に自信がなくて黙っていましたが、他の生徒たちが拙いドイツ語でも伝えようとしていることや、先生が生徒の考えを否定せずに受け入れる姿勢を見せてくれたことで、最終的には積極的に自分の考えを述べることができました。



3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか（就職／大学院進学等）

今回の留学において私は、自分の意志と向き合う機会が多くありました。例えば、旅行先を決めるときやドイツの方から意見を求められたときです。今までは場の流れに任せているだけでしたが、自分が「何を」「どうして」したいのか改めて考え直すことによって、その選択の結果生まれた体験や討論がより有意義なものになりました。今後の就職活動においても、ただぼんやりと進めるのではなく、自分の意志と正面から向き合っ、考え抜いた上で自分の進む道を決めていこうと思います。

4. プログラムに参加した感想（本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等）

ドイツで5か月過ごす中には様々な文化的差異を感じる瞬間があり、それらは必ずしもポジティブなものとは限りませんでした。ですが、この日々の中で得た多国籍の友人や多様な価値観、強靱なメンタルに比べたらそれらの問題は非常に些細なことです。日本という一つの島国の規範や文化で作られていた自分の世界はこの留学で何倍にも広がりました。自分の知らない世界に足を踏み入れたこの経験は、自分を人間的に成長させただけでなく、今後も未知の世界を恐れず足を踏み入れる原動力にもなっています。5か月という決して長くはない期間ですが、自分の人生の中で一番意味のある時間だったと断言できます。もし今このプログラムに参加しようか迷っているならば、絶対に参加することを勧めます。行かずに後悔することはあっても、行って後悔することはありません。

1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

僕が留学中に苦労したことは、やはりドイツ語の授業です。このプログラムでは、はじめの1ヶ月間同志社大学生だけのドイツ語講義が開かれ、その後はイタリアやトルコなど、世界中の留学生と一緒にドイツ語を学びます。僕は留学した当初、ドイツ語の基礎すらままならない正直悲惨な状況でした。そのため、はじめの頃はドイツ語で進む授業のほとんどを理解できず、周りのみんなと比べた時の劣等感から落ち込むことが何度もありました。この大変だったことを乗り越えた方法は2つあり、1つ目は、毎日の予習・復習とドイツ語で日記を書く習慣を身につけたことです。そして2つ目が運動でのストレス発散です。寮の近くにはプールがあったので、落ち込んだ日は、たくさん泳いだり、趣味であるサイクリングをしたりすることでリラックスしていました。辛いこともありましたが、頑張る時は頑張る、遊ぶ時はとことん遊ぶことで乗り越えることができました。



2. 今回の留学で自分が成長したと思う点（語学力・精神面等）

この留学を通して、積極的に話す力が身についたと感じています。僕はこれまで、初対面の人に話しかけたり授業中に自分の意見を述べたりすることが苦手で、実際にドイツに到着してしばらくの間は、自分のドイツ語能力に対する自信の無さから発言することを避けてしまっていました。しかしこれではドイツ語を話す機会を逃してしまうだけと感じ、拙いドイツ語でも自分の気持ちを伝えることを心がけました。すると周りの人も僕の気持ちを理解しようとしてくれました。その時は、自分のドイツ語が通じた時の嬉しさや何事もまずは行動に起こすことの大切さを改めて学びました。そして近郊の街までサイクリングをしたり、自分で電車の時間や観光名所を調べて一人旅ができるほど精神的にも強くなり、積極的に行動できるようになりました。語学力だけでなく、人間的にも大きく成長を感じることができたドイツでの半年間でした。



3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか（就職／大学院進学等）

僕は、この留学を通してドイツの経済に興味を持ちました。そして、将来的には、ドイツに支社を持つ企業で、日本とドイツをつなぐ存在になりたいと考えています。ドイツは、自動車産業を中心に世界トップクラスの経済大国であると言えます。約半年間の中で、日本にない商品をたくさん発見することができ、ドイツで生活する人々の「生」を肌で体感することができました。そして現地に行くまで気づけなかった日本社会の改善点も、この留学を通して見つけることができました。これらの経験を存分に活かし、今後の自分に繋げていきたいと考えています。



4. プログラムに参加した感想（本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等）

僕にとって、これが初めての海外で、初めての一人暮らし生活になるので、本当にこれから先やっつけられるのか不安な気持ちでいっぱいでした。しかし留学することが僕にとっての憧れであり、何事も挑戦としないといけないと感じ、思い切ってこのプログラムに参加しました。ドイツには、日本では見ることのできない景色や食べ物、習慣がたくさんあり、どれも僕にとって強い刺激になりました。また、自分の書道の作品をドイツ人に渡した時にとても喜んでくれたことや、一緒に日本の曲を歌うことで、日本文化の良さも再認識しました。このプログラムを通して、ドイツの豊かな自然や文化に触れ、辛いことも一緒に乗り越えようという仲間が増えてくれる仲間に出会い、素晴らしい時間を過ごすことができました。この約半年間は、僕にとって大きな財産であり、かけがえのない思い出です。今ではこのプログラムに参加して本当に良かったと感じています。

留学体験記

“Go Global”ポर्टフォリオ（短期留学プログラム）留学体験記・アンケート p.16参照
※下記の体験記は2022年度参加学生によるものですが、ディーキン大学は中止となったため2019年度参加学生によるものです。

セメスタープログラム・英語Ⅰ・Ⅱ

ウィニペグ大学

カナダ



1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

留学中に苦労した点は、何と言っても言語の壁です。留学当初はレストランで何か注文する際も聞き取れず、英語を話す自信がありませんでした。また授業では、英語で自分の意見を言ったり、プレゼンをする場面が多かったことで英語を話すことに慣れていくのに必死でした。そのため、家でホストファミリーと意見交換をしたり、プレゼンのリハーサルを手伝ってもらったり、自信を持って英語を話せるよう練習をしました。そのおかげで、失敗してもいいから、とにかく話そうと思えるようになりました。



2. 今回の留学で自分が成長したと思う点（語学力・精神面等）

留学中に身についたのは、行動力です。留学前は何か分からないことがあっても、誰かが何とかしてくれると待ちの姿勢でいることが多かったですが、しかし留学中は、分からないことをそのままにしても、誰も教えてくれないため、助けが必要なときは素直に助けを求めようという考えに変わりました。そのため意識的に、自ら問題解決をする力が身についたと思います。

3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか（就職／大学院進学等）

カナダは多文化社会で留学中も様々な国籍の人と関わる機会が多かったです。その際、感じたのは皆それぞれ自分の文化や国を誇りに思っているという点です。もちろん日本のことを聞かれることも多く、改めて日本の良さや文化について考えることができました。そのため将来は日本と海外を結んだり、日本の文化を発信できるような仕事に就きたいと考えようになりました。

4. プログラムに参加した感想（本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等）

留学に行く前は、正直新しい環境で上手くやっつけられるかとても不安でした。しかし、いざ行ってみるとホストファミリーや友人、学校の先生など多くの人に支えられ、自分自身の成長を感じられ、このプログラムに参加して本当に良かったと思っています。また期間も三か月のため、初めて留学に行く人や留学に興味がある人はぜひ参加してみてください。

セメスタープログラム・英語Ⅰ・Ⅱ

ディーキン大学

オーストラリア



1. 一番苦労した点・それを乗り越えた方法

オーストラリア訛りの英語や現地のスラングに慣れていなかったせいか、滞在当初は現地の方が何を言っているのかさっぱり分かりませんでした。そのため、オーストラリア人のPodcastやYouTubeを繰り返し視聴し、彼らの英語を真似していくにつれて、彼らの言っていることが徐々に理解できるようになっていきました。



2. 一番自分が成長したと思う点（語学力・精神面等）

帰国間近の頃には、到着当時の自分よりはコミュニケーションやその他スキルも格段に上がったと感じましたし、現地の友人にもそう言ってもらえました。西洋の文化に触れていた、そして英語を学んでいたおかげか、自分の意見に曖昧さがなくなりました。今までならお茶を濁す返答ばかりでしたが、はっきりと自分の意思を伝えられるようになりました。

3. 今後卒業後（就職／大学院進学等）どのように今回留学した経験を活かしたいか

これから本格的な就職活動が待っているのですが、今回の経験が私のキャリアプランに大きな影響を及ぼしました。やはり、英語を使って人種や宗教の異なる方々とコミュニケーションを取ることが大好きなので、そのようなことができるお仕事に就きたいと考えています。また、家族・友人など人のつながりやプライベートの時間をオーストラリアの方々は日本人よりも重要視していることに感銘を受けたので、この学んだことを自分の周りのコミュニティーに還元していければと考えています。

4. その他（本プログラムへの参加を検討している・参加を迷っている方に向けたアドバイス等）

本プログラムは比較的短すぎず、長すぎず、ちょうど良い長さの語学研修と感じました。派遣留学やワーキングホリデーなどで長期留学を考えているけれど長すぎてやっつけられない方や長期休暇に行くサマープログラム等ではイマイチ物足りないと感じている方にはお勧めです。

セメスタープログラム・英語Ⅰ・Ⅱ

ハワイ大学 マノア校

アメリカ



1. 留学中に苦労した点・それを乗り越えた方法

私が今回の留学中に苦労した点は、英語でのコミュニケーションです。私は留学準備としてグローバル・リベラルアーツ科目などを履修し英語学習を進めていたのですが、実際に現地でもコミュニケーションを取ろうとするとなかなかうまく行きませんでした。私の場合は特にリスニング力が十分ではなかったため、現地の人々やホストファミリーと話すのにも苦労していました。私がこうした困難を乗り越えた方法は、うまく聞き取れなくても積極的にネイティブと話し、わからない時は必ず聞き返すようにすることです。こうして諦めずにコミュニケーションを続けたおかげで、約1か月が経過したころにはネイティブと問題なくコミュニケーションをとることができるようになりました。



2. 今回の留学で自分が成長したと思う点（語学力・精神面等）

今回の留学で私が成長した点は二つあります。一つ目は語学力です。私は主にHELPプログラムが主宰する現地企業でのインターンを通して従業員やお客様など、多くのネイティブと会話する機会を得ることができましたので、特にスピーキングとリスニングにおいて大きく成長することができたと感じています。二つ目は精神面についてです。留学当初は私の英語がうまく伝わらず、またネイティブの英語も理解することができず落ち込みましたが、自信をもってとにかくコミュニケーションをとることで問題なく英語を扱える様になりました。この経験から留学前は受動的だった私も、自分に自身を持ち積極的に行動を起こせるようになりました。

3. 今後、今回の留学で得た経験をどのように活かしたいか（就職／大学院進学等）

私は今回の留学で得た英語力や現地企業でのインターンの経験などを就職活動に活かしたいと考えています。具体的には、語学力についてはこれからTOEICテストを受験し数字として英語力を示し、現地企業でのインターンの経験については実際にビジネスレベルで英語を扱うことができる事の証明として、英語力を武器に就職活動を進めていこうと考えています。

4. プログラムに参加した感想（本プログラムへの参加を検討している方に向けたアドバイス等）

HELPプログラムには多くの日本人が参加しているため、初めて留学をする方や英語を学びたいが英語力に自信のない方におすすめのプログラムです。私も今回が初めての留学でしたが、周りに日本人の学生がいるので、どうしても困ったときや相談したい時には友人に助けをもらいました。また300レベル以上の学生は現地企業でのインターンシップに参加することができるので、300レベル以上のクラスの方にはぜひ参加していただきたいと思います。課題や授業が増えて大変ですが、間違いなく自分のためになりますので、おすすめです。

留学体験記

“Go Global” ポートフォリオ 派遣留学プログラム 協定校info p.16 参照

派遣留学プログラム・英語 カリフォルニア大学アーバイン校 アメリカ 

留学体験記

私にとって今回の留学は、初の海外留学、一人暮らし、寮生活と、初めてのことばかりでした。そして、コロナ禍の留学で先のことが不透明であったこともあり、留学前は期待以上に不安が大きかったのを覚えています。

しかし、いざ現地に行ってみると本当に楽しくて、あっという間に10ヶ月が過ぎてしまいました。授業での学びやサークルへの参加、旅行などを通じて、たくさんのがけがえのない経験を得ることができました。留学の終盤には、現地で長期インターンシップにも参加しました。このように留学先では、チャレンジ精神を大切にいろいろなことに取り組んでいました。

もちろん、大変なこともたくさんありました。最初は、トラブルやうまくいかないことが続いて「ここでやっていけるだろうか」と常に不安でしたし、英語でうまく自分の思いを伝えることができなくて、焦ったり悔しい思いをしたりしたことも数え切れないほどありました。

ですがそのたびに、助けてくれる周りの人々の優しさに触れ、絆を深めることができました。拙い英語でも、頑張っただけで伝えようとしていると、相手も理解しようと耳を傾けてくれて、だんだん自信を持って行動することができるようになりました。聞き取れない授業の内容やたくさんの課題も、他の生徒や教授の力を借りて、乗り越えることができました。生活で困ったときには、寮の仲間や友だちが教えてくれました。学校の手続きがうまくできず、困って何度もオフィスに行きましたが、そのおかげで、普段からおしゃべりしに行くほどに、オフィスの方と仲良くなることもできました。留学生活を通じて得た一番の宝物は、多くの人々との出会いだと思っています。初めは不安だった留学も、終わってから振り返ると本当に楽しい毎日で、留学生活が終わってしまったことがとても寂しいです。しかし、留学後も、留学を通じて学んだことや多くの人との絆は、私の中に残っています。留学を通して得た経験は、私の将来を広げ、明るいものにしてくれました。みなさんにも、ぜひ勇気を出して、留学に挑戦してほしいと思っています。

Q&A

1. 留学の準備はいつから始めましたか？

もともとは、2年生の秋学期から派遣留学に行く予定をしていたので、入学当初から1年生秋の選考に向けて、留学に向けた情報収集や、GPAの向上、英語スコアの取得に取り組んでいました。その後、コロナ禍で留学予定だった大学が留学生の受け入れを当面中止することが決まってからは、2年生秋の選考に向けて、再び準備を始めました。留学に向けて、GPAの維持と英語の勉強を続けていたこともあり、その時の準備として主に行ったのは、志望理由の再考と面接準備でした。コロナ禍が続き、留学の可否が決まったのが6月末だったので、決定後直ちに留学に向けて本格的な準備を始めました。渡航まで約2ヶ月で、ビザや予防接種、住居探しなどを終わらせる必要があり、本当に大変でした。皆さんは、留学が決まったらすぐに準備を始めることをおすすめします。

2. 留学先での住居はどうされていましたか？

1で説明した通り、留学準備が遅れてしまったこともあり、渡航前日まで住居が見つかりませんでした。住居は自力で探すことになるので、留学先から届くメールなどの情報をよく確認することが大切です。私は、オンキャンパスの寮であるArroyo VistaのInternational Houseに住んでいました。オンキャンパスと言っても、授業を受けるキャンパス中心部からは徒歩30分ほどの距離にあり、大学が提供している無料のシャトル・バスで通学していました。一棟に32人が住み、部屋は二人部屋、キッチンやバス、トイレは共用でした。留学生向けの寮で、現地の生徒だけでなく、世界中から来た留学生が住んでいました。トラブルも絶えませんでした。多様な文化の中で暮らす経験は、賑やかに楽しく、心に残る特別なものとなりました。

3. 留学先ではどのような授業を履修していましたか？

アートや教育学、国際関係学など、多様な分野から興味のある授業を履修していました。特に心に残っているのは、授業の一環として参加した学内インターンシップでの経験です。Center for Storytellingという学校機関に所属し、ストーリーテリングに関する講演や情報収集のお手伝いをしたり、学内のアート・コンペティションに出品された作品のデジタル・アートギャラリーを作成したりしました。教授や他のインターン生と連携を取りながら活動していくことは大変でしたが、やりがいがあり、自己成長にもつながりました。せっかくの留学ですから、気になる授業に積極的に取り組んでほしいと思います。

4. 留学中に就職活動はされていましたか？

3年生から4年生にかけての留学でしたが、私自身は留学中には、就職活動や進学に向けた準備は特に行っていませんでした。理由は、現地での学業や課外活動に専念したかったからです。私の周りにも、現地でしかできない経験を優先し、同様の選択をした学生は少なからずいます。その場合は、夏期以降の選考に参加することもできますし、4年間で卒業することにこだわらなければ、1年間休学すると、余裕を持って就職活動に臨むことができます。一方で、現地で就職活動を進め、留学中に内定をもらっている学生もいました。コロナ禍でオンラインでの就職活動へのシフトが進んだこともあり、ポストン・キャリアフォーラムなどを活用することで、留学中に就職先を決めることも可能だと思います。

5. 留学に関する費用はどれくらいかかりますか？

渡航費：片道7万円、寮費：月10万円、食費・生活費：月5万円
総計：200～250万円



留学体験記

“Go Global” ポートフォリオ 派遣留学プログラム 協定校info p.16 参照

派遣留学プログラム・英語 サンシャイン・コースト大学 オーストラリア 

留学体験記

私は元々アメリカに派遣留学に行く予定でしたが、コロナの影響により一度中止となりました。しかし、留学に行きたいという気持ちが強く、卒業を1年延ばし、再度派遣プログラムに応募して、約1年間オーストラリアに留学をしました。コロナ禍の留学ということで、留学前は必要書類や確認事項が通常より多く、また、先のことが不透明で、本当に留学に行けるのか、現地に着いた後もうまくやっていけるのか、就職活動はどうするのかなど、不安が大きかったです。

しかし、現地での生活はとて濃く楽しく、多種多様な人と出会い、様々な経験ができたので、諦めずにチャレンジしてよかったと強く感じています。もちろん、留学当初も留学半ばでも言語や文化の違い・壁にぶつかり、思うようにコミュニケーションが取れず、少し落ち込んだり、悩むときも多々ありました。授業でも（私は教育学を中心に履修していたのですが）、課題の量や発言・質問の量も多く、そういったスタイルの違いに慣れ、ついていくのに必死でした。しかし、家族や現地の友人や教授、スタッフなど、たくさんの人からサポートを受け、なんとか乗り越えることができましたし、異国の地で、自分からアクションを起こし、トライ＆エラーを繰り返し、得られた経験は、自分の中でかけがえのないものになっています。

(先述したように、) 留学前の不安や、留学中の言語や文化の違い・困難は数多くありましたが、それ以上に、留学で得た多様な人々との繋がりが新しい価値観・考え方はとても貴重なものであると感じています。ですので、言語や価値観の違いなど、多くの不安があるかと思いますが、留学前も留学中も周りの方がサポートしてくれると思いますし（私自身もそうでしたし）、留学をしたという経験は今後絶対プラスになると思うので、ぜひチャレンジしてみてください。

Q&A

1. 留学の準備はいつから始めましたか？

1年次後半から取り掛かりました。元々、同志社での履修がある程度落ち着く3年次に留学をしたいと考えていたので、少し遅めに準備を始めました。アメリカへの派遣留学はTOEFL ITPのスコアを利用して応募しようと考えていたので、1年次後半から少しずつ勉強をしていました。オーストラリアへの留学はIELTSのスコアを利用して、勉強は受験する半年前から開始したのですが、スコア提出が遅くなってしまったので、もっと早めに勉強、及び受験をしておけばよかったと当時思いました。現地の情報は留学先の希望を出す前にある程度調べ、行先が決まってから本格的にもう一度調べました。

2. 留学先での住居はどうされていましたか？

Uni Centralという学生寮に住んでいました。留学先大学が運営するオンキャンパスの寮がなかったため、Uni CentralのHPから申し込みをし、留学開始から終了までそこに住んでいました。周りの現地学生・留学生をみても学生寮に住んでいる割合が高かったという印象ですが、シェアハウスやホームステイを行っている生徒もいたと思います。私は現地の住居を手配するのが遅く、遅よくキャンセルが出て入居できたという形だったので、何事も早め早めに準備を進めておいた方がいいと思います。



3. 留学先ではどのような授業を履修していましたか？

比較的自由に履修していたかなと思います。同志社で教職課程を取っていたので、現地では教育学を中心に履修していましたが、社会学や観光学など、専攻関係なく、自分が興味のある授業も履修していました。また、外国で日本語や日本の文化がどのように教えられているのか、それに対して生徒たちはどのようなリアクションをしているのかに興味があったので、現地大学のstudent centerや担当教授と連絡を取り、現地の日本語クラスに参加していました。

4. 留学中に就職活動はされていましたか？

していました。留学をしたのが4年次後半からだったので、留学前に少ししていたのと、帰国する1ヶ月ほど前からESの準備やオンラインで企業説明会に参加したりしていました。また、ポストンキャリアフォーラムほどの規模ではないですが、シドニーでもキャリアフォーラムがあるそうなので、自分は事前準備が甘く、参加できませんでしたが、参加してみるのいいと思います。



5. 留学に関する費用はどれくらいかかりますか？

往復航空券：20万円 寮費：月8万円 食費：月3万円 雑費：月1～2万円 保険・visa：20万円程度



奨学金



<https://international.doshisha.ac.jp/scholarship/overview.html>

各奨学金には、出願資格や併給についての条件があります。奨学金の概要や要項を必ず確認してください。

サマープログラム／スプリングプログラム参加者対象の奨学金

同志社大学サマープログラム及びスプリングプログラム履修者に対する奨学金

対象者	支給金額	支給期間	備考	問合せ先
プログラム参加者全員	5万円 (返還不要)	帰国後に一括給付	—	国際課

セメスタープログラム／EUキャンパスプログラム参加者対象の奨学金

同志社大学セメスタープログラム履修者に対する奨学金／ 同志社大学EUキャンパスプログラム履修者に対する奨学金

対象者	支給金額	支給期間	備考	問合せ先
プログラム参加者全員	20万円 (返還不要)	帰国後に一括給付	—	国際課

派遣留学生対象の奨学金

同志社大学外国協定大学派遣留学生に対する奨学金

対象者	支給金額	支給期間	備考	問合せ先
プログラム参加者全員	20万円 (留学期間3ヶ月以上6ヶ月未満) または 40万円 (留学期間6ヶ月以上) (返還不要)	出発する年の年度末に一括給付	支給金額を超える他の海外留学に対する奨学金との併給不可	国際課



同志社校友会グローバル人材育成奨学金

対象者	支給金額	支給期間	備考	問合せ先
2名 AKP加盟校およびKCJS加盟校への派遣留学生(学部生、大学院生)ただし、上記対象者がいない場合、対象者を拡大する可能性あり	100万円 (返還不要) (8ヶ月以上1年未満)	留学前に一括給付	学内選考あり 他の海外留学に対する奨学金との併給不可	国際課

協定校からの補助・奨学金

留学先大学によっては、独自で奨学金が支給される場合があります。出願方法は、本学を通して出願する場合や、希望者自身が直接出願する場合等、留学先大学により異なります。

問合せ先

大学間協定による派遣留学の場合 国際課 参照先：“Go Global”ポートフォリオ（派遣留学プログラム）協定校info

学部・研究科間協定による派遣留学の場合 所属学部・研究科

認定留学生対象の奨学金

同志社大学認定留学に対する奨学金

対象者	支給金額	支給期間	備考	問合せ先
学部・研究科教授会 または研究科委員会において認定留学が認められた者	15万円 (留学期間3ヶ月以上6ヶ月未満) または 30万円 (留学期間6ヶ月以上) (返還不要)	出発時に一括給付	—	国際課

※英文学科セメスタープログラムにより留学する場合は20万円を支給する。

海外活動を伴う学部科目参加者対象の奨学金

同志社大学海外活動を伴う正課科目履修者に対する奨学金

対象者	支給金額	支給期間	備考	問合せ先
当該科目登録者全員	① 海外活動を行なうことが授業科目である場合 (学部専門型留学)： 5万円 ～(日数別) ② 授業科目の一貫として海外活動が行なわれる場合： 一時金 3万円 (返還不要)	帰国後に一括給付	当該科目において合格評価を得た者に給付	国際課

その他学外団体からの奨学金

第二種奨学金（短期留学）－独立行政法人日本学生支援機構（以下「JASSO」）

対象者	支給金額	支給期間	備考	問合せ先
学生交流に関する協定等に基づき、留学により取得した単位が単位として認定される3ヶ月以上の短期留学をする者	大学生 月額 2～12万円 の貸付(有利子) 大学院生 月額 5～15万円 の貸付(有利子)	本学が認める派遣留学／研修期間(セメスタープログラムを含む)で、3ヶ月以上1年以内ただし、ダブルディグリー・プログラムの場合は、2年以内	希望者はさらに一時金として10～50万円の貸付が申請可能	学生生活課 今出川校地 寒梅館1階 京田辺校地 成心館1階

海外留学支援制度（協定派遣）奨学金－JASSO

対象者	支給金額	支給期間	備考	問合せ先
0～若干名 (年度により人数が異なる)	月額 6～10万円(返還不要) (留学先の国・地域により異なる)	参加する留学プログラムの実施期間により異なる	学内選考あり JASSO貸与第一種、第二種奨学金との併給可	国際課

※本制度はJASSOより採択された場合のみ支給対象となります。採択された場合は大学から対象者に連絡します。

海外留学支援制度（大学院学位取得型）－JASSO

対象者	支給金額	支給期間	備考	問合せ先
学位取得目的で海外の大学院で学ぶ者 ダブルディグリー・プログラムも可	月額 8万9千円～14万8千円 (年度・留学先地域により異なる) (返還不要)	博士前期(修士)は2年まで 博士後期は3年まで	授業料(保険料等の各種経費は除く)の支援あり	JASSO

※本学では大学とりまとめ応募は行っていません。個人応募のみとなります。

その他学外団体からの奨学金【希望者自身で出願する自由応募型奨学金】

地方自治体／民間団体の奨学金

都道府県や市町村が、その地域の出身学生の海外留学を支援する奨学金を設けている場合があります。また、民間の団体・財団等が留学を支援する奨学金を設けている場合があります。

外国政府等の奨学金

外国政府、外国政府関係団体が、その国・地域の大学等へ留学する学生を支援する奨学金を設けている場合があります。それぞれに応募条件が定められています。また、留学先大学を本国側で指定される場合があります。

海外で募集される奨学金

留学先大学が独自に奨学金(授業料減免等も含む)を募集する場合や、現地の研究所や民間の団体が募集する場合があります。

学外奨学金参考URL

同志社大学国際課奨学金情報

<https://international.doshisha.ac.jp/scholarship/other.html>
希望者自身で出願する自由応募型奨学金について、同志社大学国際課に届いた奨学金情報を掲載

JASSO 海外留学奨学金パンフレット

<https://ryugaku.jasso.go.jp/publication/pamphlet/>

JASSO 海外留学奨学金検索サイト

https://ryugaku-shogakukin.jasso.go.jp/scholarship_abroad/page?action=swfjgsearchjasso

公益財団法人助成財団センター

<https://www.jfc.or.jp/>
日本の助成財団による、海外留学に限定されない助成制度を掲載

金融機関による教育ローン

留学資金を自己資金や奨学金で賄うことが難しい場合、金融機関の教育ローンを利用する方法もあります。

日本政策金融公庫の「国の教育ローン」

外国の高等学校・高等専門学校・短期大学・大学・大学院等の教育施設に6ヶ月以上留学する場合に 融資の対象となります。

その他の金融機関の「教育ローン」

留学の場合にも利用できるものもあります。詳しくは、最寄りの金融機関にお問い合わせください。

奨学生の声

派遣留学プログラム

サラマンカ大学 スペイン

私は、2022年9月からスペインのサラマンカ大学に留学しています。スペイン語を更にレベルアップさせるために、頂いた奨学金で大学の授業とは別に、有料のスペイン語の語学コースを受講しました。これにより、スペイン語能力は格段と伸び、授業の内容がこれまでよりも理解でき、今は自分の考えを授業内で先生やクラスメイトに発表することも出来るようになりました。また、コーラスグループに所属しており、練習後に友達とカフェやレストランで色々な話をしながらコーヒーを飲み、食事をするのが今の私には最も大切な時間です。奨学金を頂いたことで、より充実した留学生活を送ることが出来ております。



奨学生の声

派遣留学プログラム

ケンブリッジ大学 セントキャサリンズコレッジ イギリス

この度、同志社校友会グローバル人材育成奨学生としてご支援を頂きながら、英国のUniversity of Cambridge, St. Catharine's CollegeのEnglish Tripos(英文学科)に1年間留学しています。私が渡英した頃は円安が加速し、一時は£1が171円を超えていました。また、英国では物価上昇及び、光熱費の高騰も深刻化しています。そのような状況下でも、生活費の心配をせず勉学に集中することができ、また、余暇には大学の晩餐会に参加したり、近隣諸国へ小旅行をすることが出来たりしたのも、奨学金のご支援のお陰です。同志社大学の代表であることを自覚し、世界トップレベルの学友たちから刺激を受けながら、これからも日々の勉学に励んで参ります。



語学力向上・国際関係科目・留学生との交流

グローバル人材になるための基礎固め- グローバル人材関連科目

本学では、グローバル社会で活躍するために必要な能力を身に付けた人材を育成することを目的に、全学共通教養教育科目の国際教養科目群を中心に多様な科目を設置しています。外国語によるコミュニケーション能力や国際社会における諸課題を理解し分析・解決する能力の向上、日本と世界の歴史や文化・宗教への理解や、日本の伝統や現代文化に対する知識の修得が可能です。

科目例	クリエイティブ・ジャパン科目
<ul style="list-style-type: none"> ・ 建学の精神とキリスト教、旧約聖書とキリスト教、新約聖書とキリスト教 ・ 国際教養基礎論1・2、ジョイント・セミナー比較文化論 ・ 日本近現代史、世界近現代史、世界の宗教 ・ 比較言語文化論1・2、地域言語文化論1・2、メタ言語文化論1・2 ・ Freshman "Go Global" Program -51 (ベトナム) ・ Freshman "Go Global" Program -52 (ドイツ他) ・ クリエイティブ・ジャパン科目 	<p>2018年度より全学共通教養教育科目に、「クリエイティブ・ジャパン科目」を新設しました。本科目は京都科目、クールジャパン科目、クリエイティブ・ジャパン科目のほか、外国人留学生とともに日本の伝統、文化について学ぶ科目で構成され、文化、芸術による日本社会のクリエイティブの向上と、文化による日本のブランディングについて考察します。また、日本の文化を世界に発信する力の強化なども扱います。</p>

本学では、創立以来一貫して国際主義を教育理念の一つの柱としており、高度な語学教育を提供しています。また、課外講座としてTOEFL®テスト対策講座等も実施しています。シラバス、外国語学習ガイドブック、登録要領等をもとに、必要科目を検討の上、科目登録をしてください。

語学力強化(正課科目)

外国語教育科目

英語

2022年度から英語は新カリキュラムがスタートしました。1年次では英語学習の基盤づくりを目的とし、2年次では分野(文系・理系)を横断して共通に求められる英語力と各領域(人文・社会・理工)で求められる英語力への基盤づくりを目的とした基幹科目を習熟度別に合わせて履修します。意欲ある学生、レベルアップを目指す学生に向けた上級科目(職業として英語を使用することを想定した科目、大学院進学など学術的な分野で英語を使用することを想定した科目)、留学に必要なTOEFL®テストやIELTS™対策を主として行う留学準備科目を設置しています。

科目例	※以下は2022年度以降生向けの最新カリキュラムの科目例となります。		
基幹科目 <ul style="list-style-type: none"> ・ Intensive Advanced English 1・2 ・ Core English (LS) - Intermediate 1・2 ・ Core English (RW) - Intermediate 1・2 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Core English (LS) - Pre-Intermediate 1・2 ・ Core English (RW) - Pre-Intermediate 1・2 ・ Basic English (LS) 1・2 ・ Basic English (RW) 1・2 	<ul style="list-style-type: none"> ・ General Academic English (LS) - Intermediate ・ General Academic English (RW) - Intermediate ・ General Academic English (LS) - Pre-Intermediate ・ General Academic English (RW) - Pre-Intermediate 	
上級科目 <ul style="list-style-type: none"> ・ English for Professional Purposes 1・2 	<ul style="list-style-type: none"> ・ English for Academic Purposes 1・2・3 		
留学準備科目 <ul style="list-style-type: none"> ・ Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1・2 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Study Abroad Preparation (IELTS) 1・2 		

Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1・2. Study Abroad Preparation (IELTS) 1・2
TOEFL®テストやIELTS™といった留学に必要なテストのスコアアップとともに、留学先での学習シミュレーションを通して、4技能の英語力の向上を目指した科目となっています。こちらの科目は2021年度以前生も履修可能です。

初修外国語

初修外国語として、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語の6つの言語について科目を設置しています。各外国語とも1年次で文法、発音の基礎を学び、2年次で読解力、表現力を向上させます。3・4年次生向けの上級科目や会話科目等、多彩な科目を設置しています。

科目例
・ 入門1・II ・ 応用1・2・3・4 ・ インテンシヴ 等

■ 語学カウンセリング

グローバル・コミュニケーション学部とグローバル地域文化学部所属教員に、英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語・コリア語での留学や学習方法等の相談ができる制度を設けています。

今出川/京田辺キャンパス教務センター(外国語教育科目窓口)にて要予約。

語学能力試験対策講座(正課外科目)

TOEFL ITP® テスト対策講座 https://international.doshisha.ac.jp/toefl_ielts_toeic/toefl_koza.html



本学では、課外講座として「TOEFL ITP®テスト対策講座」を実施しています。

以下は、2023年度の予定です。講座内容、募集期間、実施期間、費用等が変更になる可能性がありますので、詳細は、必ず国際課HPを確認してください。

開講時期	8月下旬～9月上旬
定員	1クラス20名程度 ※オンラインで実施 ・各コースは原則1クラス ・申込者多数の場合は、先着順(最小催行人数に申し込み人数が満たない場合は開講しない)
受講料	国際課HPを確認
申込期間	7月下旬～8月中旬
申込方法	WEB 申込(申込URLは募集開始時に公開)
問合せ先	国際課

IELTS™対策講座 https://international.doshisha.ac.jp/toefl_ielts_toeic/ielts_koza.html



IELTS™(International English Language Testing System -アイエルツ)は留学や海外移住に必要な英語力を評価する試験として世界中で認められており、イギリスやアメリカ等、140カ国、約11,000以上の教育機関、国際機関、政府機関で採用されています。本学では、課外講座として「IELTS™対策講座」を実施しています。

以下は、2023年度の予定です。講座内容、募集期間、実施期間、費用等が変更になる可能性がありますので、詳細は、必ず国際課HPを確認してください。

開講時期	春期休暇	2月下旬～3月下旬
	夏期休暇	8月下旬～9月上旬
定員	1クラス20名程度 ※オンラインで実施 ・各コースは原則1クラス ・申込者多数の場合は、先着順(最小催行人数に申し込み人数が満たない場合は開講しない)	
受講料	春期休暇	国際課HPを確認
	夏期休暇	
申込期間	春期休暇	2月上旬～2月下旬
	夏期休暇	7月中旬～8月中旬
申込方法	WEB申込(申込URLは募集開始時に公開)	
問合せ先	国際課	

TOEIC®L&R テスト対策講座 https://international.doshisha.ac.jp/toefl_ielts_toeic/toeic_l_rip_koza.html



本学では、Standard(550点)コース、Advanced(730点)コースの2コースの対策講座を実施しています。

以下は、2023年度の予定です。講座内容、募集期間、実施期間、費用等が変更になる可能性がありますので、詳細は、必ず国際課HPを確認してください。

開講時期	春学期前期/後期	5月下旬～6月中旬/6月下旬～7月中旬
	夏期休暇	9月中旬～9月下旬
	秋学期前期/後期	10月下旬～11月中旬/11月下旬～12月中旬
	春期休暇	3月上旬～3月中旬
定員	1クラス20名程度 ※オンラインで実施 ・各コースは原則1クラス ・申込者多数の場合は、先着順(最小催行人数に申し込み人数が満たない場合は開講しない)	
受講料	国際課HPを確認	
申込期間	春学期前期/後期	4月中旬～5月中旬/5月中旬～6月中旬
	夏期休暇	6月中旬～9月上旬
	秋学期前期/後期	9月上旬～10月上旬、10月上旬～11月中旬
	春期休暇	11月中旬～2月下旬
申込方法	WEB申込(申込URLは募集開始時に公開)	
問合せ先	国際課	

※TOEFL®およびTOEIC®はエデュケーション・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。

※L&Rは「LISTENING AND READING」の短縮形です。

留学出願／帰国後の実力確認に役立つ語学試験

主な語学能力試験

英語	TOEFL ITP®	国際課主催で年7回実施 テスト日時、申込方法等の詳細は、国際課HPをご確認ください。
	TOEFL iBT®	ETS (Educational Testing Service) のHPから各自お申し込みください。
	IELTS™	JSAFが主催するIELTS™のテストは、本学で受験することができます。 ～ IELTS for UKVI ～ イギリスに長期留学する場合に、学生ビザを取得する語学証明として必要となる場合があります。 詳しくは、英国大使館HPをご確認ください。
	TOEIC®L&R IP	国際課主催で年8回実施 テスト日時、申込方法等の詳細は、国際課HPをご確認ください。
	TOEIC®L&R	国際ビジネスコミュニケーション協会のHPから各自お申し込みください。

ドイツ語	ゲーテ・ドイツ語検定試験	スペイン語	DELE
	ドイツ語技能検定試験		スペイン語技能検定
フランス語	DELF	ロシア語	ロシア語検定試験 (ТРКИ)
	TCF		ロシア語能力検定試験
	実用フランス語技能検定試験	コリア語	「ハングル」能力検定試験
漢語水平考試 (HSK)	韓国語能力試験 (TOPIK)		
中国語	漢語水平考試 (HSK)		
	中国語検定試験		

TOEFL iBT®/IELTS™テスト/TOEFL ITP®とTOEIC®L&R テストの違い

	TOEFL iBT® / IELTS™ / TOEFL ITP®	TOEIC® L&R
目的	主に英語圏の大学等に入学する上で、学業を修める英語能力があるかを判断するための1つの指標。	主に企業等が社員の英語能力を確認する上での1つの指標。
問題構成	「聴く・話す・読む・書く」の4技能をすべて測定する問題構成。 (TOEFL ITP®は「聴く・読む」の2技能の問題構成)	「聴く・読む」の2技能に重点をおいた問題構成。
試験内容	主に英語圏の大学生活に即した問題が多い。	主に日常生活やビジネスの場に即した問題が多い。
難易度	学修に必要な英語力を確認することが目的であるため、受験者にある程度の英語力が備わっていることを前提としており、難易度の高い問題が出題される。	非常に簡単な問題から難しい問題までさまざまな難易度の問題が出題される。

外国語能力に関する個人情報の取り扱いについて

英語のクラス分け試験のスコアや国際課主催で実施するTOEFL ITP®テスト、TOEIC®L&R IPのスコア、単位認定で大学に提出したスコア等、大学で把握しているスコアは、大学全体でのスコア分析等に、個人が特定されない形で活用させていただく場合があります。

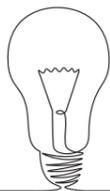
語学試験における本学のサポート

留学プログラムへの申請を前提とした外部試験の受験料半額補助

https://international.doshisha.ac.jp/toefl_ielts_toEIC/subsidy.html

本学在学中に、留学プログラムへの申請を前提に本学が指定する外部試験を受験したのに対し、受験料の半額補助を行ないます。

申請要領、補助対象テスト、2023年度受付日程については、国際課HPを確認してください。



※TOEFL®およびTOEIC®はエデュケーション・テスト・サービス (ETS) の登録商標です。
※[L&R]は[LISTENING AND READING]の短縮形です。

外国語による科目履修

本学では、下記のとおり外国語で行なわれる科目を設置しています。幅広い分野の学びと、さらなる語学力向上につながる科目です。また、これらの科目の中には、外国人留学生とともに学ぶ科目もあり、日本にいながらグローバルな環境で学ぶことができます。

グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目

グローバル教育センターが提供する幅広い学問分野の科目と日本の伝統・文化に関する科目を「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」として開講しています。講義はすべて英語で行なわれます。「グローバル・リベラルアーツ副専攻」は2016年度以降に入学するすべての学部生を対象にしています。2015年度以前の入学年度生については副専攻の制度はありませんが、個々の科目を履修することは可能です。(詳細は、「全学共通教養教育科目履修要項」を参照)

グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目の特徴

- ・グローバル社会で活躍するために必須の国際教養を身に付ける
- ・実践的な英語運用の力を磨く
- ・海外留学のための準備、帰国後のフォローアップとしても効果的
- ・少人数クラス (1クラス20人程度) 中心
- ・外国人留学生とともに学ぶクラス
- ・グループワークやディスカッション中心の対話型授業
- ・副専攻の履修を目標にしていなくても、1科目のみでも履修可能

科目例

海外フィールドワーク	Mid-college "Be Strong" Program (アメリカ・ワシントンD.C.) 国際教養の修得あるいは実践的な場で英語運用能力を積極的に活かしたい方を対象としたプログラムです。 グローバルリーダーが集まるワシントンD.C.で、実際にあらゆる境界を越えて働く人々に出会い、真のグローバルリーダーシップとは何かを探ります。
入門・導入	Introduction to Japanese Culture in the Global Context
応用・発展	Humanities and Global Issues
	Social Sciences and Global Issues
各論・展開	Japan in Modern World History
	Issues in Japanese Culture
	Democracy and Politics: A Comparative Perspective
	Economy and Business in the Global Context
	Statistics for the Social Sciences and Humanities
	Introduction to Computer Science and Information Technology
	Advanced Seminar 1・2・3
SAP (Study Abroad Program)	AKP科目
	KCJS科目
	スタンフォード大学科目
	デューピングン大学科目

※新型コロナウイルス感染拡大の影響で外国人留学生が日本に入国できない場合は、外国人留学生との共修環境を提供できない可能性があります。

■ 同志社英語集中プログラム

「グローバル・リベラルアーツ副専攻英語開講科目」を受講し、海外留学を実現できるよう、Speaking、Listening、Reading、Writingのスキル向上と英語によるアカデミックスキルの修得を目指すプログラムです。副専攻の英語開講科目を履修する上で、英語力に自信がない場合は、このプログラムを受講することをお勧めします。詳細は、「全学共通教養教育科目履修要項」を参照してください。

■ 外国語オナーズ(外国語科目成績優秀者表彰制度)

高度な外国語運用能力と国際的な視野と見識を備えた人材の育成を目標に、外国語について優秀な成績を修めた学生を表彰する制度です。(学期始めに募集周知)

ILA (国際教育 インスティテュート) 科目

国際教育インスティテュート (ILA) は、志高館を拠点にリベラルアーツ教育を英語で行なう組織です。英語での科目履修のみで学位を取得し卒業できる「国際教養コース」の学生が履修しています。国際教養コースには、留学生のほか、日本人でも帰国子女等英語力が高い学生が所属しています。

ILAの科目はすべて英語で行なわれ、「Humanities and the Human Sciences」、「Business and Economics」、「Politics and Policy Studies」の3つの分野のコースが提供されています。学部によっては、ILAの一部の科目を「国際専修コース」生として履修できる場合があります。履修可否・履修方法・履修可能科目等の条件は、学部ごとに異なります。詳細は、所属学部・研究科にお問合せください。

留学先での生活

生活全般

住居

基本的に留学先での住居は主に下記3つのパターンがあり、参加するプログラム、留学する国、留学先大学によって滞在先は異なります。

寮に関する手続きを
事前に確認して
おきましょう。

①大学寮

大学の敷地内にある学生寮に滞在する形態です。ルームメイトがいる共同部屋の寮もあれば、個室がいくつかあり、共同で利用するリビングやキッチン、バスルーム等に隣接しているアパートタイプの寮もあります。ほとんどの場合、ベッド、勉強机、クローゼット等は備え付けられていますが、シーツや毛布等は自分で用意します。生活用品は学生同士で譲り合ったり、近隣のディスカウントストア等でそろえることが多いです。

②ホームステイ

留学先大学やその提携機関が斡旋する、現地の一般家庭に滞在する形態です。家具付きの1人部屋が与えられ、家族の一員として留学期間を過ごします。ホストファミリーの家族構成は、両親と子供、老夫婦、シングルペアレントと子供、未入籍のカップル等さまざまです。人種や宗教等も家族ごとに異なります。身をもって留学先の生活様式や文化を学ぶことができます。また、複数の学生を受け入れているホストファミリーやペットがいるホストファミリーもあります。

③アパート

留学先大学等が斡旋する現地のアパートに滞在する形態です。留学先大学に学生寮がない等の場合の選択肢となります。また、留学開始時は学生寮に住んで、現地に慣れてきたら寮を出てアパートに移るという選択肢もあります。ベッドやテーブル等の備え付け家具付きの物件を選んだり、いくつか部屋があるアパートを何人かで借りてルームシェアをすることで安く生活する方法もあります。食事は自炊の場合が多いですが、大学の食堂等で取ることも可能です。**契約書にサインする前に、トラブル防止のため、必ず物件や契約内容の確認を入念に行いましょう。**

食事

食事は、大きく分けて下記3つのパターンがあります。

① Meal-Plan

多くの場合、大学には食堂やカフェテリアがあり、そのMeal-Planを利用します。通常、1週間あたりの食事の回数が決まっており、週15回、19回、21回等、自分のライフスタイルに合わせて選ぶことが多いです。食事はピュッフェ形式等さまざまです。寮生活の場合、食費は寮費と一緒に納める場合もあります。

②ホームステイでの食事

一般的に平日は朝・夕食付き、週末や休日は朝・昼・夕食付きの家庭が多いです。平日の昼食は、自身でお弁当を準備して持参したり、留学先大学のカフェテリアや大学近くのレストラン等で食べることになります。その他、平日・休日を問わず1日3食の用意がある場合もあります。

③自炊

キッチンがついている寮であれば自炊もできます。また、ホストファミリーに許可を得て、ホームステイ先のキッチンを利用して自炊ができる場合もあります。



大学生活

学業

慣れない海外での生活をしながら勉強に集中することは大変なことです。また、言葉の壁がある中で勉強することは想像以上に労力を必要とし、思うようにいかないこともたくさん経験するかもしれません。しかし、最後まで必死に努力すれば、留学後には飛躍的に成長したことを実感できるはずです。



課外活動

留学先大学によっては、クラブ活動、ボランティア活動、インターンシップ等に参加することができる場合があります。また、International Center等が主催している留学生のための交流プログラムがある研修先もあります。また、Language Partner制度やInternational Festival等、研修先によってさまざまなプログラムやアクティビティ等が用意されています。

授業が始まる前に多くの
人たちと交流し仲良くなる
機会となるでしょう。

オリエンテーション

多くの研修先で、留学先大学到着後の講義開始前に、留学生を対象とした学内施設の紹介、各種支援サービス、科目登録方法等に関する重要な説明会があります。留学生生活を始めるにあたり有益な情報を得ることができますので、必ず参加するようにしましょう。プログラムによっては参加が必須の場合もあります。

SAP (Study Abroad Program) 科目

下記の海外トップレベルの大学やコンソーシアム(複数の大学で構成される団体)が同志社大学今出川キャンパス内に日本オフィスを設置しています。そして、日本や東アジアに興味や研究対象を持つ留学生や教員が毎年多数来日し、同志社大学のオフィスや教室を拠点として日本に関する勉強・研究をしています。通常、これらの大学やコンソーシアムは同志社大学とは別の組織として独自に授業や研究を行っていますが、一部の授業は同志社大学生も受講することができます。科目ごとの概要や登録・履修上の注意点は下記のウェブサイトをご確認ください。

AKP (Associated Kyoto Program) 科目



https://international.doshisha.ac.jp/akp_kcjs_stanford_tub/akp.html

AKPはアメリカを代表する13のリベラルアーツカレッジ(アーモスト大学、ペイツ大学、バックネル大学、カールトン大学、コルビー大学、コネチカット大学、マウントホリヨーク大学、オベリン大学、ポモナ大学、スミス大学、ウェズリアン大学、ウィットマン大学、ウィリアムズ大学)により構成され、アメリカの大学における日本留学プログラムとしては最も長い歴史を持っています。1972年に本学にAKP同志社留学生センターを設置し、プログラムを開始して以来、日本文化と社会に深く根ざした留学体験の場を提供し続けています。この科目はAKP同志社留学生センターで開講される日本研究などの科目をAKP学生とともに学びます。講義はすべて英語で行われ、AKP学生と同様の課題が課せられます。

KCJS (Kyoto Consortium for Japanese Studies) 科目



https://international.doshisha.ac.jp/akp_kcjs_stanford_tub/kcjs.html

KCJSは1989年に京都市内に設立された機関で、一年または一学期間の海外留学プログラムを提供しています。このプログラムにはアメリカの13の大学(ボストン大学、ブラウン大学、シカゴ大学、コロンビア大学(バーナードカレッジを含む)、コーネル大学、エモリー大学、ハーバード大学、ペンシルバニア大学、プリンストン大学、スタンフォード大学、ワシントン大学セントルイス、イエール大学、バージニア大学)が参加しており、京都の歴史的・文化的な資産を生かして、高度な教育環境を提供し、日本研究を志す米国の大学生と知的で文化的な交流を広く進めています。この科目はKCJSが本学で実施している日本留学プログラムの講義をKCJS学生とともに受講します。講義はすべて英語で行われ、KCJS学生と同様の課題が課せられます。

スタンフォード大学科目



https://international.doshisha.ac.jp/akp_kcjs_stanford_tub/stanford.html

スタンフォード日本センターは、日米間の相互理解を深める上で必要となる知識・資質を身につけたアメリカの若い世代の育成を目的として、スタンフォード大学の日本留学プログラムを運営しており、毎年50名のスタンフォード大学の学生がプログラムに参加しています。この科目は、スタンフォード日本センターが本学で実施している、スタンフォード大学の学生が履修する日本留学プログラムの講義をスタンフォード大学の学生とともに受講します。講義はすべて英語で行われ、スタンフォード大学の学生と同様の課題が課せられます。

チュービンゲン大学科目



https://international.doshisha.ac.jp/akp_kcjs_stanford_tub/tub.html

チュービンゲン大学同志社日本研究センター(以下、TCJS)は、ドイツのチュービンゲン大学が研究の日本拠点として本学に設置したセンターであり、毎年チュービンゲン大学から留学生を受け入れ、日本語や日本文化・社会を学ぶための講義を行っています。この科目は、TCJSが本学で実施しているチュービンゲン大学の学生が履修する日本留学プログラムの講義をチュービンゲン大学の学生とともに受講します。講義はすべてドイツ語で行われ、チュービンゲン大学の学生と同様の課題が課せられます。(この科目の受講は、ドイツ留学を控えている、またはドイツ留学から帰国した人が望ましい。)

外国人留学生との交流

本学では、国際交流促進のため、さまざまな機会を提供しています。また、外国人留学生をサポートする制度を設けています。国際交流活動に積極的に参加することで、外国人留学生の本学での生活が充実したものになることはもちろん、日本在住の皆さんにとっても、日本にいながらにして国際交流・異文化理解を深化させ、さまざまな経験や知識を得る絶好の機会となります。詳しくは、本学HPや留学生課掲示板、SIED Instagram等をご覧ください。

国際交流ラウンジ

国際交流ラウンジは、国籍を越えた交流を目的に設けており、外国人留学生も頻りに利用しています。開室時間中は自由に利用でき、また、国際交流イベントも多数開催していますので積極的にご活用ください。詳しくは、留学生課へご確認ください。



- 今出川校地 扶桑館2階 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)
- 京田辺校地 嗣業館1階 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

国際交流イベント

国内学生と外国人留学生が交流するさまざまな機会を提供しています。留学生課学生スタッフSIED(Student Staff for Intercultural Events at Doshisha -シード)は、新人外国人留学生歓迎行事や多種多様な国際交流イベントを企画・実施しています。詳しくは、留学生課HPやSIED Instagram、国際交流ラウンジ掲示板等をご確認ください。



外国人留学生サポートボランティア

本学では、外国人留学生との交流のきっかけとなる各種ボランティアを年間を通じて募集しています。詳しくは、各事務室へお問い合わせください。

各種ボランティア	問合せ先
日本語授業ボランティア	国際教養教育院事務室
寮案内ボランティア	留学生課
新入外国人留学生サポートサービス・ボランティア	
短期プログラム交流ボランティア	

外国人留学生ピアサポート制度

本学の学生が、外国人留学生の修学・生活上の相談に応じたり、日本語学習の会話パートナーとして異文化交流を深めたりする「外国人留学生ピアサポート制度」を設けています。詳しくは、留学生課へご確認ください。



危機管理

皆さんが住んでいる日本は、世界で最も安全な国のひとつです。一般的に、海外では日本よりもさまざまなリスクがあります。「リスクを減らす行動を心がける」「自分の身は自分で守る」という基本姿勢を徹底することが重要です。軽率な行動は取らない、危険な場所は避ける、安全に関する情報を収集する、犯罪者に狙われやすい格好や隙のある行動をしない等、トラブルを招く可能性がある行動をできるだけ減らし危険を回避すること、トラブルが発生した場合も被害を最小限に抑えることが大変重要です。また、昨今の世界情勢は刻一刻と変化しており、比較的安全と思われていた国や地域でも犯罪が増えたり、テロ等の標的とされるケースがあります。どこの国・地域に留学しようとも、学生の皆さん一人ひとりが危機管理や自己防衛意識を高く持つことが求められます。以下は、気を付けなければならない例です。注意すべきことはこれだけではありませんが、危機意識を強く持っておきましょう。

- 人の少ない場所には1人で行かない
- 大金を持ち歩かない、複数の財布を併用する等お金を分散して持ち歩く
- 人が多く集まる場所にはできるだけ近づかない
- 見知らぬ人には気を許さない
- (スリ・テロ等のリスク回避)
- 日没後はできるだけ歩かない
- 華美な服装を避ける、高価なものやブランド品を身に付けない
- 現地の法令を守る(交通規則・飲酒年齢に違反しない)

トラブルが発生した場合

どれだけ注意していても、トラブルに巻き込まれることはあります。そのような場合は、まず、「留学生危機管理サービス」のヘルプライン(24時間受付)に連絡してください。必要な手続き等について適切なアドバイスやサポートを受けることができます。その上で、警察への被害届の提出、ポリスレポート(被害届)受理書の入手等を行ってください。その後の保険金請求等に必要となります。

盗難・紛失

特にホームステイ先やホームルームで盗難・紛失があった場合、自分の仲間や友人を疑うことになり、今後の信頼関係を築くことが難しくなる可能性があります。日本から遠く離れた環境で、精神的にもつらい経験となる場合がありますので、被害に遭う隙を与えないよう行動しましょう。

海外旅行保険

同志社大学の海外留学制度で留学する場合、本学が条件を指定する海外旅行保険への加入が義務付けられています。指定の海外旅行保険に加入しない場合、留学できません。留学中のけがや病気、盗難等に備え、必ず加入してください。クレジットカード付帯の海外旅行保険は、補償期間や補償内容が不十分です。また、留学先大学等が指定する健康保険等に加入する場合であっても、学期外の期間は対象外・賠償責任保険がない・救援費用が出ない等、補償期間や補償内容が不十分な場合があります。必ず本学指定の海外旅行保険に加入してください。なお、本学指定の海外旅行保険は、学生の皆さんの経済的な負担を減らすため、東京海上日動火災保険株式会社と海外旅行保険の包括協定を締結し、割安な保険料で申し込むことができますようにしています。

セクシャルハラスメント

留学中に文化の相違により、意思疎通がうまくいかず、予想もしないような誤解を招くことがあります。そのような誤解が、レイプやセクシャルハラスメントを引き起こすことがあります。自分自身を守るため、文化の違いを理解しておくことが重要です。嫌な場合は、はっきり「No」と伝え、曖昧な態度を取らないようにしましょう。また、閉ざされた空間で二人きりになることは極力避けましょう。当事者同士の話し合いで解決が困難な場合、留学生アドバイザーやカウンセラー等、信頼できる人にご相談ください。

自動車の運転

同志社大学の留学プログラムによる留学中は、**自動車・バイクの運転は一切禁止です**。万が一自動車・バイクを運転し、交通事故を起こした場合は多額の賠償金を請求されることがあります。

飲酒・喫煙

留学先によって法律で認められている年齢が異なり、違反すると厳しい処罰が科せられます。渡航先の法令や留学先大学のルールを遵守してください。

麻薬・覚醒剤

留学先によっては、日本よりも薬物が身近に売買されている場合があります。マリファナを含む麻薬・覚せい剤は、一度使用しただけで、身体的・精神的に薬物に依存してしまい、自発的に使用をやめることが困難となります。また、麻薬・覚せい剤の所持・使用は、死刑等、日本以上に厳しく処罰される国も少なくありません。**薬物には絶対に手を出してはいけません**。薬物に触れることで、人生を台無しにしないよう、十分注意してください。

外務省海外安全ホームページ

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

外務省海外安全ホームページには、国・地域ごとの安全情報・危険情報・感染症危険情報・スポット情報・広域情報が掲載されています。出願前に、必ずご父母等の保証人の方とともに、渡航予定の国・地域の情報を確認してください。

同志社大学の危機管理

留学生危機管理サービス

同志社大学では、本学の海外留学制度で留学する学生を対象に、海外留学生安全対策協議会(JCSOS)または日本エマージェンシーアシスタンス株式会社の留学生危機管理サービス(OSSMA)への加入を行っています。このサービスへ加入することにより、留学中のトラブルを24時間年中無休でサポートする体制を整えています。安否確認や留学先でけがや病気等に遭った場合の現地医療機関の紹介や予約手配、医療受診時等の通訳手配、医療搬送、また、現地で事故、災害、テロ、その他のトラブルに巻き込まれた場合には現地へ人員を派遣、ネゴシエーターを手配等解決への適切な対応を行うアシスタントサービスです。

留学プログラム実施の是非

同志社大学の海外留学プログラムは、日本国外務省海外安全ホームページの「危険情報」「感染症危険情報」をもとに、「レベル2：不要不急の渡航は止めてください。」以上の地域への留学は原則として行っていません。「レベル2」もしくはそれ以上の危険情報が発出または継続している場合、学生の皆さんの安全確保を最優先とし、留学期間中であっても留学を中止し帰国を勧告することとなります。

健康管理

慣れない海外での生活では、健康管理が非常に重要です。体調を崩さないように健康管理には十分に気を付けましょう。もし身体の調子がおかしいと感じた場合は、速やかに留学先大学の診療所や病院で受診しましょう。また、時には精神的に辛いこともあるかもしれません。困ったときや悩んだときは一人で抱え込まず、友人や留学先大学のスタッフ、カウンセラーに相談するようにしましょう。

出発前の準備

持病がある場合、自己責任のもと、対処法を十分に理解し、万が一に備えて準備しておく必要があります。もし現地で発病した際に周りの方や現地の医師に病気の内容や今までの経過を説明できるよう準備してください。持病の程度によっては、英文の診断書を留学先に持っていくとよいでしょう。現在服用している常備薬があれば、可能な範囲で持参しましょう。ただし、日本では医師から処方してもらった合法の薬でも、渡航先の国によっては持ち込むことができない場合があります。取扱いは渡航先の国・地域によって異なりますので、処方箋や持参する量等が渡航先の法令上問題がないか事前に自身の責任で十分に確認してください。禁止薬物の持ち込み・所持・使用は厳しい処罰が科せられる場合があります。歯の治療は、国・地域によっては十分な治療を受けられない場合や治療費が極めて高額になる場合があります。歯の治療は海外旅行保険等では原則カバーされないため、場合によっては高額な出費になります。出発前に必要な治療をしてから渡航してください。



けが/病気になったら

まずは留学先大学の診療所や近隣の病院で受診してください。大学には診療所や病院が併設されている場合もあります。事前に場所や受診に必要な書類等を確認しておくことも重要です。どの病院を受診すればよいかわからない場合や緊急の際は、身近な人に助けを求めるとともに、「留学生危機管理サービス」のヘルプライン(24時間受付)に電話してください。

病院を受診した際は、必ず「診断書」と「領収書」を受けましょう。後日、海外旅行保険を使って保険金の請求をする際に必要となります。また、病院で出された処方箋で薬を購入した場合にはその費用も請求が可能のため、領収書を保管するようにしてください。

カルチャーショック(留学中)

外国等の異なる文化で生活する中で、自分の生まれ育った国や文化で培ってきた言葉や習慣、行動様式等が通用しないことで起こるショック状態のことを指します。異文化適応のための自然な過程ですが、自分自身の根幹である考え方、生き方、存在そのものを揺るがす場合もあり、その影響が疲労感、焦り、不安、神経質、憂うつ、睡眠不足、摂食障害、対人恐怖症等となって現れることもあります。カルチャーショックについて渡航前に知っておき、実際にカルチャーショックを感じた時は、身近なアドバイザーやカウンセラー、友人に気軽に相談ください。カルチャーショックを感じた出来事を肯定的に受け止め、自分なりに克服すれば、自国と他国の長所と短所を冷静に比較できるようになり、状況に応じて臨機応変に行動できる能力が培われることでしょう。

逆カルチャーショック(帰国後)

留学後に自国の社会に帰国するにあたって直面する適応上の問題や心理的葛藤のことを指します。留学先で培った価値観や行動様式をそのまま自国に持ち帰ったものの、それが通用せず、「以前と変わった」等と批判されてショックを受けることがあります。逆カルチャーショックへの対処法で大切なことは、自分自身を肯定的にとらえることです。一度カルチャーショックを乗り越えて異文化に適応できたからこそ逆カルチャーショックが起こっているのですから、自分は2つの異文化に適応できた、自国と留学した国両方の良い面、悪い面について考えることができるようになったという積極的な考え方をしよう。カルチャーショックを克服したように、逆カルチャーショックも時間が解決してくれます。あまり焦らず、自分の置かれた環境をよく観察して、どのようにしたら「留学体験」をこれからの進路に活かせるかを考えましょう。



留学と就職活動

「留学に行きたいけれどその後の就職活動が心配」という方は、キャリアセンターに相談しましょう。

■帰国後の就職活動を視野に入れた留学計画を

留学を考えている方は、「留学するとその後の就職活動にどのような影響があるのか?」「帰国後の就職活動をどのように進めればよいのか?」など様々な疑問や不安があります。基本的な就職活動スケジュールは【表1】の通りですが、特に、3年次生・修士1年次生の3月1日以降(企業の採用選考活動が正式に始まる時期)に帰国予定の場合は、留学中から可能な範囲で就職活動の準備を進め、情報収集等しておく必要があります。帰国予定が3月1日以前でも、就職活動準備が本格化する10月以降に帰国する場合は、同様に準備を進めておくことによいでしょう。実際には、**留学が就職活動に与える影響の度合いや準備の進め方は、留学時期や帰国のタイミング、希望する進路によって異なります。**個々のケースについては、キャリアセンターの「個別相談」を利用して相談してください。

【個別相談の利用方法】

キャリア支援システム「e-career」から
事前予約をしてください。
e-careerトップ画面⇒MENU⇒個別相談
<https://e-career.doshisha.ac.jp/>



【表1】就職活動スケジュール概要 ※2023年9月・2024年3月卒業・修了見込者の場合

2022年												2023年									
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
3年次生・修士1年次生												4年次生・修士2年次生									
夏・秋・冬のインターンシップ																					
就職活動の準備期間												(3/1~)企業の採用選考活動									
自己分析、業界・企業・職種研究、エントリーシート作成、面接対策、就職ガイダンスや各種セミナーへの参加など												企業説明会への参加・エントリーシート提出・筆記試験・面接など									
												内々定				内定					

※2024年9月・2025年3月卒業・修了見込者も同様のスケジュールで実施されることが決定しています。

■留学中にできる就職活動(一例)

留学中は、以下のような方法で就職活動の準備を進めることが可能です。コロナ禍で拡充したオンラインでの就職支援サービスや、企業のインターンシップ及び選考は今後も継続される見込みで、海外からの就職活動も進めやすくなっています。

◆キャリアセンターの就職支援をオンラインで利用する

- ・就職ガイダンスや各種セミナーの一部はオンラインで実施、後日視聴できるようにオンデマンド動画配信も行っています。
※オンデマンド動画視聴方法： e-career トップ画面⇒セミナー動画配信
- ・前述した「個別相談」はWEBでの相談にも対応していますので、留学先からでも利用できます。

◆オンラインで実施される企業のインターンシップや説明会等へ参加する

◆海外で開催されるキャリアイベントへ参加する

- ・キャリアフォーラム(株式会社ディスコ主催)、マイナビ国際派就職、Global Career Expo など

■留学経験を就職活動で活かすために

留学=就職に有利、という訳ではありません。就職活動では「どのような目的をもって留学し、どのような目標設定を持って過ごしたのか?」「その過程でぶつかる困難に対し、どう考え、行動して乗り越えようとしたのか?」という成長の過程を自分の言葉で伝えることが求められます。そのために、留学中は日々の記録を書き留めておくことをお勧めします。

企業が留学経験者に期待するのは、**語学力や異文化適応力だけではなく、日本と異なる環境で培ったチャレンジ精神や多角的な視野、多様な価値観を持つ人々と協業、交渉できるコミュニケーション能力など、グローバル人材として必須の能力がより一層求められていることを理解しておきましょう。**

留学経験・語学力を活かせる「キャリア」を考える

キャリアセンターでは、例年7月から9月頃に「グローバルキャリアフェア」として、様々な分野でグローバルに活躍される本学OBOGの講演会などを実施しています。留学経験・語学力を活かせる仕事を知る絶好の機会ですので、ぜひ参加してください。
※2023年度の開催概要は決定次第、キャリアセンターホームページでお知らせします。

キャリアセンター利用案内

今出川校地 寒梅館2階 TEL 075-251-3310
京田辺校地 嗣業館1階 TEL 0774-65-7016



〈開室時間〉
平日/ 9:00 - 11:30, 12:30 - 17:00
土曜・日曜・祝日および大学が定める休日は開室

※開室時間などの変更については、キャリアセンターホームページでお知らせします。

〈キャリアセンターホームページ〉
<https://career-center.doshisha.ac.jp/>

Study Abroad × Career Design Sheet



留学前

具体的に考えてみましょう!

★自分に合った留学プランを立ててみましょう!(目的・期間・国/地域・出発/帰国時期・予算 etc...)

何を学びたい?目的は?(例:語学力向上)	
期間は?(例:1 Semester)	
時期は?(例:2年生秋学期)	
地域は?(例:中国)	
予算はどのくらい?(例:1ヶ月約●万円)	

留学中

目標があるとないとでは大違い!想像してみましょう!



★留学中に身に着けたいことは? ※語学力+αで考えてみましょう。

★留学中にできる就職活動にはどんなものがあるのか、調べてみましょう。

★こうなっていたい!留学後の自分!

留学後

留学を留学だけで終わらせない!その先を見据えて考えてみましょう!



★留学後の自分のアピールポイントは?

★留学経験を活かしたい分野・職業は?

Doshisha “Go Global” Passport

Doshisha “Go Global” Passport とは

グローバル人材として所定の条件を満たした学生には、「Doshisha “Go Global” Passport」を授与します。これは、グローバルな視点で活躍するために必要な基礎知識、外国語能力、実践力が一定の基準を満たした証になります。また、所定の手続きにより、成績証明書に「Doshisha “Go Global” Passport」取得者であることが記載されます。取得を目指して、積極的に関係科目を履修しましょう。



授与要件:次のIまたはIIのいずれかを満たした者に授与する。 ※2013年度以降入学の学部生に授与するものとする。

I 次の①から④のいずれかを満たし、⑤および⑥の全てを満たした者

- ① TOEFL iBT® テスト 79点以上
(TOEFL iBT® Home Editionテストも可。
「Test Dateスコア」のみ可。「My Best™ スコア」は認めない。)、
TOEFL ITP® テスト 550点以上、TOEIC® L&Rテスト 730点以上、
TOEIC® L&R IPテスト 730点以上、または右表の「授与要件①を満たす英語の試験および資格・スコア」のいずれかを有すること。
- ② 「Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 1」
「Study Abroad Preparation (TOEFL TEST) 2」
「Study Abroad Preparation (IELTS) 1」
「Study Abroad Preparation (IELTS) 2」のうちいずれか1科目の単位を修得すること。
- ③ 初修外国語について、右表の「授与要件③を満たす初修外国語の試験および資格・スコア」のいずれかを有すること。
- ④ 本学が実施する留学プログラムに参加し、所定の評価などを得ていること。
- ⑤ 「建学の精神とキリスト教」「旧約聖書とキリスト教」「新約聖書とキリスト教」のうちいずれか1科目の単位を修得すること。
- ⑥ 「日本近現代史」「世界近現代史」「世界の宗教」「国際教養基礎論1」「国際教養基礎論2」のうち2科目の単位を修得すること。

■ 授与要件①を満たす英語の試験および資格・スコア

試験名	スコア/級
TOEFL iBT®テスト(※) TOEFL iBT® Home Editionテストも可	79~
TOEFL ITP®テスト	550~
TOEIC® L&Rテスト	730~
TOEIC® L&R IPテスト	730~
IELTS™	6.0~
国連英検	A級以上(該当級:A, 特A)
英検	準1級以上(該当級:準1級, 1級)
ケンブリッジ英検	First Certificate 以上(該当級:FCE, CAE, CPE)
CASEC	700~

なお、国際教育インスティテュート(ILA)においては、上記の授与要件を満たす英語運用力が一般選抜入学試験の語学要件とされているため、日本国籍を保有する入学者については同等の英語能力を持つ者とみなします。
※「Test Dateスコア」のみ可。「My Best™スコア」は認めない。

■ 授与要件③を満たす初修外国語の試験および資格・スコア

	試験名	スコア/級
ドイツ語	Goethe-Zertifikat	B1以上(該当級:B1, B2, C1, C2)
	ドイツ語技能検定試験	準1級以上(該当級:準1級, 1級)
フランス語	DELF	B1以上(該当級:B1, B2, C1, C2) * C1, C2は、試験名がDALFとなる
	TCF 実用フランス語技能検定試験	B1以上(該当級:B1, B2, C1, C2) 準1級以上(該当級:準1級, 1級)
中国語	漢語水平考試(新HSK)	4級以上(該当級:4級, 5級, 6級) * GC中国語コースは5級以上 * 5, 6級については、3パート合計180点以上でクリア
	中国語検定試験	3級以上(該当級:3級, 2級, 準1級, 1級) * GC中国語コースは2級以上
	中国語コミュニケーション能力検定	400~1,000点(該当級:レベルD, C, B, A)
スペイン語	DELE	B1以上(該当級:B1, B2, C1, C2)
	スペイン語技能検定	4級以上(該当級:4級, 3級, 2級, 1級)
ロシア語	ТРКИ	第1レベル以上(該当級:第1, 第2, 第3, 第4レベル)
	ロシア語能力検定試験	2級以上(該当級:2級, 1級)
韓国語	韓国語能力試験(TOPIK)	4級以上(該当級:4級, 5級, 6級)
	ハングル能力検定試験	準2級以上(該当級:準2級, 2級, 1級)
韓国語	KLAT(旧KLPT)	4級以上(該当級:4級, 5級, 6級) * 旧KLPTは350~500点

なお、初修外国語は、上記の一覧に記載のない試験のスコアについては評価対象とはなりません。

II グローバル・リベラルアーツ副専攻を修了した者

短期プログラム・EUキャンパスプログラム 統計

新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度・2021年度は中止となりましたが、2022年度から数を絞って段階的に渡航を開始しています。そのため、全プログラム渡航で実施した2019年度の統計となっています。ただし、EUキャンパスプログラムについては最新の統計を掲載しています。各プログラムの内容は変更になる可能性がありますので、出願する場合は、最新の情報を各プログラムHPにてご確認ください。

- 出願者数は、第1希望のみ的人数です。
- 英語プログラム(スタンフォード大学を除く)の合格者数は合格発表時点の人数で、第2・第3希望として併願をしていたプログラムで合格した人数も含まれます。

サマープログラム2019						
科目名	研修先	国名	募集人数	最少催行人数	出願者数	合格者数
サマープログラム・英語A	ヨーク大学	イギリス	約24名	12名	25名	25名
	ディーキン大学	オーストラリア	約20名	10名	31名	20名
	アリゾナ大学	アメリカ	約20名	12名	6名	8名
	ゲルフ大学	カナダ	約40名	20名	26名	29名
	セブ医科大学	フィリピン	約30名	15名	41名	35名
	トンブソン・リパーズ大学	カナダ	約30名	11名	16名	16名
サマープログラム・英語B	スタンフォード大学	アメリカ	約10名	1名	8名	8名
	カリフォルニア大学デービス校	アメリカ	約25名	10名	23名	24名
	コーク・カレッジ大学	アイルランド	約15名	1名	11名	13名
	ロンドン芸術大学	イギリス	約28名	10名	23名	20名
サマープログラム・英語C	ケンブリッジ大学	イギリス	約40名	32名	39名	38名
	カリフォルニア大学サンディエゴ校	アメリカ	約30名	15名	10名	9名
サマープログラム・ドイツ語B	マルティン・ルター大学	ドイツ	約20名	1名	4名	3名
サマープログラム・フランス語	フランシュ=コンテ大学	フランス	約20名	4名	7名	5名
サマープログラム・中国語	北京大学	中国	約20名	6名	18名	17名
サマープログラム・スペイン語	ラス・アメリカス大学	メキシコ	約20名	10名	3名	3名
サマープログラム・ロシア語※	ロシア国立サンクトペテルブルク経済大学	ロシア	約20名	6名	8名	7名
サマープログラム・コリア語	延世大学	韓国	約20名	1名	24名	23名

※ロシア語:本プログラムは隔年で実施するため、【2019年度】は実施していません。上記は【2018年度】の実施内容です。

スプリングプログラム2019						
科目名	研修先	国名	募集人数	最少催行人数	出願者数	合格者数
スプリングプログラム・英語A	ホーソン・メルボルン英語学校	オーストラリア	約25名	15名	65名	30名
	ヨーク大学	イギリス	約24名	10名	34名	25名
	セブ医科大学	フィリピン	約30名	15名	29名	30名
スプリングプログラム・英語B	セント・メアリーズ大学	カナダ	約30名	15名	21名	30名
	オークランド大学	ニュージーランド	約20名	12名	17名	20名
スプリングプログラム・英語C	カリフォルニア大学アーバイン校	アメリカ	約25名	15名	17名	17名
	オタゴ大学	ニュージーランド	約25名	10名	14名	17名
スプリングプログラム・ドイツ語	フライブルク大学	ドイツ	約15名	1名	17名	16名
スプリングプログラム・フランス語	CAVILAM(クレルモン・フェラン大学監修)	フランス	約20名	5名	10名	9名
スプリングプログラム・中国語	華東師範大学	中国	約20名	1名	10名	8名
スプリングプログラム・スペイン語	サラマンカ大学	スペイン	約20名	10名	26名	24名
スプリングプログラム・コリア語	慶熙大学	韓国	約20名	1名	18名	18名

※フライブルク大学、華東師範大学、慶熙大学は新型コロナウイルスの影響により2019年度は渡航中止となりました。

セメスタープログラム2019						
科目名	研修先	国名	募集人数	最少催行人数	出願者数	合格者数
セメスタープログラム・英語I、II	ウニベグ大学	カナダ	約30名	10名	62名	30名
	ディーキン大学	オーストラリア	約30名	10名	29名	30名
	ハワイ大学マノア校	アメリカ	約30名	7名	12名	19名

EUキャンパスプログラム2023						
プログラム名	研修先	国名	募集人数	最少催行人数	出願者数	合格者数
ドイツ語・異文化理解EUキャンパスプログラム	同志社大学テュービンゲンEUキャンパス(テュービンゲン大学)	ドイツ	約15名	10名	14名	13名
ヨーロッパ・スタディーズEUキャンパスプログラム	同志社大学テュービンゲンEUキャンパス(テュービンゲン大学)	ドイツ	約15名	10名	34名	15名

派遣留学(大学間協定)プログラム 統計

出願する場合は、最新の出願要件を国際課HPのプログラムリストにてご確認ください。

プログラムリスト <http://studyabroad.doshisha.ac.jp/search>



- 募集人数・出願者数・候補者数は、学部生／大学院生の合計人数です。
- 募集人数は、留学期間半年間を0.5人、1年間を1人とカウントします。
- 出願要件は、【2023-24年度】の[学部課程]への出願要件(簡略版)です。【2023-24年度】が「募集なし」の場合は、【2022-23年度】の[学部課程]への出願要件を記載しています。(大学院課程)への出願要件は、プログラムリスト参照
- 出願要件「英語」、「英語以外」は、どちらかの出願言語を選択し、選択した言語の語学スコアのいずれかを満たす必要があります。

■ アジア

国/地域	留学先大学	2022-23年度				2023-24年度				出願要件								
		募集人数	出願者数			募集人数	出願者数			GPA(学部生)	英語			英語以外				
			第1希望	第2希望	第3希望		候補者数	第1希望	第2希望		第3希望	候補者数	TOEFL® ITP	TOEFL® iBT	IELTS™	言語	CEFR	
インドネシア	ガジャマダ大学	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	3.00	550	70	5.5	—	—	
	タマサート大学	2	1	1	0	1	2	0	0	1	0	2.80	—	61	5.5	—	—	
タイ	チュラロンコン大学	募集なし				2	0	0	0	0	2.75	—	79	6.0	—	—		
	パヤップ大学	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2.50	500	61	5.5	—	—	
フィリピン	アテネオ・デ・マニラ大学	募集なし				1	0	0	0	0	2.80	—	79	6.0	—	—		
	デラサル大学	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3.00	—	79	6.0	—	—	
ベトナム	フィリピン大学ディリマン校	1	0	1	1	1	2	0	0	2	2.00	500	60	5.5	—	—		
	ハノイ工科大学	募集なし				2	0	0	0	0	2.50	—	78	6.0	—	—		
マレーシア	マラヤ大学	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	3.00	—	80	6.0	—	—	
	マレーシア国際イスラーム大学	1	0	0	1	0	1	1	1	0	1	2.00	500	60	5.5	—	—	
マレーシア	マレーシア科学大学	2	1	0	0	1	2	0	0	0	0	2.00	543	79	5.5	—	—	
	中国人民大學	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3.00	—	90	6.0	中国語	C2	
中国 (台湾・香港を除く)	北京大學歴史学部	2	0	0	0	0	2	0	1	0	0	2.50	—	—	—	中国語	C2	
	北京師範大學	1	2	1	0	1	1	0	0	0	0	3.00	—	80	6.0	中国語	C1	
	吉林大學	1	0	3	1	1	1	0	0	1	0	2.00	—	79	6.0	中国語	B2	
	天津外國語大學	2	0	0	1	0	2	0	0	0	0	2.00	—	—	—	中国語	B2	
	復旦大學	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3.00	—	80	6.0	中国語	C2	
	暨南大學	2	0	0	1	0	2	0	1	0	0	2.50	—	80	5.5	中国語	C1	
	東北師範大學	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3.00	—	—	—	中国語	C1	
	武漢大學	2	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3.00	—	90	6.5	中国語	C1	
	浙江農林大學	2	0	0	1	1	2	0	0	0	0	2.00	—	—	—	中国語	B2	
	清華大學	2	4	0	1	2	2	3	0	0	3	2.00	—	93	6.5	中国語	C1	
	西北大學	2	0	0	1	0	2	0	0	0	0	2.00	—	—	—	中国語	B2	
	西安交通大學	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2.80	—	—	—	中国語	B2	
	重慶郵電大學	5	0	0	0	0	5	0	0	0	0	2.00	—	70	5.5	中国語	B2	
台湾	中国文化大學	新規協定校				1	0	0	0	0	2.00	500	64	5.5	中国語	B1		
	国立台湾大學	5	3	0	1	4	5	4	0	1	4	3.00	500	60	5.5	中国語	B1	
	国立台湾師範大學	3	0	1	0	0	3	0	0	0	0	3.00	—	80	6.5	中国語	C1	
	国立政治大學	5	0	0	0	0	2	0	1	0	0	2.75	—	80	6.0	中国語	B2	
	東呉大學	1	0	0	0	0	2	0	1	2	0	2.00	500	60	5.5	中国語	A2	
	淡江大學	2	1	1	0	1	2	0	3	2	0	2.00	500	61	5.5	中国語	B1	
韓国	輔仁(フージェン・カトリック)大學	2	0	1	0	1	2	1	0	0	1	2.00	550	79	6.0	中国語	C1	
	静宜大學	2	0	0	1	0	2	0	0	0	0	2.50	500	61	5.5	中国語	A2	
	ソウル大學	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	2.50	—	88	6.0	コリア語	B2	
	ソウル女子大學	2	1	3	2	2	1	0	0	0	0	2.00	500	60	5.5	コリア語	A2	
	ソウル市立大學	1	3	6	0	2	2	0	2	0	0	2.00	500	60	5.5	コリア語	A2	
	仁川大學	1	0	0	3	1	1	1	0	1	1	2.00	500	60	5.5	コリア語	A2	
	全南大學	2	0	0	2	0	2	0	0	1	0	2.00	—	60	5.5	コリア語	A2	
	嶺南大學	募集なし				5	0	0	0	0	2.70	500	60	5.5	コリア語	A2		
	延世大學	2	4	1	0	3	1	3	0	1	1	2.50	—	79	6.5	コリア語	B1	
	梨花女子大學	1.5	3	2	1	2	2	2	0	0	2	2.50	500	60	5.5	コリア語	A2	
	韓国外國語大學	5	5	2	1	5	5	1	1	1	2	2.50	550	80	6.0	コリア語	A2	
	高麗大學	2	3	2	4	2	2	3	3	1	3	2.50	500	60	5.5	コリア語	A2	
	香港	嶺南大學	5	0	0	0	0	5	0	0	0	0	2.50	—	79	6.0	—	—
		香港中文大學	4	1	1	0	1	4	0	0	0	0	3.00	—	71	6.0	—	—
		香港城市大學	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2.00	550	79	6.5	—	—
香港教育大學		2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2.50	—	80	6.0	—	—	

■ オセアニア

国/地域	留学先大学	2022-23年度				2023-24年度				出願要件							
		募集人数	出願者数			募集人数	出願者数			GPA(学部生)	英語			英語以外			
			第1希望	第2希望	第3希望		候補者数	第1希望	第2希望		第3希望	候補者数	TOEFL® ITP	TOEFL® iBT	IELTS™	言語	CEFR
オーストラリア	ウーロンゴン大学	2	4	1	0	2	2	3	1	3	3	2.70	550	79	6.0	—	—
	サンシャイン・コースト大学	1.5	2	1	1	2	2	1	1	2	1	2.50	—	76	6.0	—	—
	ジェームズクック大学	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2.80	—	74	6.0	—	—
	シドニー大学	2	1	0	0	1	2	0	1	1	0	3.00	—	85	6.5	—	—
	チャールズ・ダーウィン大学	募集なし				1	0	0	0	0	2.00	—	60	6.0	—	—	
	ディーキン大学	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2.60	—	69	6.0	—	—
	ニュー・サウス・ウェールズ大学	3	1	1	0	1	2.5	0	0	1	0	3.00	—	90	6.5	—	—
	ニュー・サウス・ウェールズ大学【ブリッジプログラム】	2	2	0	0	2	2	1	0	0	1	3.00	—	65	5.5	—	—
	ニューイングランド大学	4	1	1	0	1	4	0	0	4	0	2.00	—	79	6.0	—	—
	マードック大学	新規協定校				2	2	2	0	2	2.00	—	68	5.5	—	—	
ニュージーランド	マッコリー大学	1	0	2	0	1	1	1	2	0	1	2.50	—	83	6.5	—	—
	メルボルン大学	3	0	0	1	0	3	4	0	0	4	3.00	—	79	6.5	—	—
	ウェリントン・ビクトリア大学	募集なし				2	1	3	0	1	2.70	—	80	6.0	—	—	

■ 北中南米

国/地域	留学先大学	2022-23年度				2023-24年度				出願要件							
		募集人数	出願者数			募集人数	出願者数			GPA(学部生) ※3	英語			英語以外			
			第1希望	第2希望	第3希望		候補者数	第1希望	第2希望		第3希望	候補者数	TOEFL® ITP	TOEFL® iBT	IELTS™	言語	CEFR
アメリカ	ウィットマン大学 [AKP-General]	※1	0	0	0	0	※1	0	1	0	0	3.50	—	85	7.0	—	—
	ウィリアムズ大学 [AKP-General]	募集なし				募集なし				—	—	—	—	—	—	—	—
	ウェズリアン大学 [AKP-General]	※1	0	0	0	0	※1	0	0	0	0	3.50	—	100	7.0	—	—
	オーバーラン大学 [AKP-General]	※1	0	0	0	0	募集なし				3.50	—	100	7.0	—	—	
	カールトン大学 [AKP-General]	※1	0	0	0	0	※1	0	0	0	0	3.50	—	100	7.0	—	—
	コネチカット大学 [AKP-General]	募集なし				募集なし				—	—	—	—	—	—	—	—
	コルビー大学 [AKP-General]	募集なし				募集なし				—	—	—	—	—	—	—	—
	スミス大学 [AKP-General]	※1	0	0	0	0	※1	0	0	0	0	3.50	—	100	7.0	—	—
	スミス大学 [AKP-Individual]	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3.50	—	100	7.0	—	—
	バックネル大学 [AKP-General]	※1	0	0	0	0	※1	0	1	0	0	3.50	—	100	7.0	—	—
	ベイツ大学 [AKP-General]	※1	0	0	0	0	※1	0	0	0	0	3.50	—	100	7.0	—	—
	ボモナ大学 [AKP-General]	※1	0	0	0	0	※1	1	0	0	1	3.50	—	100	7.0	—	—
	マウントホリヨーク大学 [AKP-General]	※1	0	0	0	0	※1	0	0	0	0	3.50	—	100	7.0	—	—
	イェール大学 [KCJS] 【大学院のみ】	募集なし				※2	0	0	0	0	3.94	—	105	7.5	—	—	
	エモリー大学 [KCJS]	募集なし				募集なし				—	—	—	—	—	—	—	—
	コーネル大学 [KCJS] 【大学院のみ】	募集なし				※2	0	0	0	0	3.94	—	80	7.0	—	—	
	コロビア大学 [KCJS]	※2	0	0	0	0	募集なし				3.00	—	105	7.5	—	—	
	シカゴ大学 [KCJS]	募集なし				募集なし				—	—	—	—	—	—	—	—
	スタンフォード大学 [KCJS] 【大学院のみ】	※2	0	0	0	0	募集なし				3.38	—	100	—	—	—	—
	バージニア大学 [KCJS]	※2	0	0	0	0	募集なし				3.50	—	100	7.0	—	—	—
	ハーバード大学 [KCJS] 【大学院のみ】	募集なし				募集なし				—	—	—	—	—	—	—	—
	プリンストン大学 【大学院のみ】	募集なし				募集なし				—	—	—	—	—	—	—	—
	ブラウン大学 [KCJS]	募集なし				※2	0	0	0	0	3.00	—	100	—	—	—	—
	ペンシルベニア大学 [KCJS]	募集なし				※2	1	1	0	1	3.00	—	100	7.5	—	—	—

※出願可能なKCJS加盟校は、毎年度[KCJS]加盟校枠の中で変更があります。
 ※1募集人数は、[AKP-General]枠で合計1名です。
 ※2募集人数は、[KCJS]加盟校枠で学部生合計1名 [KCJS]加盟校枠で大学院生合計4名です。
 ※3【大学院のみ】募集の場合は大学院課程の要件を記載しています。

■ ヨーロッパ

国/地域	留学先大学	2022-23年度				2023-24年度				GPA (学部生) ※3	出願要件						
		出願者数			候補者数	出願者数			候補者数		英語		英語以外				
		募集人数	第1希望	第2希望		募集人数	第1希望	第2希望			第3希望	TOEFL® ITP		TOEFL® iBT	IELTS™	言語	CEFR
アイルランド	ダブリン・シティ大学人文社会科学部	3	3	2	2	3	3	3	1	2	4	3.00	500	70	6.5	—	—
アゼルバイジャン	ハザール大学	募集なし				募集なし				—	—	—	—	—	—		
イギリス	ウォーリック大学	2	0	0	0	0	2	0	0	1	0	2.00	—	92	6.5	—	—
	エディンバラ大学	1	1	1	0	1	1.5	3	2	1	2	3.00	—	92	6.5	—	—
	ケンブリッジ大学セントキャサリンズコレッジ	1	1	0	0	1	募集なし				2.00	—	—	7.0	—	—	
	シェフィールド大学	4	1	7	3	3	4	1	2	0	1	3.00	—	88	6.5	—	—
	マンチェスター大学	2	4	5	3	2	2	4	4	1	3	3.00	—	80	6.0	—	—
	リーズ大学	6	10	5	6	7	6	8	2	2	8	3.00	—	87	6.0	—	—
イタリア	ロンドン大学 (SOAS)	2	2	0	1	2	5	1	0	1	1	3.00	—	100	6.5	—	—
	ヴェネツィア大学	2	3	2	0	3	2	1	2	0	2	2.00	543	72	5.5	イタリア語	B2
	トリノ大学	1	0	1	2	0	2	0	3	5	2	2.00	500	60	5.5	イタリア語	B1
	ボローニャ大学	1	1	2	1	1	1	1	3	2	1	2.00	500	60	5.5	イタリア語	A2
オランダ	ローマ大学	2	0	0	0	2	3	1	0	0	2	2.00	500	60	5.5	イタリア語	B2
	ハーグ応用科学大学	1	1	0	1	1	2	0	1	0	0	2.00	—	80	6.0	—	—
スイス	ライデン大学	3	1	2	1	1	3	1	0	1	1	3.20	—	90	6.5	—	—
	チューリヒ大学	2	0	0	0	0	5	2	0	2	2	2.00	—	90	6.5	ドイツ語	C1
スウェーデン	ルツェルン大学	2	0	0	1	0	2	2	3	1	2	2.00	550	78	6.0	ドイツ語	B2
	ヨーテボリ大学経済商法学部	2	0	0	0	0	2	0	2	0	1	2.00	—	92	6.5	—	—
スペイン	サン・アントニオ・ムルシア・カトリック大学	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	2.00	—	78	6.0	スペイン語	B1
	サラマンカ大学	4	1	0	0	1	4	2	0	0	2	2.00	—	—	—	スペイン語	B1
	バルセロナ自治大学	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2.00	—	—	—	スペイン語	B2
	ポンペウファブラ大学	1	0	1	0	0	1	1	1	0	1	2.00	—	78	6.0	スペイン語	B1
チェコ	カレル大学	1	1	0	1	1	1	2	0	1	1	2.00	543	72	5.5	—	—
	西ボヘミア大学	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2.00	—	78	6.0	—	—
デンマーク	マサリック大学	2	0	0	2	0	1	0	0	0	0	2.50	—	78	6.0	—	—
	オーフス大学教養学部	2	2	0	1	2	2	1	0	0	1	2.00	—	83	6.5	—	—
	チュービンゲン大学	2	1	0	2	2	2	0	1	2	0	2.00	—	78	6.0	ドイツ語	B2
	デュッセルドルフ大学	4	2	2	1	2	2	2	2	1	2	2.00	500	60	5.5	ドイツ語	B1
ドイツ	フランクフルト大学	4	1	1	0	1	2	1	1	1	1	2.00	—	72	5.5	ドイツ語	B1
	マインツ大学	2	1	0	1	1	2	2	0	1	2	2.00	527	71	5.5	ドイツ語	B1
	ミュンヘン大学文化学部	1	0	0	0	0	1	1	1	0	1	2.00	—	90	5.5	ドイツ語	B2
	オスロ大学	4	7	8	6	4	4	9	10	0	4	2.00	—	60	5.5	—	—
ハンガリー	ベルゲン大学	4	3	4	7	5	4	3	7	8	5	2.00	—	60	5.5	—	—
	エトヴェシュ・ローランド大学	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2.00	547	78	6.0	—	—
フィンランド	ペーチ大学	新規協定校				2	1	0	0	1	3.00	543	72	5.5	—	—	
	イースタン・フィンランド大学	2	2	4	2	2	2	0	1	2	0	2.00	550	79	6.0	—	—
	タンペレ大学	2	0	1	1	0	2	0	0	0	0	2.00	—	92	6.5	—	—
	ヘルシンキ大学	3	5	2	2	5	3	6	2	1	4	2.00	550	79	6.0	—	—
	エクス・マルセイユ大学	2	0	0	2	0	2	0	3	0	0	2.00	—	90	6.5	フランス語	B1
	エクセリア・グループ	2	0	0	1	0	2	1	0	0	1	2.00	550	79	6.0	フランス語	B2
	サンジェルマン・アン・レー政治学院	2	2	0	1	2	2	1	1	3	3	2.00	—	72	5.5	フランス語	B2
	ストラスブール大学	2	1	0	0	1	2	1	1	0	1	2.00	—	—	—	フランス語	B1
	ソルボンヌ大学 文系学部	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2.00	—	—	—	フランス語	B2
	パリ大学-ナンテール	2	0	1	0	0	2	0	1	2	0	2.00	—	60	5.5	フランス語	B1
	パリ政治学院	3	0	0	0	0	3	1	1	0	2	3.00	—	87	6.0	フランス語	B2
	リヨン政治学院	2	1	1	0	1	2	0	1	1	0	2.00	547	78	6.0	フランス語	B2
	レンヌ政治学院	1	0	0	0	0	1	0	2	1	0	2.00	—	60	5.5	フランス語	B2
	国立東洋言語文化大学	1	1	0	0	1	1	1	0	0	1	2.00	—	—	—	フランス語	B1
ベルギー	トマスモア応用科学大学	2	1	0	1	1	2	1	4	1	2	2.00	—	60	5.5	—	—
	ブリュッセル自由大学	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2.00	—	—	—	フランス語	B1
ポーランド	ヤギェウォ大学	1	0	1	0	1	1	0	1	1	1	2.00	—	65	5.5	—	—
	ワルシャワ大学	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3.00	543	79	5.5	—	—
リトアニア	ヴィータウタス・マグヌス大学	2	1	0	0	1	2	0	0	0	0	2.70	543	72	5.5	—	—
ルーマニア	ブカレスト大学	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	2.50	500	60	6.0	—	—
ロシア	サンクトペテルブルク経済大学	2	1	0	0	1	募集なし				2.00	—	78	6.0	ロシア語	C1	

■ 北中南米 (つづき)

国/地域	留学先大学	2022-23年度				2023-24年度				GPA (学部生) ※3	出願要件						
		出願者数			候補者数	出願者数			候補者数		英語		英語以外				
		募集人数	第1希望	第2希望		募集人数	第1希望	第2希望			第3希望	TOEFL® ITP		TOEFL® iBT	IELTS™	言語	CEFR
アメリカ	ボストン大学 [KCJS]	※2	0	0	0	0	募集なし				3.50	—	90	7.0	—	—	
	ワシントン大学セントルイス [KCJS]	募集なし				募集なし				—	—	—	—	—	—		
	アーカンソー工科大学	2	6	1	2	2	2	2	0	1	2	2.00	500	61	5.5	—	—
	ウエスタンミシガン大学	5	11	9	3	6	2	9	3	5	2	2.50	—	61	5.5	—	—
	ウエスタンミシガン大学【学費負担型】	10	0	1	0	1	10	0	0	0	0	2.50	—	71	6.0	—	—
	エンブリーリドル航空大学	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2.30	—	79	6.0	—	—
	カラマズ大学	3	0	1	3	0	3	0	1	2	0	3.00	550	84	7.0	—	—
	カリフォルニア大学	10	22	1	1	11	6	15	2	1	8	3.00	550	80	6.5	—	—
	コロラド大学ボルダー校	1	2	3	2	1	1	0	1	1	1	2.50	—	83	6.5	—	—
	サルベ・レジーナ大学	2	6	2	6	3	2	2	4	3	3	2.70	—	61	6.0	—	—
	サルベ・レジーナ大学【学費負担型】	5	0	1	0	0	5	0	0	0	0	2.70	—	61	6.0	—	—
	サンディエゴ州立大学	募集なし				1	4	4	2	1	2.50	550	80	6.5	—	—	
	ジョージ・メイソン大学	2	1	1	1	1	2	0	1	0	1	2.50	—	80	6.5	—	—
	スタンフォード大学【大学院のみ】	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2.50	—	100	—	—	—
	セント・メアリーズ大学	募集なし				2	0	1	1	0	3.00	—	80	6.0	—	—	
	デンバー大学	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	2.00	550	80	6.5	—	—
	ニューオーリンズ大学	1	0	1	0	1	募集なし				2.50	550	79	6.5	—	—	
	ネブラスカ大学カーニー校	募集なし				募集なし				—	—	—	—	—	—		
	ネブラスカ大学カーニー校【学費負担型】	10	0	0	0	0	10	1	0	0	1	2.00	530	61	5.5	—	—
	ノースカロライナ大学シャーロット校	4	9	8	2	5	1	2	2	3	1	2.00	523	70	6.0	—	—
	ノースカロライナ大学シャーロット校【学費負担型】	3	0	1	0	1	4	0	1	0	0	2.00	523	70	6.0	—	—
	ハワイ大学ヒロ校	1	3	7	1	1	1	7	3	4	1	3.00	500	61	5.5	—	—
	ハワイ大学ヒロ校【学費負担型】	5	0	1	1	2	5	0	2	0	2	3.00	500	61	5.5	—	—
	ハワイ大学マノア校	1	2	1	2	2	0.5	1	1	1	1	2.50	520	68	6.0	—	—
	ハワイ大学マノア校【学費負担型】	5	0	0	0	0	5	0	0	0	0	2.50	520	68	6.0	—	—
	ポートランド州立大学	3	1	2	2	1	5	4	1	0	5	2.50	—	71	6.0	—	—
	マレー州立大学	募集なし				1	1	0	1	1	2.00	—	71	6.0	—	—	
	マレー州立大学【学費負担型】	5	0	0	1	0	5	0	0	0	0	2.00	—	71	6.0	—	—
	ミズーリ大学	募集なし				募集なし				—	—	—	—	—	—		
	ミリキン大学	2	0	0	1	2	2	3	3	3	2	2.00	—	69	5.5	—	—
	モンタナ大学	1	1	0	1	2	2	2	5	4	2	2.80	—	70	6.0	—	—
	ユタ大学	4	2	2	2	4	4	0	2	1	1	2.60	—	80	6.5	—	—
	リンフィールド大学	2	1	5	1	3	2	0	1	1	2	2.75	550	80	6.5	—	—
	ロチェスター工科大学	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0						

同志社大学外国協定大学派遣留学生に関する内規

(目的)

第1条 この内規は、同志社大学外国協定大学派遣留学生制度を設け、本学の外国協定大学に学生を派遣し、もって本学建学の精神である国際主義を体得した学生を養成することを目的とする。

(定義)

第2条 この制度による外国協定大学派遣留学生とは、本学と外国の大学との大学間協定に基づき、学長の推薦により、外国の大学に留学する学生をいう。

(取扱い)

第3条 外国協定大学派遣留学生として留学をする場合は、この内規によるほか、「外国の大学に留学する学生の取扱いに関する内規」の定めるところによる。

(出願条件)

第4条 外国協定大学派遣留学生として出願できる学生は、学力、人物共に優秀で本制度の趣旨をよく理解し、留学年度の4月1日現在、学部2年次生以上の者又は大学院に在学中の者とする。

(義務)

第5条 外国協定大学派遣留学生として留学を希望する学生は、募集要項に定める出願書類を指定された期日までに提出しなければならない。

(推薦方法)

第6条 外国協定大学派遣留学生は、学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会の推薦に基づき、教務(国際)主任会議の審議を経て、学長が候補者を決定し、留学先大学に推薦する。

(候補者の決定)

第7条 外国協定大学派遣留学生の最終決定は、留学先大学による当該留学生の受入れ決定に基づき、学長が行う。

(留学期間)

第8条 留学期間は、留学先大学の正規の1年以内とする。ただし、当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会の認める特別の事情がある場合は、教務(国際)主任会議の審議を経て、学長が外国協定大学への在学留学期間の延長を認めることがある。

(事務)

第9条 この内規に関する事務は、国際連携推進機構国際センター国際課が取り扱う。

(改廃)

第10条 この内規の改廃は、教務(国際)主任会議及び部長会の審議を経て、学長が決定する。

附 則

この内規は、2015年4月1日から施行する。

同志社大学外国派遣留学促進のための奨学金規程

(目的)

第1条 この規程は、本学の教育理念である国際主義を体得した学生を養成すべく学生の外国派遣留学を促進することを目的とした奨学金について定める。

(奨学金の種類)

第2条 奨学金の種類は、次のとおりとする。

- 1) 海外活動を伴う正課科目履修者に対する奨学金
- 2) サマープログラム及びスプリングプログラム履修者に対する奨学金
- 3) セメスタープログラム履修者に対する奨学金
- 4) EUキャンパスプログラム履修者に対する奨学金
- 5) 外国協定大学派遣留学生に対する奨学金
- 6) 認定留学生に対する奨学金

(奨学金の取扱い)

第3条 奨学金の取扱いについては、別途、申合せにて定める。

(事務)

第4条 この規程に関する事務は、国際連携推進機構国際センター国際課が取扱う。

(改廃)

第5条 この規程の改廃は、教務(国際)主任会議及び部長会の審議を経て、学長が決定する。

附 則

この規程は、2020年4月1日から施行する。

外国の大学に留学する学生の取扱いに関する内規

(設置)

第1条 本学の学部又は大学院の学生が、本学の教育課程の一環として学則第27条の2、大学院学則第20条の2、専門職大学院学則第29条又は法科大学院学則第15条により留学する場合は、この内規の定めるところによる。

(教育機関の定義)

第2条 この内規にいう外国の大学とは、外国における正規の高等教育機関で学位授与権を有するもの、又はこれに相当する教育機関をいう。
2 外国の大学の調査認定は、学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会が行う。

(留学の定義)

第3条 この内規にいう留学とは、本学の許可を受けて外国の大学に在学し、科目を履修し、又は研究指導を受けることをいう。

(条件)

第4条 この内規の適用を受けて留学する学生は、次の要件を満たさなければならない。ただし、大学院学生には適用しない。
(1) 本学に1年以上在学していること。
(2) 30単位以上修得していること。
2 前項第2号は、当該学部教授会の認める特別の事情がある場合には、適用しない。

(学籍)

第5条 この内規の適用を受けて留学する学生の本学学籍上の取扱いは、在学留学とし、休学としない。ただし、学生が休学を認められ、外国の大学で学修する場合は、この内規は適用しない。

(期間)

第6条 在学中に留学できる期間は、1年以内とする。在学留学期間の算定は、留学先大学の別にかかわらず、当該教育課程における在学留学期間の通算にて行う。
2 当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会の認める特別の事情がある場合は、1年間を限度として、在学留学期間の延長を許可する。

(履修)

第7条 留学する大学での履修については、留学前に留学する大学の授業科目を検討した上、当該学部又は研究科の指導を受けなければならない。

(学生納付金)

第8条 この内規の適用を受けて留学する学生は、留学中所定の学生納付金を納入しなければならない。

(手続)

第9条 外国の大学に留学する学生で、この内規の適用を希望する場合は、在学留学願を当該学部長又は研究科長を通じて学長に提出するものとする。
2 出発・帰国に際しては、留学出発・帰国届を当該学部長又は研究科長を経て、学長に提出しなければならない。
3 在学留学期間の延長を願い出る場合は、在学留学延長願を当該学部長又は研究科長を通じて、学長に提出するものとする。

(単位認定)

第10条 単位認定を受けようとする者は、帰国後速やかに、次に掲げる必要書類(留学した大学の発行するもの)を添付した取得単位認定願を、当該学部長又は研究科長に提出するものとする。
(1) 成績証明書(時間数、単位数、科目名を明記したもの)
(2) 指導教員又はこれに準ずる教員の所見を記したもの
(3) 受講した科目の内容を説明した教授細目
(4) 大学履修要項
2 当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会は、関係機関と協議の上審議し、留学した大学での取得単位を学則の定めるところにより認定することができる。

(帰国後の登録及び履修)

第11条 留学した学生の帰国直後の春学期又は秋学期における登録及び履修については、当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会が出国時までの履修状況等を勘案し、特別の措置を講ずることがある。なお、設置科目によっては関係機関との協議を必要とする。

(事務)

第12条 この内規に関する事務は、国際連携推進機構国際センター国際課が取り扱う。

(改廃)

第13条 この内規の改廃は、教務(国際)主任会議及び部長会の審議を経て、学長が決定する。

附 則

この内規は、2015年4月1日から施行する。

お問い合わせ先

同志社大学国際センター国際課 (扶桑館 1F)

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

TEL: 075-251-3260

Email: ji-kksai@mail.doshisha.ac.jp

HP: <https://international.doshisha.ac.jp>

国際課 (京田辺校地嗣業館 1F)

TEL:0774-65-7066

国際課 HP (留学プログラム)

https://international.doshisha.ac.jp/study_abroad_program/overview.html

